Nokia N82 取扱説明書

9212440

第 1 版

CE0434

適合宣言
NOKIA CORPORATION は、本製品 RM-313 が Directive1999/5/EC の必須要件および関連するその他の規定に準拠することを本書によって宣言します。適合宣言書の写しは、http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/ にあります。

Nokia、Nokia Connecting People、Nokia Original Enhancements logos、Nseries、N82、Navi、N-Gage、Visual Radio、Nokia Care は、Nokia Corporation の商標または登録商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

本書を如何なる形式のものであっても、Nokia からの事前の書面による承諾を得ることなく、その内容の一部および全てを複製、譲渡、配布、保管することを禁じます。

symbian

本機には、Symbian Software Ltd © 1998-2008 よりライセンスされたソフトウェアが含まれています。Symbian および Symbian OS は、Symbian Ltd の商標です。

Java およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許は出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権 (c) は Tegic Communications, Inc. が所有しています (1997-2008 年)。

Nokia Maps ソフトウェアの著作権の一部は The FreeType Project が所有しています (© 2008 年)。

本製品は、次の目的に関して、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づくライセンス許可を得ています。(i) 消費者が個人的および非営利的活動において MPEG-4 Visual Standard に準拠して情報をエンコードする場合、それに関連する個人的および非営利的使用、(ii) ライセンス許可を得たビデオプロバイダによって提供された MPEG-4 ビデオに関連する使用。前述以外の使用については、黙示的なものも含め、いかなるライセンスも許諾されていません。宣伝、内部的、商業的な使用に関係する追加情報は、MPEG LA. LLC から入手できます。
http://www.mpegla.com を参照してください。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

適用法の許容する限り、状況の如何を問わず、Nokia またはそのいずれのライセンサーも、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

本機と共に提供される第三者製のアプリケーションは、Nokia とは関連のない個人または法人によって作成され、所有されています。Nokia は、これらの第三者製アプリケーションについての著作権や知的所有権を有していません。したがいまして、Nokia はこれらの第三者製アプリケーションのエンドユーザサポートや機能、またはアプリケーションに含まれる情報や素材について責任を負いません。Nokia はこれらアプリケーションに関するいかなる保証も行いません。

ソフトウェアやアプリケーション (総称「ソフトウェア」) は、現状有姿で提供され、適用ある法律によって認められる最大限の範囲で、いかなる明示的および黙示的な保証も行わないものとします。Nokia およびその関連会社は、明示または黙示の如何を問わず、権限や商業性の保証、特定目的への適合性に関する保証、またはソフトウェアが第三者の特許、著作権、商標などの権利を侵害しないことの保証を含めて (ただしこれらに限定されない)、いかなる表明や保証もするものではありません。

使用可能な製品およびこれらの製品向けのアプリケーションやサービスは、地域によって異なる場合があります。詳細および使用可能な言語オプションについては、最寄りの Nokia 代理店にお問い合わせください。

輸出規制

本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

9212440
第 1 版

Nokia、Nokia Connecting People、Nseries は、Nokia Corporation の商標または登録商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

本書を如何なる形式のものであっても、Nokia からの事前の書面による承諾を得ることなく、その内容の一部および全てを複製、譲渡、配布、保管することを禁じます。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

適用法の許容する限り、状況の如何を問わず、Nokia またはそのいずれのライセンサーも、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

本機と共に提供される第三者製のアプリケーションは、Nokia とは関連のない個人または法人によって作成され、所有されています。
Nokia は、これらの第三者製アプリケーションについての著作権や知的所有権を有していません。したがいまして、Nokia はこれらの第三者製アプリケーションのエンドユーザサポートや機能、またはアプリケーションに含まれる情報や素材について責任を負いません。Nokia はこれらアプリケーションに関するいかなる保証も行いません。
ソフトウェアやアプリケーション (総称「ソフトウェア」) は、現状有姿で提供され、適用ある法律によって認められる最大限の範囲で、いかなる明示的および黙示的な保証も行わないものとします。Nokia およびその関連会社は、明示または黙示の如何を問わず、権限や商業性の保証、特定目的への適合性に関する保証、またはソフトウェアが第三者の特許、著作権、商標などの権利を侵害しないことの保証を含めて (ただしこれらに限定されない)、いかなる表明や保証もするものではありません。

本機には、第三者のインターネットサイトのブックマークやリンクが事前にインストールされている場合があります。また、本機からその他の第三者のサイトにアクセスできる場合があります。Nokia はそれらのサイトと提携はしておらず、それらのサイトに対して保証したり法的責任を負うことはありません。このようなサイトにアクセスする場合は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうかをご確認ください。

使用可能な製品およびこれらの製品向けのアプリケーションやサービスは、地域によって異なる場合があります。詳細および使用可能な言語オプションについては、最寄りの Nokia 代理店にお問い合わせください。

操作および機能の一部は、使用する SIM カードまたはネットワーク、あるいはその両方によって異なる場合があります。また、MMS、または本機とサポートされているコンテンツ形式の互換性によっても異なる場合があります。サービスによっては、追加料金が請求される場合があります。

著作権の保護のため、一部の画像や音楽、およびその他のコンテンツのコピー、変更、委譲はできないことがあります。

目 次

電話 61

テレビ電話 73

目次

セキュリティ 194

外部接続 199

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載されています。

安全を確認して電源をお入れください
携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

交通安全を最優先に
ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。

電波干渉
携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。

病院では電源をお切りください
規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。

航空機内では電源をお切りください
規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。

給油時には電源をお切りください
ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは 携帯電話を使用しないでください。

爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください
規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。

正しくご使用ください
製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。

正規サービス
資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。

アクセサリと電池
指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

水をかけないでください
本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。

データのバックアップ
本機に保存した重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

他の機器への接続
本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

緊急通報
本機の電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。終了キーを必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。緊急通報の電話番号を入力し、開始キーを押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまでは電話を切らないでください。

本機について

本機は、(E)GSM 850/900/1800/1900 および WCDMA 2100 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されている携帯電話事業者にご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

著作権の保護のため、一部の画像や音楽 (着信音を含む)、およびその他のコンテンツのコピー、変更、委譲、伝送はできないことがあります。

本機は、複数の接続方法をサポートしています。コンピュータ同様、本機は、ウィルスおよびその他の有害コンテンツにさらされる場合があります。メッセージ、接続要求、ブラウジング、およびダウンロードの処理に関しては注意が必要です。有害なソフトウェアに対して十分なセキュリティおよび保護を提供する信頼できる提供元からのサービスおよびソフトウェア (例 : Symbian Signed の認証を受けている、あるいは Java Verified™ テストをパスしたアプリケーションなど) のみをインストールし、使用してください。本機および接続するすべてのコンピュータに、ウィルス対策ソフトウェアおよびその他のセキュリティソフトウェアをインストールすることを検討してください。

本機には、第三者のインターネットサイトのブックマークやリンクが事前にインストールされている場合があります。また、本機からその他の第三者のサイトにアクセスできる場合があります。Nokia はそれらのサイトと提携はしておらず、それらのサイトに対して保証したり法的責任を負うことはありません。このようなサイトにアクセスする場合は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうかをご確認ください。

警告：アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

Office アプリケーションに関しては、Microsoft Word、PowerPoint、および Excel (Microsoft Office 2000、XP、および 2003) の一般的な機能をサポートしています。ただし、すべてのファイル形式を参照または変更できるわけではありません。

本機は、高速データ接続など負荷のかかる操作を行うと、熱を持つ場合があります。ほとんどの場合、この状態は正常です。本機が正常に動作していないと感じられた場合には、ハローノキアにご相談ください。

重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

本書に示されている画像は、本機に表示される画像とは異なる場合があります。

ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、携帯電話事業者のサービスが必要となります。本機の機能のほとんどはネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されている携帯電話事業者のサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ネットワークサービスを使用すると、データの送受信が発生します。ご使用のネットワークの料金、ならびに他のネットワークにおけるローミングの料金の詳細については、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。ご契約されている携帯電話事業者から、サービスをご利用する際の追加の指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各

言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。

ご契約されている携帯電話事業者が、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能は本機のメニューに表示されません。また本機は、メニュー名、メニューの順序、およびアイコンの変更など、特別な設定が行われている可能性があります。詳細につきましては、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル (HTTP と SSL) に対応しています。本機の MMS、ブラウザ、E-mail などの機能には、このような技術に対応したネットワークが必要になります。

アクセサリ、電池、充電器

電池を取り外す際には、必ず本機の電源を切り、充電器を外した状態で行ってください。

充電器をご使用になる前に、充電器の型番を確認してください。本機は、DC-4、AC-4、AC-5 充電器、また、充電器アダプタ CA-44 は、AC-1、ACP-8、ACP-9、ACP-12、LCH-12 充電器に対応しています。

本機に対応している電池は、BP-6MT です。

警告：本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

認定アクセサリの在庫状況については、製品取り扱い店まで直接お問い合わせください。アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。

本機のデータをプリンタを使用して印刷する場合、印字対応言語や印刷の性能などはプリンタに依存されます。

機能制限について

次の状態では、本機のすべての機能がロックされますのでご注意ください。

- 機種変更または解約後、長期間本端末をお使いにならなかった場合
- USIM カードが未挿入の場合
- 不正な USIM カードが挿入された場合
- 長期間、オフラインモードに設定していた場合

ロックを解除するには、有効な USIM カードを挿入して電源を入れ直してください。
USIM カードが挿入されていない状態で電源を入れて

も、日本国内では緊急電話番号に電話をかけることはできません。

準備 / 基本知識

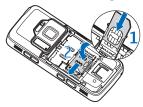
USIM カードと電池を取り付ける

1 本機を裏返して、解除ボタンを押し、バックカバーをスライドし、カバーを取り外す

2 USIM カードホルダーを開く

USIM カードホルダーを開くには、ホルダーを矢印の方向にスライドし、持ち上げます。

3 USIM カードを挿入し、USIM カードホルダーを閉じる

USIM カードの角が欠けた部分がホルダーの上方向に位置し（1）、

USIM カードの接続端子部分が本体の接続端子と向かい合っていることを確認します（2）。ホルダーを閉じ、矢印の方向へスライドします。

4 電池を挿入

電池の金属部分が、電話機本体の接続端子に接するように矢印の方向に電池を差し込みます。

5 バックカバーを元に戻す

バックカバーのつめの部分を本体に合わせ、矢印の方向にスライドさせ、元に戻します。

電池パックと充電

電池パックとアクセサリについての情報は、「電池について」(P.248)、「Nokia 純正アクセサリ」(P.256) を参照してください。

■ 電池パックを充電する

1 充電器のプラグをコンセントに差し込む

2 電源コードを本機に接続する

- 画面右上の電池残量表示が点滅を開始します。
- 充電中も本機を使用できます。
- 電池残量がまったく無い状態で充電を開始すると、充電表示が出るまでに数分かかる場合があります。
- 電池の充電が終了すると、電池残量表示の点滅が止まります。

3 充電器を本機から外し、次に充電器のプラグをコンセントから抜く

メモリカード

メモリカード (microSD カード) には、電話機本体にあるデータを保存することができます。

メモリカードは本機に挿入されている場合があります。

■ メモリカードを取り付ける

1 メモリカードスロットのカバーを開く

カバーの右側にあるくぼみに爪を入れて、カバーを開けます。

2 スロットにメモリカードを挿入する

右図のように角が欠けた部分を左上に、カードの接続端子部分が上向きになっていることを確認してください。

3 カードを押し込む

所定の場所におさまると、カチッと音がします。

4 カバーを閉じる

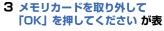
カバーが開いていると、メモリカードを使用できません。

■ メモリカードを取り出す

重要：メモリカードへのアクセスが実行されているときに、メモリカードを取り外さないでください。これらの操作中にカードを取り外すと、本機だけでなくメモリカードにも損傷が生じ、メモリカードに保存されているデータが破損する可能性があります。

1 電源キーを短く押し、リストから メﾓﾘｶｰﾄﾞ取り外し を選択

- メモリカードを取り外す前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了する必要があります。

2 ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞを取り外すと、開いているすべてのｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝが終了します。取り外しますか？ のメッセージが表示されるので、はい を選択

3 メモリカードを取り外して「OK」を押してください が表示されるので、カバーを開きメモリカードを押して、スロットから取り出す

4 OK を選択

ヘッドセットを取り付ける

本機対応ヘッドセットやヘッドホンを本機の Nokia AV コネクタ (3.5mm) に接続することができます。ケーブルモードの選択画面が表示される場合があります。

本機には、出力信号を送出する製品を接続しないでください。接続すると破損する可能性があります。Nokia AV コネクタには、いかなる電源も接続しないでください。

Nokia AV コネクタに、本機で使用が認められているもの以外の外部機器やヘッドセットを接続する場合、音量に注意してください。

警告：ヘッドセットを使用すると、周囲の音が聞こえにくくなります。お客様の安全を脅かすおそれがある状況では、ヘッドセットの使用をお控えください。

ヘッドセットによっては、リモートコントロールユニットとヘッドホンに分かれているものがあります。

リモートコントロールユニットにはマイクや、電話の応答 / 終了キー、音量調節キー、音楽やビデオを再生するためのキーなどが付いています。ヘッドセットとリモートコントロールユニットを一緒に使用する場合、最初に本機のコネクタとユニットを接続し、次にヘッドセットやヘッドホンとユニットを接続します。

マイクが付いていないヘッドセットで電話をかける場合は、リモートコントロールユニットか、本機のマイクをご使用ください。

ヘッドセットによっては、音楽やビデオを再生する場合の音量調節にのみ音量調節キーを使用することができます。その場合、通話中の音量調節は本機の音量調節キーを使用してください。

本機のビデオ出力ケーブルも Nokia AV コネクタ（3.5mm）に接続することができます。

各部の名称

キーの表記について

本書ではダイヤルキーを簡略化して、1 と表記しています。

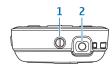
ナビゲーションキーの表記は次のようになります。

	操作を決定するときにナビゲーションキーの中央を押します。(決定キー)
	ナビゲーションキーの左を押します。
	ナビゲーションキーの右を押します。
	ナビゲーションキーの上を押します。
	ナビゲーションキーの下を押します。

本体

本体 (正面)

1 電源キー [⏻]

長く（約 2 秒）押して、電源の ON/OFF をおこないます。

2 3.5mm AV コネクタ

ヘッドセットやビデオ出力ケーブルを接続します。

3 光センサー

4 第2カメラ（低解像度）

5 (左・右) ソフトキー

画面に表示されるコマンドを選択できます。

6 開始キー

電話をかけるときや受けるときに使用します。

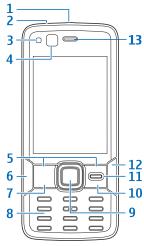
7 メニューキー [ ]

メインメニューを表示します。

8 ダイヤルキー

電話番号や数字、文字の入力などに使用します。

9 ナビゲーションキー [、 、 、]

項目の選択やカーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

10 クリアキー [C]

入力した文字を削除します。また、画像やサウンドなどのファイルを選択しているときに押すと削除できます。

11 マルチメディアキー

マルチメディア アプリケーションへのショートカットです。

12 終了キー

通話やアプリケーションを終了するときなどに使用します。長く押すとパケットデータ接続を終了することができます。

13 レシーバー（受話口）

相手の声がここから聞こえます。

本体 (背面 / 側面 / 底面)

1 ステレオスピーカー

ステレオスピーカー (3D サウンド効果)

2 カメラ起動スイッチ (レンズカバー)

カバーを開くとメインカメラが起動します。

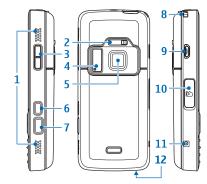
3 ズーム / 音量調節キー

4 カメラフラッシュ（キセノンフラッシュ）

5 メインカメラ

高解像度の画像撮影やビデオ録画に使用します。

6 レビューキー [ ]

最後に保存された画像やビデオファイルを確認します。

7 シャッターキー [ ]

メインカメラでオートフォーカスをしたり、静止画やビデオの撮影をしたりするときに使用します。

8 ストラップホール

9 マイクロ USB コネクタ

USB データケーブルを接続します。

10 メモリカードスロット

11 充電器の外部接続端子

12 マイク (送話口)

画面の見かた

アイコン

アイコン	説明
	GSM ネットワーク使用中
3G	WCDMA ネットワーク使用中
	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり
	受信メールフォルダに未読メールが 1 件以上あり。アイコンが点滅している場合は、受信メールフォルダがいっぱいで、メモリ不足の状態を示します。不要なデータを削除してください。
@	リモートメールボックスに新着 E-mail あり
	未送信メールフォルダに送信待ちメールあり
	不在着信あり
	マナーモード設定中
	キー操作ロック中
	アラーム設定中
	通話着信を別の電話番号へ転送
	ヘッドセット接続中
	テレビ出力ケーブル接続中
	カーキット接続中
D	データ通信使用中

アイコン	説明
	GPRS パケットデータ接続利用可能
	GPRS パケットデータ接続使用中
	GPRS パケットデータ接続保留中
E	EDGE パケットデータ接続利用可能
E	EDGE をサポートするネットワークの一部でパケットデータ接続使用中
E	EDGE パケットデータ接続保留中
3G	WCDMA パケットデータ接続利用可能
3G	WCDMA パケットデータ接続使用中
3G	WCDMA パケットデータ接続保留中
3.5G	HSDPA 接続利用可能
3.5G	HSDPA がサポートされていて接続使用中
3.5G	HSDPA 接続保留中
	無線 LAN を検出し、無線 LAN 利用可能 (「無線 LAN」P.200)
	暗号化されたネットワークで無線 LAN 接続使用中
	暗号化されていないネットワークで無線 LAN 接続使用中
	Bluetooth 接続設定中
	Bluetooth 接続でデータ転送中
	USB 接続使用中

	アプリケーション起動中 メニュー画面のアプリケーションアイコンの右上に表示されます。

電源 On/Off

1 電源キーを長く (約 2 秒) 押す

•有効な USIM カードが挿入されている状態で電源を入れてください。

•PIN コード、またはロックコードの入力を求められた場合、コードを入力し (**** と表示)、左ソフトキー (**OK**) を押します。

- PIN コードは通常、USIM カードと一緒に提供されます。
- お買い上げ時には、ロックコードは「12345」に設定されています。
- 各コードの詳細については、「セキュリティ」(P.194) を参照してください。

内蔵アンテナ

本機には、内蔵アンテナがあります。

1 セルラーアンテナ

2 Bluetooth / 無線 LAN アンテナ

3 GPS 受信機

注意：他の無線送信機器と同様、本機の電源が入っているときには不用意にアンテナに触れないでください。アンテナに触れると、通話の音質に影響を及ぼしたり、本機が必要以上に高い電力レベルで動作したりする可能性があります。本機の動作時にアンテナ領域に触れないようにすると、アンテナの性能や電池の寿命が最適な状態になります。

ディスプレイについて

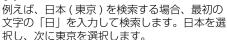
画面上の少数のドットが表示されなかったり、変色したり、明るく光ったりすることがあります。これは、このタイプのディスプレイに特有のことです。一部のディスプレイでは、ピクセルやドットがオンまたはオフのままになることがありますが、正常なことであり不具合ではありません。

初回設定

はじめて本機の電源を入れたときに、都市、日付 / 時刻を設定する画面になります。

都市を設定する

1 都市の最初の文字を入力検索し、設定する

- 漢字の都市名の場合は、都市名の最初の文字を入力して漢字に変換します。
例えば、日本 (東京) を検索する場合、最初の文字の「日」を入力して検索します。日本を選択し、次に東京を選択します。
- 都市を選択すると、時計のタイムゾーンも指定されます。(「世界時計」P.216)

日付 / 時刻を設定する

1 現在の日付 / 時刻を入力

(「日付時刻設定」P.214)

キー操作ロック

キー操作ロックを使用すると、キーの誤操作を防ぐことができます。この機能を設定すると、待受画面上部に が表示されます。

キー操作ロックを設定する

1 を短く押す

リストが表示されます。

2 リストから キー操作ロック を選択

- **キー操作ロックを設定しました** が表示されます。
- 待受画面上部に が表示されます。
- キー操作ロック設定時に画面のバックライトを点灯する場合は、を押します。

待受画面で左ソフトキーを押し、すぐに * を押すことで設定することもできます。

タイムアウト時間が過ぎた場合に、自動的にキー操作ロックを設定することができます。(「キー操作自動ロック設定」P.29)

注意：キー操作ロックを設定していても、本機にプログラムされた海外の緊急電話番号には発信できることがあります。緊急電話番号を入力して、開始キーを押します。本機では、キー操作ロックが設定されている状態で、110、118、119への緊急通報ができません。設定を解除し、「緊急通報」(P.254) を参照して電話をかけてください。

■ キー操作ロックを解除する

1 **解除（左ソフトキー）を選択し、すぐに [*] を押す**

キー操作ロックを解除しました が表示されます。

■ キー操作自動ロック設定

> **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **電話機と SIM カード**

キー操作自動ロックまでの時間を設定する

キー操作ロックを設定するまでの時間を設定することができます。

1 **キー操作自動ロック時間 を選択**

2 **ユーザ定義 を選択**

3 **自動的にキー操作ロックを設定するまでの時間を入力**

マナーモード

■ マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないよう気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中では、社内のアナウンスや指示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモードでは、次の場合は無音になりません。

- Real Player、ミュージックプレーヤーでのコンテンツ再生音
- 時計のアラーム音
- 通話時のスピーカーからの音声
- ブラウザのプラグインからの音声
- カメラのシャッター音
- ビデオの録音開始・終了音

■ マナーモード設定

マナーモードを設定 / 解除する

マナーモードにする

1 待受画面で、# を約 1 秒以上押す

マナーモード に変更され、画面上部に表示されます。

マナーモードを解除する

1 マナーモード設定中に待受画面で、# を約 1 秒以上押す

- 通常モード に変更されます。
- 他のモードに変更する場合は、(電源キー) を短く押し、リストからモードを選択します。(「使用するモードを変更する」P.218)

マナーモードの設定内容を変更する

1 > ツール > モード > マナーモード > オプション > カスタマイズ の順に選択

2 項目を選択し、設定をする

「着信パターンの設定」(P.219)、「効果音 - キー確認音の設定」(P.220) を参照してください。

■ 電波の送受信を停止する

オフラインモード

オフラインモード に設定するには を短く押し、オフラインモード を選択するか、 > ツール > モード > オフラインモード を選択します。

有効な USIM カードが本機に挿入されている必要があります。オフラインモード を使用すると、ネットワークに接続せずに、本機を使用することができます。オフラインモード を開始するとネットワーク接続が切断され、電波強度インジケータに が表示されます。本機ですべての RF 無線通信ができなくなります。オフラインモードでメールを送信する場合、メールは未送信メールフォルダに保存され、オフラインモードを解除し、ネットワーク接続が可能になったときに送信されます。

警告：オフラインモードでは、通話 (または受信) を行ったり、携帯ネットワークを利用するその他の機能を使用したりすることはできません。ただし、本機にプログラムされた海外の緊急電話番号には発信できる場合があります。通話を行うには、まずモードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。本機がロックされている場合は、ロックコードを入力します。

オフラインモード に設定しても、無線 LAN を使用することができます。例えば、E-mail を読んだり、インター

ネットで検索したりすることができます。無線 LAN 接続を確立して使用する場合、適用されるすべての安全要求事項に従ってください。(「無線 LAN」P.200)
また、オフラインモード で Bluetooth 接続を使用することもできます。(「Bluetooth を設定する」P.204)

オフラインモードを終了する

1 待受画面で 、(電源キー)を短く押す

モードリストが表示されます。

2 リストから オフラインモード 以外のモードを選択

- 通話が可能になります。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、「ロックコード」が必要になります。

■ PIN コードについて

USIM カードには、「PIN コード」と「PIN2 コード」という 2 種類の暗証番号があります。「UPIN コード」と呼ばれることもあります。

PIN コード

第三者による USIM カードの無断使用を防ぐための 4 ~ 8 桁の暗証番号です。通常、USIM カードと一緒に提供されます。

- PIN コードは変更できます。(「PIN/PIN2 コードを変更する」P.194)
- 「PIN コード要求」を「オン」に設定すると、電源を入れるたびに PIN コードを入力する必要があります。(「PIN コード要求を設定する」P.195)

PIN2 コード

本機の一部の機能を利用する場合に使用する 4 ~ 8 桁の暗証番号です。通常、USIM カードと一緒に提供されます。

- PIN2 コードは変更できます。(「PIN/PIN2 コードを変更する」P.194)

■ PIN ロック解除コード (PUK)

PIN コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN コードがロックされます。PIN ロックは、「PIN ロック解除コード (PUK)」を入力すると解除できます。「UPUK コード」と呼ばれることもあります。

- PIN ロック解除コードについては、ご契約されている携帯電話事業者にご確認ください。

■ ロックコード

5 桁の暗証番号で、「12345」が初期設定です。

「通話時間記録を消去」(P.70)、「電話機ロック」(P.195)、「デフォルト設定に戻す」(P.198)などの機能を操作するときに使用します。

ロックコードは変更できます。(「ロックコードの変更」P.194)

緊急通報発信

緊急電話発信とは、「110」や「119」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

- 緊急電話番号 - 110、118、119

本機で次の設定をしている場合は、緊急電話発信は不可となります。

- 有効な USIM カードが本機に挿入されていない場合
- 電話機ロック - (「本機の操作を禁止する (電話機ロック)」P.195)
- キー操作ロック - (「キー操作ロックを設定する」P.28)
- 発信規制 - (「発着信規制を設定する」P.81)

緊急電話発信をかける場合は、「緊急通報」(P.254) を参照してください。

共通機能 / 操作

機能の呼び出しかた

■ 簡単な操作で機能を呼び出す

・ メニュー画面では、ナビゲーションキーの代わりに、ダイヤルキーを使ってアプリケーションやフォルダを開くことができます。例えば、 > 2 を押すとメールが開き、＊ を押すとメニュー画面上でキーの位置と同じ位置にあるアプリケーション、またはフォルダが開きます。
・ 待受画面のショートカット - よく使う機能をショートカットに登録しておけば、簡単な操作で利用できます。(「カスタム待受画面」P.216)
・ **カメラ** - 背面にあるカメラレンズカバーを開くと起動します。
・ **ｷﾞｬﾗﾘｰ** - を押すと、ギャラリーに最後に保存された画像が表示されます。もう一度 を押すと、ギャラリーが開きます。
・ **留守番電話**（ネットワークサービス）- 待受画面で 1 を長く押すと留守番電話に電話します。(「伝言メッセージを聞く」P.79)
・ マルチメディアアプリケーション - マルチメディアキーを短く押すとマルチメディアメニューが開きます。(「マルチメディアメニュー」P.34)
・ **モード** - を短く押してリストからモードを選択します。
・ **通常モード** / **マナーモード** - 待受画面で # を長く押すとモードが切り替わります。
・ **発信履歴** - 待受画面で開始キーを押すと最近の発信記録が表示されます。
・ ボイスコマンド - 待受画面で右ソフトキーを長く押します。(「ボイスキー」P.230)
・ **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ**（ネットワークサービス）- 待受画面で 0 を長く押すと接続します。

■ マルチタスキング機能

本機では、複数のアプリケーションを同時に開くことができますが、電池の消耗が早くなる場合があります。使用していないアプリケーションは次の方法で終了することができます。

1 待受画面、またはアプリケーションを開いた状態で、 を長く押す

• 起動中のアプリケーションが画面左上に表示されます。
• メモリ残量が少なくなると、本機によって一部のアプリケーションが閉じられる場合があります。未保存のデータは、アプリケーションが閉じ

られる前に保存されますが、すべてのケースにおいて保存されるとは限りません。

2 または を押し、アプリケーションを選択

選択したアプリケーションの画面になります。

- アプリケーションを終了する場合は、C を押します。

便利な使い方

マークをつける

電話帳やギャラリーのファイルなどを複数同時に選択し、削除や送信などの操作をするときに使用します。

1つの項目にマークを付ける

- 項目を選択して、# を押しながら を押します。選択した項目の横にチェックマークが表示されます。

複数の項目にマークを付ける

- # を押しながら または を押します。選択を終了するには、ナビゲーションキーを押すのをやめて、# から指を離します。必要な項目をすべて選択したら、移動したり削除したりできます。

状況によっては、 を押すと、オプションリストが表示され、その表示で利用できる主要なコマンドが表示されます。

高速ダウンロード

本機の設定で、HSDPA(high-speed downlink packet access、3.5G とも呼ばれ、3.5G アイコンが表示される) のサポートを有効にしたり無効にしたりすることができます。(「パケット接続」 P.229)

HSDPA は WCDMA ネットワーク上でのネットワークサービスで、高速でデータのダウンロードをおこなうことができます。本機で > **ツール** > **設定** > **接続** > **パケット接続** > **高速パケットアクセス** で **有効** を選択し、HSDPA をサポートする WCDMA ネットワークに接続した場合、セルラーネットワークを利用してのメールや E-mail、ウェブページなどデータのダウンロードが速くなる場合があります。HSDPA 接続中は 3.5G が表示されます。

データ接続サービスのご利用方法とお申し込みについては、携帯電話事業者にお問い合わせください。

マルチメディアメニュー

マルチメディアメニューでは、頻繁に利用されるマルチメディアコンテンツが表示されます。選択されたコ

ンテンツは対応するアプリケーション内に表示されます。

マルチメディアキーの利用方法

マルチメディアメニューを表示する

1 マルチメディアキーを短く押す

マルチメディアアプリケーションのショートカットが表示されます。

2 または を押してアプリケーションをスクロールする

次のアプリケーションを選択することができます。

- **ミュージック** - ミュージックプレーヤーを起動し、再生中画面の表示や、本機に保存されている曲やプレイリストのブラウズ、ポッドキャストのダウンロードや管理などをおこなうことができます。
- **ギャラリー** - 最後に撮影された静止画やビデオの表示やスライドショーの開始、アルバム内のメディアファイルの表示をおこなうことができます。
- **ビデオ** - 最近見たアイテムのリストからビデオを再生することができます。
- **地図** - 地図アプリケーションを利用してお気に入りの場所を地図上に表示することができます。
- **インターネット** - ブックマークに登録したお気に入りのリンク先からサイトにアクセスすることができます。
- **電話帳** - 電話帳をリストに追加して、メールを送ったり、電話をかけたりすることができます。リストに電話帳を追加するには、 を押して、追加する電話帳を選択します。マルチメディアメニューから SMS や MMS を送信するには、電話帳を選択します。

3 または を押してアプリケーション内の操作を選択し、 を押す

ショートカットを並べ替える

アプリケーションへのショートカットを並べ替えることができます。

ショートカットを並べ替える

1 マルチメディアキーを短く押す > オプション > アプリの順番変更 を選択

2 順番を変更するショートカット > 移動 を選択

選択したショートカットにマークがつきます。

3 または で移動先を選択 > OK を選択

ヘルプ

本機にはヘルプ機能があります。アプリケーションからヘルプにアクセスするには、**オプション** > **ヘルプ** を選択します。

例：電話帳の作成方法に関する説明を表示するには、電話帳の作成を開始して、**オプション** > **ヘルプ** を選択します。または、**ツール** > **ユーティリティ** > **ヘルプ** の順に選択して、**電話帳** に関する説明を表示します。説明を読んでいるときに、**ヘルプ** とバックグラウンドで開いているアプリケーションを切り替えるには を長く押します。

Nokia 製品に関するその他の情報、およびダウンロードサービスについては、巻末の「Nokia Care オンライン」をご確認ください。

ソフトウェアの更新

Nokia ではソフトウェアの新しい機能の提供や機能の強化、あるいは性能の改善のため、ソフトウェアのアップデートを提供する場合があります。Nokia Software Updater PC アプリケーションを利用して、アップデートのリクエストができる場合があります。本機のソフトウェアをアップデートするには、Nokia Software Updater アプリケーションと Microsoft Windows XP、Vista のいずれかがインストールされている互換性のある PC、ブロードバンドでのインターネット接続、本機と PC を接続する互換性のあるデータケーブルが必要です。

Nokia Software Updater アプリケーションのダウンロードと詳細については、http://www.nokia.co.jp にアクセスしてください。

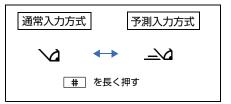
補足：本機のソフトウェアのバージョンを確認するには、待受画面で ***#0000#** と入力してください。

文字の入力方法

文字入力について

漢字、ひらがな、カタカナ(全角/半角)、英数字(全角/半角)、記号、絵文字、顔文字を入力することができます。文字の入力方式には、「予測入力方式」と「通常入力方式」の2種類があります。

■ 文字入力方式

文字の入力方式は、「予測入力方式」と「通常入力方式」の2種類から選択します。

予測入力方式

- **日本語予測の場合：**入力された文字に続く語句を予測して候補を表示します。目的の語句が候補に表示されている限り、語句を選択するだけで文字を次々と入力できます。
- **英語予測の場合：**ダイヤルキー(2 ～ 9)を1回ずつ押し、表示された候補から目的の単語を選択して入力する方式です。押されたキーから語句を予測するため、少ないキー操作で文字を入力できます。

通常入力方式

- 目的の文字が表示されるまで、文字が割り当てられているキー(1 ～ 9)を繰り返し押す方式です。

文字入力方式を変更する

1 ひらがな/漢字、または英字モードで、# を長く押す

- 予測入力方式の場合は と表示
- 通常入力方式の場合は と表示

補足：文字入力画面で * を長く押して、文字入力方式を変更することもできます。

■ 入力言語/表示言語について

電話機で使用する言語の設定については、「言語の設定」(P.222)を参照してください。表示言語を英語に設定した場合、デフォルトの文字入力モードは英語になり、日本語に設定した場合は日本語になりますが、ここで設定した言語にかかわらず、文字入力

モードを切り替えることで日本語と英語の入力が可能です。

■ 文字入力モード

文字入力画面で、[#] を連続して短く押すと、入力モードは次のように切り替わります。

英字モードで、約 1 秒待って [#] を短く押すと、英字モードの種類が変わります。

数字は、数字モードに切り替えずに、入力したい番号のキーを長く押すだけで入力できます。

全角 / 半角の切り替えは [*] を長く押して、**全角** または **半角**を選択します。

アイコン	文字入力モード
漢字	ひらがな / 漢字モード (全角)
ｶﾀｶﾅ カナ	カタカナモード (半角 / 全角)
Abc 全Ab	英字 文頭大文字モード (半角 / 全角) 文頭の文字だけ大文字で入力され、あとの文字は小文字に変わります。ピリオド [1] > スペース [0] を入力し、引き続き文字を入力する場合は、自動的にこのモードに切り替わります。
abc 全ab	英字 小文字モード (半角 / 全角) 文頭の文字を入力したあと、自動的に小文字モードに切り替わります。
ABC 全AB	英字 大文字モード (半角 / 全角) 文頭大文字モード、または小文字モードで文字を入力した直後 (スペースを空けず) に、[#] を短く 1 回押すと切り替わります。大文字モードから、ピリオド [1] > スペース [0] を入力すると文頭大文字モードに自動的に切り替わります。
123 全12	数字モード (半角 / 全角)

ダイヤルキーの割り当て

キー	ひらがな／ 漢字モード（全角）	カタカナモード （半角／全角）
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0	わをんー、。！？ 改行、スペース	ﾜｦﾝｰ､｡!? 改行、スペース
*	゛゜（濁点と半濁点）、 小さなひらがな、 記号、絵文字リスト	ﾞﾟ（濁点と半濁点）、 小さなカタカナ、 記号、絵文字リスト
#	入力モードの 切り替え	入力モードの 切り替え

キー	英字モード （半角／全角）	数字モード （半角／全角）
1	記号	1
2	ABCabc	2
3	DEFdef	3
4	GHIghi	4
5	JKLjkl	5
6	MNOmno	6
7	PQRSpqrs	7
8	TUVtuv	8
9	WXYZwxyz	9
0	スペース、 改行	0
*	記号、絵文字リスト	記号、絵文字リスト
#	入力モードの 切り替え	入力モードの 切り替え

文字の入力方法

■ 漢字 / ひらがな / カタカナを入力する

予測入力方式で入力する

1 ［#］を長く押して を表示

2 ダイヤルキーを押して、文字を入力

- 予測変換候補リストが表示されます。文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。
- 入力した文字は、変換の対象として範囲選択されて表示されます。

補足 : 文字確定後に［＊］を長く押して、**日本語予測オン** または **英語予測オン** を選択することもできます。

3 予測変換候補リストから確定したい語句を選択し、を押す

- 入力された内容に基づき、次の語句が予測され、予測変換候補リストが表示されます。変換が確定された語句に引き続いて文字を入力すると、別の予測変換候補リストが表示されます。
- 予測変換候補リストを画面から消去するには、C または**キャンセル** を選択します。
- 確定したい語句が予測変換候補リストにない場合は、**通常変換** を選択してから を押し、漢字変換候補リストを表示します。リストの右上にあるカウンタは、漢字変換候補の数です。

- 頻繁に使用する語句やユーザ辞書に登録した語句は、予測変換候補リストの上位に表示されます。リストを初期値に戻す場合は、「予測辞書リセット」(P.222) を参照してください。

通常入力方式で入力する

1 ［#］を長く押して を表示

2 ダイヤルキーを押して、文字を入力

- 入力した文字は、変換の対象として範囲選択されて表示されます。
- 変換が不要な場合は、 を押して、語句を確定します。

3 範囲選択された状態で を 1 回押し、目的の文字に変換されなかった場合は をもう 1 回押す

漢字変換候補リストが表示されます。

補足：目的の漢字に変換されない場合は、変換する語句の選択範囲を ◯ または ◯ で変更します。

4 漢字変換候補リストから確定したい語句を選択し、◯ を押す

- 範囲選択された語句が変換され、範囲選択が解除されます。

カタカナで入力する

1 文字入力画面で [＊] を長く押し、カタカナ を選択

- 文字入力画面で [＃] を連続して短く押して（ひらがな / 漢字モードからカタカナモードにする場合は、1 回短く押す）、変更することもできます。（「文字入力モード」P.38）
- 全角 / 半角を切り替える場合は、[＊] を長押し > **全角**（または**半角**）を選択します。

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「あいうえおつやゆよ」を小文字に変換します。

1 文字入力画面で、文字を入力し、[＊] を押す

- 「つ」のように小文字と濁点の両方の入力ができる文字の場合は、[＊] を 1 回押すと小文字、2 回押すと濁点の入力となります。
- 小文字にできない文字は、[＊] を押しても小文字に変換されません。

濁点（゛）/ 半濁点（゜）を入力する

1 文字入力画面で、文字を入力し、[＊] を押す

- ひらがな / 漢字モードやカタカナモードの場合、「か行」、「さ行」、「た行」は 1 回押すと濁点が付き、2 回押すと元に戻ります。また、「は行」は 1 回押すと濁点が付き、2 回押すと半濁点が付き、3 回押すと元に戻ります。
- 半角カタカナモードの場合、濁点や半濁点は半角 1 文字分で入力されます。◯ を押して文字を確定した後に C を押すと、濁点または半濁点のみが削除されます。
- 濁点や半濁点を付けられない文字は、[＊] を押しても変換されません。

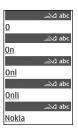
■ 英数字を入力する

予測入力方式で「nokia」と入力する場合

1 [＃] を長く押して ⌇ を表示

2 文字入力画面で、[6] (n) → [6] (o) → [5] (k) → [4] (i) → [2] (a) を 1 回ずつ押す

- 「nokia」と入力されます。
- 単語の候補は、キー入力ごとに変化します。

3 入力した単語を確定する場合は、◯ を押す

- [0] を押し、スペースを入力して確定することもできます。
- 入力した単語が正しくない場合は、[＊] を押して他の候補を表示します。[＊] を長押し > **英語予測** > **一致した単語** の順に選択し、予測変換候補リストを表示することもできます。

英語予測辞書に単語を登録する

英字モードでの予測入力方式は、内蔵の英語予測辞書に基づいています。辞書に登録されていない単語を予測入力方式で入力した場合、単語の末尾に文字「**?**」が表示されます。
ひらがな / 漢字モードの語句の登録については、ユーザ辞書を使用します。「よく使う語句を登録する (ユーザ辞書)」(P.44) を参照してください。

1 (単語の末尾に文字「?」が表示された単語が選択されている状態で) スペル入力 を選択

2 登録する単語を入力し、OK を選択

- 32 文字まで入力することができます。
- 英語予測辞書がいっぱいになると、もっとも古い単語が、新しい単語で上書きされます。

使用できるオプション

1 文字入力画面で予測変換対象の単語 (下線付き) を選択

2 [＊] を長押し > 英語予測 > [選択キー] の順に選択

次のオプションが選択できます。

一致した単語 - キー入力に応じた単語のリストを表示します。
語句挿入 - 辞書に単語 (32 文字まで) を追加します。
単語の編集 - 通常入力方式で単語を編集します。このオプションは、その単語が有効 (下線付き) の場合に使用できます。

通常入力方式で「nokia」と入力する場合

1 [#] を長く押して [アイコン] を表示

2 [6] (2 回)(n) → [6] (3 回)(o) → [5] (2 回)(k) → [4] (3 回)(i) → [2] (1 回)(a) を押す

- 「nokia」と入力されます。
- 同じダイヤルキーにある文字を続けて入力する場合は、カーソルが表示されてから (または [選択キー] を押してから) 次の文字を入力します。
- 全角 / 半角を切り替える場合は、[＊] を長押し > **全角** (または**半角**) を選択します。予測入力方式がオンとなっている場合は、切り替えることができません。

数字モードで入力する

1 文字入力画面で、[＊] を長押し > 数字 を選択

- 数字モードに切り替えずに、入力したい番号のキーを長く押すだけで入力することもできます。

- 文字入力画面で［#］を連続して短く押して、変更することもできます。(「文字入力モード」P.38)
- 全角 / 半角を切り替える場合は、［＊］を長押し > **全角** (または**半角**) を選択します。

記号 / 絵文字 / 顔文字などを入力する

記号を入力する

1 文字入力画面で、［＊］を 1 回押す

- ［＊］を長押し > **記号挿入** を選択し、リストを表示することもできます。

2 リストから記号を選択し、● を押して挿入

- 英字モードの通常入力方式では、文字入力中に［1］を連続して押すと、リストにある記号が順番に表示されます。
- 英字モードの予測入力方式では、［1］を押すと、予測された句読点や記号が表示されます。

絵文字を入力する

1 文字入力画面で、［＊］を 2 回押す

- ［＊］を長押し > **絵文字挿入** を選択し、リストを表示することもできます。

2 リストから絵文字を選択し、● を押して挿入

顔文字を入力する

1 予測入力方式で「かお」と入力し、通常変換 > ▢ を押す

顔文字のリストが表示されます。

- 通常入力方式の場合は、「かお」と入力し、▢ または ▢ を 2 回以上押します。

2 リストから顔文字を選択し、● を押して挿入

スペースを入力する

1 文字入力画面で、▢ を押す

- 漢字 / ひらがなモードの予測入力方式では、予測変換候補リストが表示されていない状態で ▢ を押します。
- 英字モードの場合は、［0］を 1 回押し、スペースを入力することもできます。

改行する

1 文字入力画面で、▢ を 1 回押す

- 漢字 / ひらがなモードの予測入力方式では、予測変換候補リストが表示されていない状態で ▢ を押します。
- 英字モードの通常入力方式では、［0］を 2 回押し、改行することもできます。

区点コードを利用する

「区点コード一覧表」の 4 桁のコードを使用して、文字、記号、数字を入力できます。区点コード一覧表

は http://www.nokia.co.jp/N82/support からダウンロードすることができます。

1 [*] **を長押し > 区点コード挿入 を選択**

2 コードを入力し、OK を選択

文字の変換機能

よく使う語句を登録する (ユーザ辞書)

ユーザ辞書とは、特殊な読みかたをする漢字やよく使う語句を登録しておく機能です。

英字モードの新しい単語登録については、「英語予測辞書に単語を登録する」(P.42) を参照してください。

1 **> アプリ > ﾕｰｻﾞ 辞書 の順に選択**

2 オプション > 新規単語登録 を選択

3 単語 に登録する語句を入力

4 読み にひらがなで読みを入力し、完了 を選択

- ユーザ辞書に登録した語句を呼び出す場合は、文字入力画面でユーザ辞書に登録した読み仮名を入力して変換します。
- 小さなひらがななど、読みの最初の文字として入力できない文字があります。
- 文字入力画面から、[*] を長押し > **単語登録** を選択し、単語を登録することもできます。

文字の編集

文字を削除する

1 文字入力画面で、修正する文字の右側にカーソルを移動

2 C を押し、文字を削除

C を長く (1 秒以上) 押すと、カーソルの左側にある文字がすべて削除されます。

コピー / 貼り付けをする

範囲選択した文字や絵文字をコピーしてクリップボードに記憶し、その内容を文字の入力画面でカーソル位置に貼り付けることができます。

1 文字入力画面で [#] を押しながらナビゲーションキーを使用してカーソルを移動させ、コピーする語句を選択

2 [#] を押したまま、コピー を選択
または、[*] を長く押して コピー を選択

範囲選択された語句がクリップボードに記憶されます。

3 コピーした語句を挿入する位置へカーソルを移動

4 [#] を押したまま、貼り付け を選択
または、[*] を長く押して 貼り付け を選択

コピーした語句が貼り付けられます。

電話帳

電話帳 では、次の操作ができます。

- 電話番号や住所、E-mail アドレスなどの情報を登録、更新することができます。
- 個人用の着信音やサムネイル画像を電話帳に追加することができます。
- 電話帳グループを作成し、複数の宛先へ SMS や E-mail を同時に送信することができます。
- 受信した連絡先情報（ビジネスカード）を、電話帳に登録することができます。連絡先情報の送受信は、本機と互換性のある機器との間でのみ可能です。

電話帳の登録

> **電話帳**

1 オプション > 新規電話帳登録 を選択

2 必要な項目を入力し、完了 を選択

新規電話帳登録で設定できる項目は、次のとおりです。名前 (姓)、フリガナ (姓)、名前 (名)、フリガナ (名)、携帯、電話番号、E-mail、テレビ電話、ポケットベル、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話、Push to talk (本機では PTT 機能は非対応です)、会社、役職、同期

電話帳検索には、登録したフリガナが使用されます。

■ 発信履歴 / 着信履歴の電話番号を登録する

発信履歴 / 着信履歴に記録された電話番号を電話帳に登録できます。

1 > ツール > 通信履歴 > 発着信履歴 > 発着信履歴の電話番号を選択

2 オプション > 電話帳へ登録 を選択

新規登録 または **既存電話帳へ追加** を選択します。

3 情報選択 から登録する電話番号の種類を選択

4 その他必要な項目を入力し、完了 を選択

- ボイスタグが自動的に登録されます。詳細は、「声で電話をかける」(P.61) を参照してください。

■ 電話帳の登録状況を確認する

1 オプション > 電話帳情報 を選択

電話帳やグループ、使用メモリ、空きメモリの確認ができます。

■ 基本番号と基本アドレス

電話帳に、基本電話番号や基本アドレスを登録することができます。これにより、電話帳に複数の電話

番号やアドレスがある場合、基本となる番号やアドレスを指定して電話をかけたり、メールを送信することができます。ボイスダイヤルには、基本電話番号が使用されます。

1 電話帳を選択し、◙ を押す

2 オプション > デフォルト値設定 を選択

3 基本番号や基本アドレスとして登録するタイプを選択し、登録 を選択

4 基本番号や基本アドレスとして登録する番号やアドレス > 選択 > 戻る を選択

基本電話番号として登録した番号の項目に下線が表示されます。
電話帳の名前のリスト画面で、基本電話番号を設定した電話帳の左横にアイコンが表示されます。

グループ設定

> 電話帳 >

グループを作成する

1 オプション > 新規グループ を選択

2 グループ名を入力し、OK を選択

メンバをグループに追加する

1 グループを選択し、◙ を押す

2 オプション > メンバ追加 を選択

- メンバを一度に複数追加する場合は、◙ を押してマークをつけます。

3 OK を選択

グループがあらかじめ作成してある場合は、電話帳リストを選択した状態で、**オプション** > **グループへ追加** の順に選択します。

グループからメンバを削除する

1 グループを選択し、◙ を押す

2 メンバを選択した状態で、オプション > グループから削除 を選択

3 はい を選択

グループ名を変更する

1 名前を変更するグループ > オプション > 名前変更 の順に選択

2 新しいグループ名を入力し、OK を選択

所属グループを確認する

> 電話帳

1 電話帳を選択し、オプション > 所属グループ を選択

電話帳の利用

> 電話帳

電話帳から電話をかける

1 電話をかける相手の電話帳を選択

検索フィールドに名前の最初の文字を入力すると、合致する名前リストが表示されます。

2 開始キーを押す

ボイスタグを確認する

1 ボイスタグが設定されている番号を選択

2 オプション > ボイスタグ再生 を選択

ボイスタグが再生します。

電話帳 (ビジネスカード) を送信する

1 電話帳を選択し、オプション > ビジネスカード送信 を選択

2 送信方法を選択

SMS、**MMS**、**E-mail** (設定してある場合)、**Bluetooth** から選択します。

受信する機器により送信方法が限られる場合があります。

電話帳の編集

> 電話帳

電話帳を編集する

編集する電話帳 > オプション > 編集

情報を追加して編集する

1 オプション > 情報追加 を選択

2 追加する項目を選択し、OK を選択

3 情報を入力し、完了 を選択

サムネイル画像を追加する

1 オプション > 画像追加 を選択

2 追加する画像を選択

画像を追加した電話帳の相手から電話がかかってくると、サムネイル画像が表示されます。

着信音を設定する

電話帳に登録されている相手やグループから着信すると、設定された着信音が再生されます。

1 電話帳を開くか、またはグループを選択

2 オプション > 着信音 を選択

3 着信音リストから着信音を選択

- 設定した着信音を解除する場合は、リストから **デフォルト音** を選択します。
- 電話帳グループに一度着信音を設定し、その後にそのグループへ電話帳を追加した場合、追加された電話帳にはグループの着信音が反映されません。
- ギャラリーに保存されているビデオクリップも着信音として設定することができます。

電話帳を削除する

1 電話帳を選択し、C を押す

削除を確認するメッセージが表示されます。

- 一度に複数の電話帳を削除する場合は、# を押しながら ◯ を押し、マークをつけてから C を押します。
- 電話帳を全件削除するには、 > **電話帳** > **オプション** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** > **オプション** > **削除** の順に選択します。

2 はい を選択

電話帳の登録内容をコピーする

本機と USIM カード間で、電話帳をコピーできます。

USIM カードの電話帳を本機にコピーする

1 オプション > SIM 電話帳 > SIM フォルダ の順に選択

2 電話帳を選択し、オプション > 電話帳にコピー を選択

本機の電話帳を USIM カードにコピーする

1 電話帳を選択し、 を押す

2 オプション > SIM ﾌｫﾙﾀﾞ にｺﾋﾟｰ を選択

- 電話帳のコピーされる内容は、USIM カードで対応している項目のみとなります。

補足： Nokia Nseries PC Suite を使用して、互換性のある PC との間で同期をとることができます。製品パッケージに同梱されている DVD-ROM を参照してください。

SIM フォルダ

USIM カードに保存されている情報を表示します。

 > **電話帳** > **オプション** > **SIM 電話帳**

USIM カードに保存されている電話帳を表示する

1 SIM フォルダ を選択

SIM フォルダでは、電話番号などの情報の追加や変更、電話帳へコピーすることができます。また、SIM フォルダから直接、電話をかけることもできます。

サービス番号

1 サービス番号 を選択

USIM カードが対応している場合、電話番号案内や技術的なトラブルシューティングなど、ネットワークサービス用の電話番号にアクセスします。USIM カードにサービス番号が含まれていない場合は、この機能を利用できないことがあります。

データ管理

ギャラリーの構成

カメラで撮影した静止画やビデオ、ダウンロードした音楽ファイルや音声クリップ、ストリーミングリンクなどはギャラリーに保存されます。

ギャラリーは、次のフォルダで構成されています。

- **画像とビデオ**（ ）- 静止画ファイルやビデオファイルを保存します。
- **ミュージック**（ ）- **ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｰﾔｰ** が起動します。
- **Lifeblog**（ ）- **Lifeblog** が起動します。
- **ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ**（ ）- 音声クリップを保存します。
- **ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸ**（ ）- 保存したインターネットページの URL を登録します。
- **ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ**（ ）- ファイル形式が SVG などのプレゼンテーションファイルを保存します。
- **すべてのﾌｧｲﾙ**（ ）- 電話機やメモリカードに保存されている、すべてのメディアファイルをリストします。

ギャラリーファイルの管理

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 各フォルダ

ミュージック、**Lifeblog** フォルダの編集については、「ミュージックライブラリを利用する」(P.155)、「Nokia Lifeblog」(P.188) を参照してください。

■ ファイルを削除する

1 削除するファイルを選択し、C を押す

- **オプション > 削除 を選択しても削除することができます。**

2 はい を選択

■ ファイルを検索する

1 オプション > 検索 を選択

ファイル名を入力するフィールドが表示されます。

2 検索するファイル名を入力する

画像とビデオフォルダにはこのメニューはありません。

複数のファイルを選択する

ファイルにチェックマークを付けると、一度に複数のファイルを選択することができます。複数のファイルをコピーしたり、移動する場合に利用すると便利です。(「マークをつける」P.34)

ファイルをコピー / 移動する

ギャラリーのファイルを、電話機メモリやメモリカードにコピーしたり、移動したりすることができます。

1 コピー / 移動するファイル > オプション > 移動およびコピー の順に選択

電話機メモリにファイルが保存されている場合：

- **ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞにｺﾋﾟｰ**、および **メモリカードへ移動** が表示されます。

メモリカードにファイルが保存されている場合：

- **電話機ﾒﾓﾘにｺﾋﾟｰ**、および **電話機メモリへ移動** が表示されます。

ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ を設定している場合、**画像とビデオ** フォルダでは **ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸにｺﾋﾟｰ**、**ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸに移動** が表示されますが、この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

2 コピー / 移動先を選択 > ◉ を押す

補足： Nokia Nseries PC Suite に搭載されているファイルマネージャを使用して、互換性のある PC にファイルをコピーしたり、移動したりすることができます。

ファイルを並べ替える

フォルダ内のファイルを情報ごとに並べ替えることができます。並べ替えられる情報はフォルダによって異なります。

1 オプション > 並べ替え を選択

画像とビデオ、**ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸ**フォルダには、このメニューはありません。

ファイル名を変更する

ファイルによってはファイル名が変更できないことがあります。

1 ファイル名を変更するファイル > オプション > 名前変更 の順に選択

入力画面が表示されます。

2 ファイル名を入力 > ◉ を押す

ファイル名が確定されます。

3 OK を選択

ファイル名が変更されます。

ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞﾘﾝｸフォルダでは、**オプション** > **編集** から名前の変更をおこないます。

詳細情報を表示する

ファイル名、ファイル形式、サイズなど、ファイルの詳細を表示します。表示される詳細は、ファイルの内容によって異なります。

1 詳細情報を表示するファイル > オプション > 詳細表示 の順に選択

ファイルの詳細情報が表示されます。

- 詳細内容はファイル形式によって異なります。

ファイルを送信する

画像ファイルや映像ファイルを MMS や E-mail に添付したり、Bluetooth 接続を利用して送信することができます。

1 送信するファイル > オプション > 送信 を選択

送信方法の選択画面が表示されます。

2 送信方法を選択 > 選択 を選択

それぞれの送信方法については、「MMS を作成 / 送信する」(P.85)、「Bluetooth 接続」(P.203) を参照してください。
E-mail を利用したファイルの送信方法については、「E-mail を作成 / 送信する」(P.86) を参照してください。

ファイルマネージャ

ファイルマネージャを利用して、電話機メモリや、メモリカード（本機に挿入されている場合）に保存されているファイルをフォルダで管理したり、メモリの空き容量を確認し、電話機メモリやメモリカード間でファイルをコピーしたり、移動したりすることができます。

ファイルマネージャは、電話機メモリ表示と、メモリカード表示で構成されています。各メモリには、あらかじめ登録されているフォルダのほかに、保存したファイルのタイプによってフォルダが自動的に作成されます。

アイコン

- - 電話機メモリ
- - メモリカード

1 > ツール > ファイル を選択

2 または を押して、画面上部に表示されるタブを変更し、電話機メモリ表示、またはメモリカード表示を選択

3 フォルダ > > ファイル > を押す

ファイルが開きます。

フォルダ / ファイルの利用と編集

ファイルマネージャのオプションメニューから、画像ファイルを開き、そのファイルを送信したり、壁紙に設定したりすることができます。また、サウンドファイルを着信音に設定することなどができます。各ファイルの操作については、「ギャラリー」(P.133) を参照してください。

■ 新規フォルダを作成する

1 > **ツール** > **ファイル** を選択

2 電話機メモリ、またはメモリカードを選択

3 オプション > **新規フォルダ** を選択

4 フォルダ名を入力し、OK を選択

- フォルダやファイルを別のフォルダに移動 / コピーするには、移動するフォルダやファイルを選択し、**オプション** > **フォルダへ移動**、または **フォルダへコピー** を選択します。

保存されているファイルの確認

ファイルマネージャから、電話機メモリやメモリカード (本機に挿入されている場合) に保存されているフォルダや、ファイルの情報を確認することができます。ファイルが利用可能であっても、？アイコンで表示される場合があります。ファイル名の拡張子、または **オプション** > **詳細表示** にて確認できます。

> **ツール** > **ファイル**

■ ファイルの詳細情報を確認する

ファイルマネージャの詳細表示を選択すると、ファイルの名前、タイプ、日付、時刻、サイズを確認することができます。

1 確認するフォルダ > **を押す**

フォルダが開きます。

2 情報を確認するファイル > **オプション** > **詳細表示** の順に選択

ファイルの詳細が表示されます。

アプリケーションマネージャ

■ インストールについて

アプリケーションマネージャを利用して、本機にインストールされているソフトウェアを確認することができます。インストールされているアプリケーションの詳細を確認したり、アプリケーションを削除したり、インストールの設定を変更したりすることができます。

アプリケーションマネージャを利用して、本機に次の２種類のソフトウェアやアプリケーションをイン

ストールすることができます。本機ではソフトウェアのインストールに制限があります。

- Java™ ベースで作成されている J2ME™ アプリケーション : (拡張子 ; .jad または .jar)
  PersonalJava アプリケーションは本機にはインストールすることができません。
- Symbian オペレーティングシステムに対応しているソフトウェア : (拡張子 ; .sis または .sisx)
  本機用に作成されているソフトウェアのみインストールしてください。

インストールファイルは、互換性のある PC から本機へ転送したり、インターネットからダウンロードしたり、マルチメディアメッセージ、E-mail の添付ファイルとして受信することができます。Bluetooth を使用して受信することもできます。本機にアプリケーションをインストールするには、Nokia Nseries PC Suite に搭載されている Nokia Application Installer が使用できます。ファイルの転送に Microsoft Windows Explorer を利用する場合には、カードリーダなどを使用して互換性のあるメモリカードへファイルを保存してください。

アイコン

- .sis アプリケーション

- Java アプリケーション

- 完全にインストールされなかったアプリケーション

- メモリカードにインストールされているアプリケーション

アプリケーションをインストールする前に、次の情報を確認してください。

ソフトウェアの種類、バージョン番号、製造元を確認する

1 > アプリ > アプリ の順に選択

2 インストールファイルを選択 > オプション > 詳細表示 を選択

詳細リストが表示されます。

- 既存のソフトウェアに対する修正ファイルや、更新ファイルをインストールする場合、そのソフトウェアのオリジナルインストールファイルや、バックアップファイルがある場合に限り、インストールが可能です。オリジナルのアプリケーションを復元する場合には、アプリケーションを削除し、オリジナルのインストールファイル、あるいは、バックアップコピーをインストールする必要があります。
- Java アプリケーションをインストールするには .jar ファイルが必要です。.jar ファイルが本機にない場合、ダウンロードを要求されます。アプリケーションに定義されているアクセスポイントがない場合は、新たに選択する必要があります。.jar

ファイルのダウンロードでは、サーバアクセス用のユーザ名とパスワードを聞かれる場合があります。その場合は、アプリケーションの製造元やサプライヤーから取得してください。

■ アプリケーションをインストールする

デジタル署名や証明書のないアプリケーションをインストールする場合は、警告が表示されます。ソフトウェアの内容や供給元の情報が確かな場合に限り、インストールを開始してください。

1 > アプリ > アプリ の順に選択

- インストールが済んでいないアプリケーションは、ファイル名の下に「未インストール」と表示される場合があります。

2 インストールするファイルを選択 > オプション > インストール を選択

確認メッセージが表示されます。
ソフトウェアによっては、証明書の詳細が表示されます。

3 OK または はい を選択

インストール中には、インストールの進捗情報が表示されます。

その他のインストール方法

- ファイルマネージャから、電話機メモリ、あるいはメモリカード（挿入されている場合）にあるインストールファイルを選択し、を押してインストールを開始する。
- **メール** > **受信メール** にあるインストールファイルが添付されているメッセージを開き、インストールを開始する。

■ インストールした後に

表示されるオプションはアプリケーションによって異なります。

インストールしたアプリケーションを開く

1 > アプリ を選択

2 アプリケーションを選択 > を押す

アプリケーションが起動します。

インターネットから詳細情報を確認する

インターネットに接続して、インストールしたアプリケーションの情報を取得します。アプリケーションによって表示されない場合があります。

1 > アプリ > アプリ を選択

2 情報を表示するアプリケーションを選択 > オプション > URL を開く を選択

URL の入力画面が表示されます。

3 URL を入力し、を押す

インストールログを表示する

1 > アプリ > アプリ の順に選択

2 オプション > ログ表示 を選択

アプリケーションを削除する

1 > アプリ > アプリ の順に選択

2 削除するアプリケーションを選択 > オプション > 削除 を選択

メッセージが表示されます。

3 はい を選択

削除したアプリケーションを再インストールするには、オリジナルのバックアップがある場合に限り可能です。ソフトウェアパッケージを削除すると、そのソフトウェアで作成した文書を開くことができなくなります。

注意： 本機の他のソフトウェアが、削除したソフトウェアに依存していた場合、そのソフトウェアが動作しなくなる可能性があります。詳細については、インストールしたソフトウェアパッケージのマニュアルを参照してください。

電話機メモリに保存されたインストールファイル (.sis、.sisx、.jad、または .jar) は、互換性のあるメモリカードにアプリケーションをインストールした後も、電話機メモリに残っています。保存されているインストールファイルに使用されるメモリ容量は多く、新規アプリケーション、ファイル、メールデータを保存するための十分なメモリ容量の確保を妨げる場合があります。Nokia Nseries PC Suite を利用して、互換性のある PC にインストールファイルを保存し、その後ファイルマネージャを利用して電話機メモリからインストールファイルを削除することをおすすめします。インストールファイルがメールに添付されている場合は、メールを削除してください。

アプリケーションの設定

1 > アプリ > アプリ の順に選択

2 オプション > 設定 を選択

次のオプションを設定することができます。

- **ソフトウェアのインストール** - デジタル署名のない Symbian ソフトウェアをインストールできるようにするかどうかを設定します。**すべて** または **署名済みのみ** を選択します。
- **オンライン証明書確認** - ソフトウェアをインストールする前に、オンライン証明書を確認するかどうか選択します。
  - **有効な証明書必須** - オンライン証明書に正当性がある場合にのみ、ソフトウェアをインストールします。
  - **オン** - オンライン証明書を確認する場合に選択します。
  - **オフ** - オンライン証明書を確認しません。
- **デフォルト URL** - オンライン証明書を確認するために使用する、デフォルト ウェブアドレスを

設定します。アドレスを入力して **OK** を選択します。

Java のセキュリティ設定

インストールした Java アプリケーションのセキュリティ設定を変更することができます。アプリケーション起動時に、ネットワークへのアクセス制限、ユーザデータ編集の許可・不許可などの設定がおこなえます。アプリケーションによって表示されるオプションは異なります。

1 ![] **> アプリ > アプリ の順に選択**

2 設定を変更するソフトウェアを選択 > オプション > 開く を選択

必要に応じて設定を変更します。

メモリカードをご利用になる前に

本機では、互換性のあるメモリカードを追加保存領域として利用することができます。本機で撮影した写真や、電話帳のデータなど、様々なファイルを保存することができます。メモリカードは読み取り、書き込みが可能なので、古い情報は削除して、新しい情報を保存することができます。

注意： メモリカードは、小さなお子様の手の届かない場所へ保管してください。

必ず本機と互換性のある Nokia 認定の microSD カードをお使いください。Nokia の製品は認定された業界標準に適合していますが、メモリカードのメーカーによっては本機と完全には互換性がない場合もあります。互換性のないメモリカードを使用すると、メモリカードや電話機本体、および互換性のないメモリカードに保存されているデータが破損する可能性があります。

本書では microSD カードを「メモリカード」と記載しています。

メモリカードの取り付け、および取り外しに関しては、「メモリカード」(P.21) を参照してください。

メモリカードの利用

![] **> ツール > ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ > メモリ**

■ メモリカードをフォーマット (初期化) する

・ メモリカードをフォーマット（初期化）すると、メモリカードに保存されているデータは完全に削除され、復元することができなくなります。本機に同梱されているメモリカードはフォーマット (初期化）不要です。

- 市販のメモリカードには、事前にフォーマット済みのもの、および使用の前にフォーマットが必要なものがあります。フォーマットの必要性については、メモリカードを使用する前にメモリカードの販売店やメーカーにご確認ください。
- 他の機器でフォーマット (初期化）したメモリカードは、本機では正常に使用できない場合があります。

1 オプション > ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞのﾌｫｰﾏｯﾄ を選択

確認メッセージが表示されます。

2 はい を選択

メモリカード名を変更する

1 オプション > メモリカード名 を選択

メモリカード名の入力画面が表示されます。

2 メモリカード名を入力し、OK を選択

メモリカードの使用状況を確認する

メモリカードの使用メモリ容量、空きメモリ容量、メモリカードに保存されているデータの種類や、データの種類ごとに使用しているメモリ容量など、詳細を確認することができます。

1 オプション > メモリ詳細 を選択

メモリカード詳細のリストが表示されます。

- 電話機メモリの使用状況を確認するには、「電話機メモリの使用状況を確認する」(P.60) を参照してください。

メモリカードにパスワードを設定する

1 オプション > パスワード設定 を選択

パスワードの入力画面が表示されます。

2 パスワードを 新規パスワード および 新規パスワード確認 に入力し、OK を選択

- パスワードの変更 / 削除は、**オプション** > **パスワード変更** または **パスワード削除** を選択します。

メモリ不足を解消する

- 本機は、電話機メモリ、あるいはメモリカードの残量が少なくなると、画面にメッセージを表示します。操作を中断し、表示内容にしたがってください。
- 本機は共有メモリを使用しています。
- 本機メモリを解放するには、互換性のあるメモリカードにデータを移動してください。(「データのバックアップ」P.59)

補足：Nokia Nseries PC Suite に搭載されているファイルマネージャを利用すると、本機内の各種メモリを表示するこ

とができます。また、データの転送も可能です。

- 複数のアプリケーションを同時に開いている場合は、使用していないアプリケーションを終了してください。(「マルチタスキング機能」P.33)
- データを削除して空きメモリを確保するには、**ﾌｧｲﾙﾏﾈｰｼﾞｬ** (P. 52) を利用するか、該当するアプリケーションからデータの削除を実行してください。例えば、次のデータを削除することができます。
  - **メール** の **受信メール**、**下書き**、および **送信済みﾒｰﾙ** フォルダ内のメール
  - 電話機メモリに取得したメール
  - 保存したインターネットページ
  - 保存した画像、映像、および音楽ファイル
  - 電話帳の情報
  - カレンダーエントリ
  - ダウンロードしたアプリケーション (「アプリケーションマネージャ」P.53)
  - メモリカードにインストール済みのインストールファイル (.sis、.sisx、.jad、または .jar) : Nokia Nseries PC Suite を利用して、互換性のある PC へインストールファイル (.sis、.sisx、.jad、または .jar) のバックアップを実行してから削除してください。
  - 不要になったその他データ
- 複数のアイテムを削除中に次のいずれかのメッセージが表示された場合は、サイズの小さなアイテムから1件ずつ削除してください。
  - **メモリ不足のため操作を実行できません。一部データを削除してください。**
  - **メモリが少なくなっています。電話機メモリから一部のデータを削除してください。**

データのバックアップ

電話機メモリに保存されている電話帳などのデータをメモリカードにバックアップし、後で電話機メモリに復元することが可能です。ただし、アプリケーションをバックアップすることはできません。

> **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **メモリ**

■ 電話機メモリからメモリカードにバックアップする

1 **オプション** > **電話機ﾒﾓﾘﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ** **を選択**

確認のメッセージが表示されます。

- 以前にバックアップを作成した場合は、そこに上書きされます。

2 **はい** **を選択**

メモリカードからバックアップデータを復元する

メモリカードにバックアップを作成すると、**カードから復元** オプションが表示されます。

1 オプション > カードから復元 を選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

復元が終了すると、本機を再起動するようメッセージが表示されます。

3 OK を選択

本機が再起動します。

指定したデータをバックアップする

指定したデータを転送するには、「ファイルをコピー / 移動する」(P.51) を参照してください。

電話機メモリの使用状況を確認する

電話機メモリの使用メモリ容量、空きメモリ容量、電話機メモリに保存されているデータの種類やデータの種類ごとに使用している容量など、詳細を確認することができます。

1 > オプション > メモリ詳細 > 電話機メモリ の順に選択

- > **ツール** > **ファイル** > **オプション** > **メモリ詳細** の順に選択して確認することもできます。

電話

電話をかける

1 待受画面で、市外局番から電話番号を入力

番号を削除する場合は、C を押します。

2 開始キーを押し、電話をかける

3 終了キーを押し、通話を終了する

- 他のアプリケーションが開いている場合でも、通話を終了できます。

補足：電話帳から通話相手を選択し、電話をかけることもできます。(「電話帳から電話をかける」P.47)

■ 以前かけた番号にもう一度かける（リダイヤル）

1 待受画面で、開始キーを押し、発信履歴を開く

2 電話番号を選択し、開始キーを押す

3 終了キーを押し、通話を終了する

■ ワンタッチダイヤルで電話をかける

あらかじめワンタッチダイヤルを利用可能に設定する必要があります。 > **ツール** > **設定** > **電話機** > **通話** > **ワンタッチダイヤル** > **オン** の順に選択し、設定します。

1 > ツール > ユーティリティ > ワンタッチ の順に選択

2 2 - 9 のいずれかを選択し、オプション > 登録 を選択

- 1 は、留守番電話サービスを呼び出すために使用されます。

3 電話帳から通話相手を選択

- 電話番号が複数登録されているときは、使用する電話番号を選択します。

4 を押す

- ワンタッチダイヤルに登録されると、電話帳の使用される電話番号の項目に が表示されます。

5 電話をかけるには、待受画面で登録したダイヤルキーを長く押す

■ 声で電話をかける

登録されたボイスタグを発声し、電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

- ボイスタグは、**電話帳** に登録されている名前やニックネームから自動生成され、ボイスタグを発声すると電話番号を呼び出します。

・ 本機はメインユーザの発声に順応し、正確にボイスタグを認識する機能を持っています。

注意：ボイスタグは、騒がしい場所での発声や緊急時の使用に適していません。どのような環境や事態においても、ボイスダイヤルの機能だけに依存しないでください。

ボイスタグで電話をかけるときは、内蔵スピーカーが使用されます。電話機を少し離して、ボイスタグを明瞭に発声してください。

1 待受画面で右ソフトキーを長く押す

- 短いビープ音が鳴り、**音声を入力してください** が表示されます。
- 互換性のあるヘッドセットを使用している場合は、ヘッドセットキーを長く押して、声で電話をかける機能を開始することができます。

2 ボイスタグをはっきりと発声する

- 認識されたボイスタグが再生されます。名前と電話番号が表示され、電話がかかります。
- ボイスタグが正しく認識されなかった場合は、メッセージが表示され、元の画面に戻ります。**終了** を選択すると、声で電話をかける機能を中止します。

1 件の電話帳に複数の電話番号が保存されている場合は、基本番号として登録されている番号に、ボイスタグが自動的に登録されます。基本番号が設定されていない場合は、登録されている最初の番号が使用されます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、開始キーを押す

着信中に着信音を消す

1 着信中に、消音 を選択

着信中に待受画面上部に音量変更を示す表示がみられますが、この表示は受話音量調節用ですので、着信音の音量変更はできません。ヘッドセットを接続している状態でも、スピーカーから着信音が鳴ります。

補足：本機と互換性のあるイヤホンマイクが接続されている場合は、イヤホンマイクのキーを押すことで、電話に応答したり、終了したりすることができます。

電話にでられないとき

発信者へ SMS を送信する

電話に応答できない場合、発信者へ応答できない理由を知らせる SMS を送信することができます。SMS を使用すると、同一の携帯電話事業者の利用者間でメッセージの送受信が簡単におこなえます。

1 電話がかかってきたら オプション > SMS 送信 を選択

- SMS 編集画面が表示されます。
- SMS の本文をあらかじめ編集しておくことができます。(「通話拒否時 SMS 送信」P.224)
- **マナーモード** に設定中は、**ﾒｯｾｰｼﾞ 送信** を選択します。

2 オプション > 送信 を選択

着信を拒否する

1 電話がかかってきたら、終了キーを押す

補足：着信を拒否した場合、発信者には通話中音が聞こえます。

拒否した電話を転送する

転送電話サービスの設定 > **通話中** の機能を開始している場合、拒否した電話を転送します。(「転送電話」P.77)

通話中の操作

受話音量を調節する

1 通話中に、音量を大きくするには本機側面にある音量調節キー ◀ 、小さくするには ▶ を押す

- ナビゲーションキー または を押して調節することもできます。
- 着信中に画面上部に表示されるインジケータは、受話音量を調節するものであって、着信音量を調節するものではありません。着信中に着信音を消音にするには、**消音** を選択します。

ハンズフリースピーカーを使用する

ハンズフリースピーカーを使用すると、電話機を持たずに近い距離で (例えば、近くのテーブルに置いて) 話したり聞いたりできます。

1 通話中に、ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ を選択

画面上部に が表示されます。

2 通常通話に戻すには、通常通話 を選択

ハンズフリースピーカーがオフとなります。

警告：ハンズフリースピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

通話中に通話を録音する

通話中に通話を録音することができます。(「音声メモ」P.183)

その他通話中にできること

通話中に使用できるオプションの多くは、ネットワークサービスです。表示されるオプションは、状況によって異なります。

通話中 > オプション

- **新規発信** - 通話中に別の相手へ電話をかけます。
- **通常通話に切り替え** / **ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替え**
- **ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替え** - 本機と互換性のある Bluetooth ヘッドセットが接続されている場合に使用できます。
- **保留** / **保留解除** - 通話を保留にすることができます。このオプションを使用するには、携帯電話事業者のサービスへ別途お申し込みが必要になる場合があります。
- **ミュート** / **ミュート解除** - 通話相手への送信音声がミュートとなります。会議通話、ハンズフリースピーカーなどをご利用の際に使用すると便利です。
- **キー操作ロック** - 通話中に **キー操作ロック** を設定することができます。
- **テレビ電話に切り替え** - 通話を終了し、同じ相手にテレビ電話をかけ直します。
- **会議通話** - 複数の相手と通話をおこないます。（「会議通話」P.80)
- **通話切り替え** - 通話中の電話を終了し、かわりにかかってきた電話に応答できます。(「割込通話」P.79)
- **ｶｽﾀﾑ待受画面を開く** - 通話中に待受画面を開くことができます。**カスタム待受画面**（P.221）が **オフ** に設定されている場合は利用できません。
- **MMS 送信** - （WCDMA ネットワークのみ）通話相手へ MMS で静止画やビデオを送信します。開始キーを押して、本機と互換性のある機器に送信します。
- **プッシュ信号送信** - 一連のプッシュ信号（例えば、パスワード）を送信できます。プッシュ信号を入力するか、**電話帳** でプッシュ信号を検索します。待機文字（w）または一時停止文字（p）を入力するには、[*] を繰り返し押し、**OK** を選択して送信します。電話帳の **電話番号** や **プッシュ信号** 項目にプッシュ信号を保存しておくこともできます。
- **切り替え** - 複数の相手と通話している場合、相手を切り替えることができます。(「会議通話」P.80)、(「割込通話」P.79)
- **転送** - ネットワークによってはご利用になれません。

補足：通話中に開始キーを押すと保留にすることができます。保留を解除するには、もう一度開始キーを押します。

インターネット電話

インターネット電話サービス (ネットワークサービス) を利用して、インターネットで電話をかけたり電話を受けたりすることができます。

インターネット電話は、サービスプロバイダの提供するサービスによっては、コンピュータ間、携帯電話機間、またはその他のインターネット電話機器と通常電話機間で接続することができます。インターネット電話を送受信するには、お客様の電話機がインターネットサービスに接続されている必要があります。

はじめに

注意： このサービスについては、ご利用になるネットワーク環境によって異なります。サードパーティのインターネット電話サービスをご利用になる場合は、お客様ご自身の責任でインターネット電話サービス用のアプリケーションをインストールしてください。

インターネット電話で通話するには、本機がインターネット電話サービスに接続されている必要があります。必要に応じて「プロファイルの作成」(P.65) を参照、またはインターネット電話サービスプロバイダの指示に従って設定をおこなってください。

初めて **ネット電話** を起動する際、ダウンロードアプリケーションを起動して、自動的にサービス設定の取得をおこなうかどうかの確認をするメッセージが表示される場合があります。必要に応じてインターネット電話サービス設定（サードパーティアプリケーション）を取得してください。

本機はインターネットを介した音声電話に対応しています。本機から緊急電話番号に電話をかける場合、最初に携帯電話ネットワークが使用されます。携帯電話ネットワークで緊急電話番号に電話がかからなかった場合、本機はお客様が契約しているインターネット電話プロバイダを介して緊急電話をかけようとします。既存の携帯電話の性質上、緊急電話には携帯電話ネットワークの使用が推奨されます。携帯電話ネットワークのサービスエリア 内では、緊急電話をかける前に本機の電源がオンになっており、電話がかけられる状態であることを確認してください。インターネット電話を使用しての緊急電話は、無線 LAN ネットワークが有効であるか、インターネット電話のプロバイダが緊急電話の機能に対応しているかどうかによります。インターネット電話での緊急電話については、契約されているインターネット電話サービスプロバイダにお問い合わせください。

プロファイルの作成

インターネット電話で通話を開始する前に、インターネット電話プロファイルを作成する必要があります。

詳しい設定については、インターネット電話サービスプロバイダにお問い合わせください。

1 > **ツール** > **設定** > **接続** > **SIP 設定** > **オプション** > **新規 SIP プロファイル** > **ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ使用** **を選択**
   - 設定に必要な情報を入力します。
   - インターネットサービスに自動的にログインする場合は、**登録** は **常にオン** に、また **プロキシサーバ** > **転送タイプ** は **自動** に設定します。
   - インターネットサービスに手動でログインする場合は、**登録** は **必要時** に、また **プロキシサーバ** > **転送タイプ** を **UDP** または **TCP** に設定します。

2 **接続設定** のメイン画面に戻るまで **戻る** **を選択**

3 **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話** > **オプション** > **新規プロファイル** **を選択**

4 **名前** **と作成した** **SIP プロファイル** **を設定**
   - **SIP プロファイル** では、手順 1 で作成したプロファイルを選択します。

インターネット電話サービスに接続

インターネット電話サービスに接続するには、本機がワイヤレス LAN アクセスポイントなどの接続ネットワーク受信地域内で使用される必要があります。

接続には無線 LAN（WLAN）が推奨されます。他の接続を使用する前に、条件とデータサービス料金についてサービスプロバイダにお問い合わせください。

利用可能なアクセスポイントは、インターネット電話サービスプロバイダによって異なります。

重要 : 無線 LAN 接続のセキュリティを向上させるために、利用可能な暗号化手段のいずれかを常に有効にしておいてください。暗号化を使用すると、データへの不正アクセスのリスクが軽減されます。

フランスなど、一部の国 / 地域では、無線 LAN の使用が制限されています。詳細については、ご利用になる地域の行政機関にお問い合わせください。

インターネット電話をかけたり、受けたりするには、使用する機器がインターネット電話サービスに接続する必要があります。自動接続設定の場合は、本機は自動的にサービスへ接続されますが、手動で接続をおこなう場合は、リストから利用可能なネットワークを選択する必要があります。

サービスに手動で接続する

1 > **ツール** > **外部接続** > **ﾈｯﾄ電話** > **オプション** > **サービスに接続** **を選択**
   - インターネット電話サービスの接続中は、が待受画面に表示されます。

- 接続の確立をキャンセルする場合は、**キャンセル** を選択します。
- 保存されたネットワークは、☆付きでリストの一番上に表示されます。
- サービスへの接続を確立した後に、使用したワイヤレス LAN ネットワークをアクセスポイントとして保存することができます。

次の設定をおこなうことができます。

サービスから切断 - インターネット電話サービスへの接続を切断します。

サービス変更 - 本機が複数のサービスに接続されているときに、利用するインターネット電話サービスを選択します。このオプションは、設定されたサービスが 1 件以上利用可能なときに表示されます。

サービス設定 - 新規のサービスを設定します。このオプションは、設定されていないサービスがある場合に表示されます。

ネットワーク保存 - 接続中のネットワークを保存します。前回保存したネットワークは、☆付きで接続ネットワークのリストに表示されます。このオプションは、保存されていないワイヤレス LAN ネットワークに接続されているときに表示されます。

非表示ﾈｯﾄﾜｰｸ使用 - 非表示ワイヤレス LAN ネットワークを使用してインターネット電話サービスに接続します。

更新 - 接続ネットワークのリストを手動で更新します。このオプションは、使用したいワイヤレス LAN ネットワークがリストに表示されない場合に使用します。リストは、約 15 秒毎に自動的に更新されます。

設定 - 設定を変更します。

終了 - アプリケーションを終了します。

インターネット電話サービスプロバイダにより利用可能なオプションは異なります。

■ インターネット電話をかける

インターネット電話の機能を有効にすると、通常電話をかけるときに使用するアプリケーションから同様にして、インターネット電話をかけることができます。例えば、電話帳から通話相手を選択し、**オプション** > **インターネット電話** を選択します。

待受画面からかける

1. **待受画面 > 電話番号またはアカウント名を入力 > 開始キーを押す**
   - 文字入力モードを切り替える場合は、待受画面で任意の数字キーを押してから、[#] を長く押します。

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話 が優先通話タイプとして設定されており、本機がインターネット電話サービスに接続されている場合、電話をかけるときにインターネット電

話がデフォルトで使用されます。設定方法は、「デフォルト通話タイプを設定する」を参照してください。

電話帳からかける

1 > **電話帳** を選択

2 通話相手の電話帳を選択

3 **オプション** > **インターネット電話** を選択

通信履歴からかける

1 > **ツール** > **通信履歴** > **発着信履歴** を選択

2 **不在着信履歴**、**着信履歴**、または **発信履歴** から通話相手の履歴を選択

3 **オプション** > **インターネット電話** を選択

設定

> **ツール** > **外部接続** > **ﾈｯﾄ電話** > **オプション** > **設定**

デフォルト通話タイプを設定する

1 **デフォルト通話タイプ** > **オプション** > **変更** を選択

2 **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話** を選択

- インターネット電話サービスに接続した場合に、インターネット電話が優先通話となります。
- **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話** に設定しても、サービスが利用できない場合は、自動的に通常電話がかかります。
- **ツール** の **デフォルト電話タイプ** から設定することもできます。「通話設定」(P.224) を参照してください

インターネット電話サービスの設定をする

> **ツール** > **外部接続** > **ﾈｯﾄ電話** > **オプション** > **設定** > **[サービス名] の設定**

サービスの設定を確認するには、**ログインタイプ** を選択し、次の設定をおこないます。

- **手動** - インターネット電話サービスに手動でログインします。
- **自動** - インターネット電話サービスに自動的にログインします。接続可能なネットワークが検出されると、本機は自動的にインターネット電話サービスに接続されます。この機能を設定すると待受画面上部に が表示されることがあります。
- ログインタイプを **自動** に設定し、無線 LAN でサービスに接続する場合、本機は定期的に無線 LAN ネットワークの検出をおこないます。検出には電池の消費量が増し、電池の消耗が早くなります。

保存済み接続ﾈｯﾄﾜｰｸ - インターネット電話サービスで認識された接続ネットワークを確認します。これらのネットワークは自動ログインに使用され、接続ネット

ワークリストに☆付きで表示されます。リストから削除するには、**オプション** > **削除** を選択します。

サービス設定編集 - サービス特有の設定を表示します。このオプションは、サービス特有のソフトウェアプラグインが本機にインストールされている場合のみ使用できます。

発信履歴 / 着信履歴の確認

■ 発着信履歴を表示する

1 > ツール > 通信履歴 > 発着信履歴 の順に選択

- **不在着信履歴**、**着信履歴**、**発信履歴** を確認することができます。
- 不在着信履歴と着信履歴は、本機の電源がオンの状態で、かつネットワーク圏内の場合にのみ記録されます。
- テレビ電話には、ビデオマーク が左側に表示されます。
- 履歴から電話をかけたり、メールの送信、電話番号の抽出、電話帳への登録を行うことができます。

補足： 待受画面に不在着信履歴の通知が表示された場合に **表示** を選択すると、不在着信履歴のリストを表示することができます。折り返し電話をかける場合は、名前または電話番号を選択して、開始キーを押します。

■ 発着信履歴を消去する

> **ツール** > **通信履歴** > **発着信履歴**

すべての履歴リストの履歴をすべて消去する

1 オプション > 発着信履歴を消去 を選択

いずれかの履歴リストの履歴をすべて消去する

1 消去するリストを開く

2 オプション > 履歴消去 を選択

履歴を 1 件ずつ消去する

1 消去するリスト開き、消去する履歴を選択

2 C を押す

通話時間の確認

> **ツール** > **通信履歴**

■ 通話時間を表示する

1 通話時間 を選択

前回通話時間、発信履歴、着信履歴、すべての通話が表示されます。通話時間は、累計の通話時間が表示されます。

- **オプション** > **詳細表示** > **通常通話**、または **インターネット電話** を選択して、それぞれの通話時間を表示することもできます。

注意：ご利用の携帯電話事業者から実際に請求される通話およびサービスのご利用料金は、ネットワークの機能、請求書発行時の端数計算、税金などによって異なる場合があります。

■ 通話時間を消去する

1 オプション > 通話時間記録を消去 を選択

この操作をおこなうには、ロックコードが必要です。（「ロックコード」P.31）

パケット接続送受信データ量の確認

> ツール > 通信履歴

■ パケット接続送受信データ量を表示する

1 パケット接続 を選択

パケット通信料が定額になるサービスをご利用でない場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。海外では、パケットローミング費用が別途かかりますのでご注意ください。

■ パケット接続送受信データ量をリセットする

1 パケット接続 > オプション > カウンタリセット を選択

この操作をおこなうには、ロックコードが必要です。（「ロックコード」P.31）

通信履歴

■ すべての通信履歴を表示する

> ツール > 通信履歴

1 ▢を押す

アイコン

- 着信
- 発信
- 不在着信

- 電話、テレビ電話、SMS、パケットデータ、無線LAN 接続の履歴を表示します。
- 通信履歴ごとに送信者と受信者の名前、電話番号、アクセスポイントを表示します。

- サブ記録（複数の部分に分割されて送信されたSMS やパケットデータなど）も、1 つの通信履歴として記録されます。メールボックス、MMS センター、インターネットのページへの接続は、パケットデータ接続として表示されます。

通信履歴にフィルタをかけて表示する

1 オプション > フィルタ を選択

2 表示する条件を選択

条件ごとにフィルタされた通信履歴が表示されます。

通信履歴 1 件の詳細情報を表示する

1 通信履歴を選択し、◙ を押す

補足：通信履歴の詳細情報画面で、電話番号をクリップボードにコピーし、テキストに貼り付けることができます。**オプション** > **電話番号コピー** を選択します。

パケットデータ接続カウンタと接続時間

1 ﾊﾟｹｯﾄ の表示がある通信履歴を選択

2 オプション > 詳細表示 を選択

転送したデータ量（kB 単位）や特定のパケットデータ接続時間を表示します。

すべての通信履歴を消去する

1 オプション > 通信履歴消去 を選択

メッセージが表示されます。

2 はい を選択し、全件を消去する

通信履歴、発着信履歴、配信レポートの内容が完全に消去されます。

通信履歴保存期間を設定する

1 オプション > 設定 > 通信履歴保存期間 の順に選択

通信履歴は、設定した日数の期間中、電話機メモリに保存されます。その期間を過ぎると自動的に消去されます。**通信履歴なし** を選択すると、通信履歴の内容、発着信履歴、配信レポートはすべて削除されます。

自分の電話番号を確認する

1 ⁂ > 電話帳 > オプション > SIM 電話帳 > SIM フォルダ の順に選択

2 オプション > 自局電話番号 を選択

国際電話をかける

■ 国内から国際電話をかける

1 国際電話用のアクセスコードを設定

(「国際アクセスコード置換」P.224)

2 [*] を2度押して、「+」を入力する

3 国番号、市外局番、電話番号を入力する

市外局番は、必要に応じて先頭の0を除いて入力します。

4 開始キーを押して、電話をかける

設定したアクセスコードが、番号の先頭に自動的に追加されます。

■ 海外から国際電話をかける

1 国際電話用のアクセスコードが設定されている場合は、オフ に設定

(「国際アクセスコード置換」P.224)

2 [*] を2度押して、「+」(国際通話アクセスコード)を入力する

ネットワークモードについては、「ネットワークモード」(P.225) を参照してください。

3 国番号、市外局番、電話番号を入力する

市外局番は、必要に応じて先頭の0を除いて入力します。

4 開始キーを押して、電話をかける

テレビ電話

テレビ電話をご利用になる前に

お客様ご自身と通話相手の映像を見ながら、通話することができます。通話相手には、メインカメラで撮影したお客様の映像が送信されます。テレビ電話では、待受画面上部のカメラをメインカメラと呼称します。

アイコン

- - テレビ電話着信
- - 通話相手の映像を受信していない（通話相手が映像を送信していないか、ネットワークが映像を送信していない）
- - お客様が映像送信を拒否している
  ライブ映像のかわりに静止画を送信するには、**ツール** > **設定** > **電話機** > **通話** > **テレビ電話の静止画** を選択し、画像を設定します。

テレビ電話着信中に映像の送信を拒否しても、テレビ電話として課金されます。料金については、携帯電話事業者にお問い合わせください。

テレビ電話利用時のご注意

- 本機に USIM カードが正しく挿入され、本機を WCDMA ネットワーク圏内で使用することが必要です。
- テレビ電話に対応している携帯電話との間でご利用できます。
- 音声電話、テレビ電話、データ通信を行なっている間は、新たにテレビ電話を開始することはできません。

テレビ電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力 > テレビ電話 を選択

通話相手がテレビ電話に応答すると、画面が表示されます。

- **オプション** > **テレビ電話** を選択することもできます。
- **電話帳** を開き、電話番号を選択することもできます。
- テレビ電話ではデフォルトでメインカメラが使用されますが、本機背面のカメラレンズカバー

が開いている場合は、第2カメラが使用されます。

- テレビ電話が開始するまでに時間がかかる場合は、画面に **ビデオ画像を待機中** が表示されます。テレビ電話の利用ができない場合 (例えば、ネットワークが対応していない場合や、通話相手の携帯電話がテレビ電話に対応していない場合) は、メッセージ表示後に通常通話として通話をおこなうか、SMS または MMS を送信するかどうかなどをリストから選択できます。
- テレビ電話通話中の画面には、お客様と通話相手の 2 つの映像が表示され、ハンズフリースピーカーから音声が聞こえます。
- 通話相手が映像送信を拒否した場合、画面には **ビデオ画像を待機中** と表示されます。

テレビ電話を受ける

1 電話がかかってきたら、開始キーを押す

ビデオ画像を発信者に送信しますか？ が表示されます。

2 はい を選択

- 映像が通話相手へ送信されます。
- 映像を通話相手に送信しない場合は、**いいえ** を選択します。
- 映像の送信を拒否した場合、画面には通話相手の映像と左上の映像枠に が表示されます。
- 映像を送信せずに、あらかじめ設定しておいた静止画を送信することもできます。（「テレビ電話の静止画」P. 224）

3 終了キーを押す

テレビ電話が終了します。

アプリケーションの使用中にテレビ電話に応答し、通話を終了すると、待受画面が表示されます。使用していたアプリケーションに戻るには、「マルチタスキング機能」(P.33) を参照してください。

テレビ電話で通話中は、**割込通話サービス** を利用することができません。

補足 : テレビ電話の着信音を設定することができます。「着信パターンの設定」(P.219) を参照してください。

テレビ電話通話中の操作

■ 映像送信 / オーディオ送信を切り替える

1 オプション > 有効 / 無効 > ビデオ送信、オーディオ送信、ｵｰﾃﾞｨｵとﾋﾞﾃﾞｵ送信 のいずれかを選択

メインカメラ / 第2カメラを切り替える

1 **オプション** > **メインカメラ使用** または **第2カメラ使用** を選択
- 通話相手に、お客様ご自身の映像を送信するには、**メインカメラ使用** を選択します。
- バックカメラの映像を通話相手に送信する場合は、**第2カメラ使用** を選択します。

映像をズームする

1 **オプション** > **ズームイン** または **ズームアウト** を選択

ズームインジケータ ± は、画面上部に表示されます。
- または を押して、ズームインやズームアウトをすることもできます。

送信映像の表示順序を切り替える

自分の映像と通話相手の映像を画面上で切り替えることができます。

1 **オプション** > **画像位置切り替え** を選択

通話モードを切り替える

1 **オプション** > **通常電話に切り替え**、**ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替え**、**ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替え** のいずれかを選択

(本機と互換性のある Bluetooth イヤホンマイクが接続されている場合に表示。)

補足： 通話中に受話音量を大きくしたり、小さくしたりする場合は、本機側面の音量調節キー または を押します。 または を押して、音量を調節することもできます。

ビデオ設定を変更する

受信した通話相手の映像の画質を変更することができます。

1 **オプション** > **ビデオ品質設定** > **標準**、**画質優先**、**動き優先** のいずれかを選択

スナップショットを送信する

1 **オプション** > **ｽﾅｯﾌﾟｼｮｯﾄ送信** を選択

2 **撮影** を選択

撮影した画像が画面中央に表示され、通話相手の画面にも、撮影した画像が表示されます。
- **ビデオ使用** を選択すると、通常のテレビ電話に戻ります。

画像を共有する

1 **オプション** > **画像共有** を選択

静止画のリストが表示されます。

2 **共有する静止画を選択し、 を押す**

選択した画像が、本機と通話相手の画面中央に表示されます。

- **共有停止** を選択すると、通常のテレビ電話に戻ります。

オプションサービス

オプションサービスの概要

本機は、次のオプションサービスの機能に対応することができます。オプションサービスに関して詳しくは、ご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。

・ 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。

転送電話

・ かかってきた電話を留守番電話や別の電話番号に転送できます。

留守番電話

・ 電波の届かない場所にいるときや通話中のため電話にでられないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。

割込通話

・ 別途お申し込みが必要です。
通話中の相手を保留にし、別の相手からの電話を受けることができます。相手を切り替えながら通話することもできます。

会議通話

・ 別途お申し込みが必要です。
通話中に別の相手に電話をかけられます。相手を切り替えながら通話したり、最大で 6 人同時に通話したりできます。

発着信規制

・ 電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。

発信者番号通知

・ お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

転送電話

注意：発着信規制と転送電話は同時に使用できません。

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **転送サービス**

転送電話を開始 / 停止する

1 転送する着信の種類 (電話、データ通信およびテレビ電話) を選択

2 転送条件を選択

- **すべての電話** / **すべてのデータ通信およびテレビ電話** - 本機の状態に関わらず、すべての着信を転送します。

- **通話中** - 通話中に着信があった場合に転送します。割込通話にご加入の場合は、割込み着信中に拒否を押すと指定の番号へ転送します。
- **応答なし** - 設定した秒数以内に応答できない場合に転送します。
- **電源オフ / 圏外** - 電源オフ時、ネットワーク圏外時に転送します。
- **通話不能** - 通話中、応答なし、電源オフ / 圏外の転送条件をまとめて転送します。

補足：テレビ電話も同様に転送できますが、テレビ電話の転送は、ネットワーク事情によりご使用になれない場合があります。転送電話の設定で **データ通信およびテレビ電話** を選択してください。

注意：FAX 通信の転送は日本国内ではご利用いただけません。

3 オプション > 開始 を選択

- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。
- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。
- 複数の転送条件を同時に開始することもできます。
- **すべての電話** が転送される場合は、待受画面に が表示されます。

4 別の電話番号へ を選択し、電話番号を入力

■ 転送電話をすべて停止する

1 オプション > すべての転送を停止 を選択

補足：転送条件ごとにサービスを停止することもできます。(「転送電話」P.78 操作 3)

留守番電話

- 電波の届かない場所や電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
- 転送電話の転送先を留守番電話センター番号に設定する必要があります。

注意：転送電話と留守番電話を同時に利用することはできません。

補足：本機には簡易留守録機能はありません。

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **転送サービス**

■ 留守番電話を開始する

1 転送する着信の種類 (電話、データ通信およびテレビ電話) を選択

2 転送条件を選択

(「転送電話」P.77 操作 2)

3 オプション > 開始 を選択

（「転送電話」P.78 操作 3）

4 別の電話番号へ を選択し、携帯電話事業者の留守番電話サービスセンターの電話番号を入力

■ 伝言メッセージを聞く

1 待受画面で [1] を 1 秒以上押す

伝言再生用番号（1416）へ自動的に発信します。

- > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **留守電** > **留守番電話センター** を選択しても、伝言再生用番号へ発信することができます。
- インターネット電話の設定を行うと、**ﾈｯﾄ電話留守電ｾﾝﾀｰ** が表示される場合があります。この機能を使用するには、ネットワークおよびサービスプロバイダがサポートしている必要があります。（「インターネット電話」P.65）

2 ガイダンスに従って操作する

補足： 待受画面に **新規伝言メッセージがあります** と表示された場合は **再生** を選択します。

■ 留守番電話を停止する

・ 転送電話の設定を停止します。（「転送電話をすべて停止する」P.78）

割込通話

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **通話** > **割込通話サービス**

■ 割込通話を開始 / 停止する

1 オプション > 開始 を選択

- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。
- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。

■ 割込通話を受ける

通話中に、割込通話を知らせる着信音が聞こえたら、次の操作をおこないます。

1 オプション > 応答 を選択

最初の通話は保留となり、別の相手からの電話を受けます。
次の応答方法を選択することもできます。

- **拒否する**：別の相手からの電話を受けずに、そのまま通話します。
- **通話切り替え**：通話中の相手との電話を切り、別の相手からの電話を受けることができます。

2 切り替え を選択

- 割込通話中に通話相手を切り替えます。

3 終了キーを押す

- 通話中の電話を切ります。

- すべての通話を切断する場合は、**オプション** > **すべての通話終了** を選択します。

会議通話

■ 通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中に、オプション > 新規発信 を選択し、別の通話相手へ電話をかける

最初の通話は自動的に保留となります。

■ 相手を切り替えながら通話する

1 切り替え を選択

切り替え を選択するたびに通話が切り替わります。

■ 複数で同時に通話する

お客様を含め最大 6 名まで、同時に通話をおこなうことができます。

1 通話中に、オプション > 新規発信 > 別の電話番号入力

相手先が電話を受けます。

2 オプション > 会議通話 を選択

３者で会議通話が開始されます。

- さらに参加者を追加するには、操作 1 の次に、**オプション** > **会議通話** > **参加者追加** を選択してください。

■ 会議通話中に個別に通話をおこなう

1 オプション > 会議通話 > 個別通話 を選択

2 通話相手を選択し、個別通話 を選択

指定した通話相手と個別通話が開始されます。

- 残りの通話者での会議通話はそのまま継続されます。

3 会議通話に戻る場合は、オプション > 会議通話 を選択

■ 会議通話中に個別に通話を終了する

1 オプション > 会議通話 > 参加者削除 > 通話相手を選択 > 削除 の順に選択

■ 会議通話を終了する

1 終了キーを押す

- **オプション** > **すべての通話終了** を選択しても会議通話を終了することができます。

発着信規制

サービスをご利用になる場合は、携帯電話事業者から提供された発着信規制パスワードが必要になります。

注意：発着信規制と転送電話は同時に使用できません。

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **発着信規制**

発着信規制を設定する

1 **通常電話発着信規制** > **設定する項目を選択**
- **発信規制** - 海外の緊急電話番号を除くすべての電話をかけられないようにします。
- **すべての国際発信規制** - 滞在国以外への国際電話をかけられないようにします。
- **自国以外への国際発信規制** - 滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。
- **着信規制** - すべての電話を受けられないようにします。
- **海外滞在中着信規制** - 日本以外で電話を受けられないようにします。

2 **オプション** > **開始** **を選択**
- **状態確認** を選択すると、サービスの状況を確認できます。
- **停止** を選択すると、サービスを停止できます。

3 **発着信規制パスワードを入力**

注意：発着信規制が使用中であっても、本機にプログラムされた海外公認の緊急電話番号には電話できる場合があります。本機では、発信規制が設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができません。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.254) を参照して電話をかけてください。

発着信規制をすべて停止する

1 **通常電話発着信規制** > **オプション** > **全発着信規制を停止** **の順に選択**

発着信規制暗証番号を変更する

1 **通常電話発着信規制** > **オプション** > **規制パスワード編集** **の順に選択**
2 **現在のパスワードを入力**
3 **新規パスワードを入力**
4 **確認のため、新規パスワードを再度入力**

ネット電話の発着信規制を設定する

1 **インターネット電話発着信規制** > **匿名電話の着信規制** **を選択**

オン に設定すると匿名電話の着信を受けられないようにします。

発信者番号通知

> ツール > 設定 > 電話機 > 通話 > 発信者番号通知

1 オプション > 変更 を選択

- **オン** を選択すると、通話相手に電話番号を通知します。
- **オフ** を選択すると、電話番号が非通知となります。
- **契約時ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定** を選択すると、携帯電話事業者による設定が有効となります。

メール

メール では、SMS や MMS、音声メッセージ、E-mail、データを含むメールを作成、送受信、フォルダで整理することができます。また、Bluetooth 接続を利用してデータを受信することもできます。
Bluetooth 接続で受信したデータは **メール** の **受信メール** に保存されます。

SMS - 同一の携帯電話事業者の利用者間でメッセージの送受信が簡単におこなえます。

MMS - 同一の携帯電話事業者の利用者間、他社携帯電話やパソコンとの間で、メッセージ、画像、サウンド、ビデオなどの送受信ができます。本機は HTML メールには対応しておりません。

音声メッセージ - 1 つのサウンドクリップファイルを MMS で送受信することができます。

E-mail - 別途インターネットサービスプロバイダなどで契約したメールボックスを使用し、E-mail の送受信ができます。ご契約の携帯電話事業者が提供するメールサービス機能とは異なります。(「リモートメールボックスを利用した E-mail 送受信」P.94)

MMS を送信した際には、受信した側によっては表示が異なる場合があります。

MMS の送受信で、添付ファイル名が全角・半角カナ文字を含む場合、その部分は「 _ 」(アンダーバー) に変換されます。また、添付ファイル名が半角 9 文字以上だった場合、半角 8 文字になって送受信される場合があります。

メールフォルダの種類と役割

メールフォルダには、次のような種類と役割があります。

- **受信メール** ( ) - 受信したメールが保存されます。E-mail は **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** に保存されます。
- **マイフォルダ** ( ) - フォルダの新規作成、フォルダの名前変更および削除が可能です。

  補足：繰り返し使用するメール本文を **定型文** フォルダに保存し、テンプレートとして使用することができます。

- **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** ( ) - リモートメールボックスに接続して、新着 E-mail を取得することができます。また、以前取得した E-mail をオフラインで表示することができます。(「E-mail クライアント設定」P.95)
- **下書き** ( ) - 送信前の下書きメールが保存されます。
- **送信済みﾒｰﾙ** ( ) - 送信済みメールが最大 20 件まで保存されます。Bluetooth 接続を使用して送信されたメールは保存されません。メールの保存件

数を変更する場合は、「その他の設定」(P.94) を参照してください。
- **未送信メール** ( ) - ネットワーク圏外の場合などに、送信待ちのメールが、一時的に保存されます。
- **配信レポート** ( ) - 携帯電話事業者からの SMS と MMS の配信レポートを受信することができます（ネットワークサービス)。

補足：いずれかのフォルダを開いた状態で または を押すと、フォルダを切り替えることができます。

メール送信

送信できる MMS のサイズは、添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大 300 kB です。添付したファイルが制限を越える場合、送信可能なサイズに縮小されることがあります。

メールを送信中は、画面右上に が表示されます。送信が完了すると画面から が消えます。**未送信メール** に送信に失敗したメールがある場合、 が待受画面に表示されたままになります。**未送信メール** からメールを削除してください。

> **メール** > **新規ﾒｰﾙ作成**

SMS を作成 / 送信する

同一の携帯電話事業者の利用者間でメッセージの送受信が簡単におこなえます。

1 メールの種類から、SMS を選択

2 宛先 を選択し、 を押す

- 電話帳が開き、あらかじめ登録されている受信者の名前やグループを選択することができます。または、受信者の電話番号を直接入力することもできます。
- 複数の受信者を入力する場合は、 * を押し、セミコロン (;) で区切ります。
- クリップボードにコピーされた電話番号を、貼り付けて入力することもできます。

3 メール本文を入力

- 定型文を使用するには、**オプション** > **挿入** > **定型文** の順に選択します。

4 オプション > 送信 を選択

開始キーを押して、送信することもできます。

注意：本機は、送信時にメールの文字数制限（全角 70 文字）を超えた場合に対応することができます。長いメールは、2 つ以上のメールに分割して送信されます。その場合、携帯電話事業者は送信メール数に応じて、料金を請求することがあります。アクセント記号やマーク記号、他言語の文字によっては、文字数のカウントが通常より多く必要となります。画面上部に、入力可能なメールの文字数が表示されます。例えば、１０ (2) と表示された場合は、2 つに分割されたメールに対して、あと１０文字追加して送信することができます。

■ MMS を作成 / 送信する

1 メールの種類から、MMS を選択

2 宛先 を選択し、受信者を入力

- 宛先として **CC** や **BCC** を追加するには、**オプション** > **宛先フィールド** を選択します。
- 電話帳から E-mail アドレスを呼び出して入力できます。

3 件名 を入力

4 メール本文を入力

5 ファイルを添付するには、オプション > ファイル添付 > 画像、サウンドクリップ、ビデオクリップ の順に選択

ギャラリーのフォルダが表示されます。

6 添付するファイルを選択

- サウンドファイルが追加された場合、🎵 が表示されます。
- MMS に添付するファイルを新規作成するには、**オプション** > **添付ファイル作成** > **画像**、**サウンドクリップ**、**ビデオクリップ** の順に選択します。
- **画像**、**ビデオクリップ** を新規作成する場合は、カメラが起動します。**サウンドクリップ** を新規作成する場合は、**音声メモ** が起動します。
- 作成した MMS をプレビューする場合は、**オプション** > **プレビュー** を選択します。
- スライドを作成する場合は、**スライド** を選択します。
- 複数のファイルを添付した場合、**オプション** > **移動** を選択して、添付ファイルの順序を変更することができます。ファイルの順序は **プレビュー** で確認することができます。

- 本文のテキストを添付したファイルの前後に移動するには、**オプション** > **テキストを前に移動**、または **テキストを後ろに移動** を選択します。
- プレゼンテーションを作成し、MMS に追加する場合には、**オプション** > **ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ作成** を選択します。
- プレゼンテーションは、画像、ビデオ、サウンド、テキストファイルを組み合わせ、MMS として送信することができます。
- **MMS 作成モード** が、**確認ﾒｯｾｰｼﾞ付き** または **制約なし** に設定されている必要があります。 (「MMS 設定」P.92)

7 オプション > 送信 を選択

開始キーを押して、送信することもできます。

MMS で、MP4 形式のビデオファイルを送信できない場合があります。送信可能なビデオファイル形式については、「ビデオ設定」(P.130) を参照してください。

音声メッセージを作成 / 送信する

1 メールの種類から、音声メッセージ を選択

2 宛先 を選択し、受信者を入力

- 電話帳から E-mail アドレスを呼び出して入力できます。

3 オプション > ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ挿入 > 新規ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ、または ギャラリーから を選択し、サウンドクリップを挿入

新規ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ を選択すると、すぐに音声の録音が始まります。**ギャラリーから** を選択すると、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されているサウンドクリップファイルを選択することができます。

4 オプション > 送信 を選択

開始キーを押して、送信することもできます。

E-mail を作成 / 送信する

1 メールの種類から、E-mail を選択

E-mail アカウントの設定がされていない場合は、設定を要求するメッセージが表示されます。
(「メールボックスに接続する」P.98)

2 宛先 を選択し、受信者を入力

- 宛先として **CC** や **BCC** を追加するには、**オプション** > **宛先フィールド** を選択します。

3 件名 を入力

4 メール本文を入力

5 ファイルを添付するには、オプション > 挿入 > 画像、サウンドクリップ、ビデオクリップ、ノート、その他、または 定型文 の順に選択

- E-mail に添付ファイルが追加されると、画面に 📎 が表示されます。

補足 : メールアプリケーションで対応している以外の種類のファイルを添付ファイルとして送信する場合は、そのファイルに対応するアプリケーションを開き、ファイルを選択し、**送信** > **E-mail** を選択します。(機能が対応している場合)

6 オプション > 送信 を選択

開始キーを押して、送信することもできます。

注意 : E-mail は、送信中に自動的に **未送信メール** に保存されます。送信が失敗した場合、ステータスが **順番待ち** の状態で **未送信メール** に保存されたままとなります。何度も送信に失敗した場合は、ステータスは **失敗** になります。

E-mail のサイズ制限については、サービスプロバイダにご確認ください。E-mail サーバのサイズ制限以上の大きいサイズの E-mail を送信した場合、その E-mail は未送信メールフォルダに保存され、本機は定期的に再送信を試みます。E-mail の送信にはデータ接続が必要となり、継続的に再送信をおこなうと通信料が高額となる場合があります。未送信メールフォルダのメールは削除したり、下書きフォルダに移動したりすることができます。

■ 送信時のその他の機能

1 メールを作成

(「SMS を作成 / 送信する」P.84、「MMS を作成 / 送信する」P.85)

2 オプション > 送信オプション を選択

配信レポート受信、**メッセージ有効期間** などを設定します。(「SMS 設定」P.91)、(「MMS 設定」P.92)

■ 下書きフォルダを利用する

下書きフォルダに保存する

1 メールを作成

(「SMS を作成 / 送信する」P.84、「MMS を作成 / 送信する」P.85、「E-mail を作成 / 送信する」P.86)

2 メール作成画面で、閉じる を選択

3 下書きに保存 を選択

作成途中のメールは **下書き**フォルダに保存されます。

下書きフォルダから送信する

1 下書き を選択

2 メールを選択し、◉ を押す

3 宛先を入力、または確認

4 オプション > 送信 を選択

メール受信

新着メールを確認する

メールを受信すると、待受画面に **新着メッセージがあります□件** のメッセージと、右上に ✉ が表示されます。

1 表示 を選択し、受信したメールを表示

- メールを複数受信した場合には、**受信メール** から メールを選択し ◉ を押します。

2 戻る を選択

受信メール が表示されます。

補足： メモリの上限まで受信すると、メモリ不足のメッセージが表示され、それ以降の新着メールは受信できません。不要なメールを削除し、再度受信の操作をおこなってください。（「メモリ不足を解消する」P.58）

アイコン

- 未読の SMS

- 未読の MMS

- Bluetooth 接続で受信したデータ

MMS の受信

1 受信した MMS を開く

- MMS にファイルが添付されている場合、ファイルの種類によって次のアイコンが表示されます。
  - - サウンドファイル
  - - ビデオファイル

  画像ファイルが添付されている場合、その画像が表示されます。サウンドファイルやビデオファイルを再生する場合は、アイコンを選択し、◉ を押します。
- MMS にプレゼンテーションが添付されている場合 が表示されるか、またはプレゼンテーションがメール本文に直接表示されます。プレゼンテーションを再生する場合は、アイコンを選択し、◉ を押します。

- MMS に添付リストが含まれている場合は、**オプション** > **添付リスト** を選択します。

重要：MMS のオブジェクトには、ウィルスが含まれている場合があります。ウィルスが含まれている場合、本機、または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

MMS 通知

MMS 設定で **MMS 受信** を **手動** に設定すると、MMS 通知を受信することができます。(「MMS 設定」P.92)

MMS が MMS センター (マルチメディアメッセージサービスセンター) に届くと、MMS 通知 (メールの一部) がお客様に送信されます。MMS 通知メールには が表示されます。

MMS センターに接続し、MMS センターにあるメールの状態を確認できます。

1 **> メール > 受信メール > オプション > MMS 通知リスト > はい の順に選択**

2 **オプション を選択**

次のオプションを設定することができます。

開く - MMS 通知を開きます。

受信 - 選択したメッセージの受信、またはサーバにある受信したすべてのメッセージを本機に受信します。

削除 - 通知とそれに該当するメッセージをサーバから削除します。

リスト更新 - 本機の MMS 通知リストが、サーバにあるマルチメディアメッセージの現在の状態に更新されます。

サーバ詳細 - 通知リストが最後に更新された日付と、サーバにあるマルチメディアメッセージのメモリ使用量が確認できます。

並べ替え - 通知を受信日、送信者、または件名などで並べ替えることができます。

表示されるオプションは変わることがあります。

メールの利用

> メール

■ フォルダ管理

送受信したメールを作成したフォルダに移動して管理することができます。

フォルダを作成する

1 **マイフォルダ > オプション > 新規フォルダ の順に選択**

2 **フォルダ名を入力し、OK を押す**

メールをフォルダに移動する

1 **フォルダからメールを選択し、■ を押す**
2 **オプション > フォルダへ移動 を選択**
3 **フォルダを選択し、■ を押す**

■ メールを返信する

1 **フォルダからメールを選択し、■ を押す**
2 **オプション > 返信 を選択**
3 **返信メールの本文を作成**
4 **オプション > 送信 を選択**

■ メールを転送する

1 **フォルダからメールを選択し、■ を押す**
2 **オプション > 転送 を選択**
3 **転送先を入力**
4 **転送メールの本文を作成**
5 **オプション > 送信 を選択**

■ 送信者に電話をかける

電話番号を使用して受信したメールの場合、受信したメールから送信者に電話をかけることができます。

1 **受信したメールを選択**
2 **オプション > 電話をかける を選択**

■ メールを削除する

1 **メールを選択し、オプション > 削除 を選択**

- C を押して削除することもできます。
- 複数のメールを一度に削除する場合は、# を押しながら ■ を押し、マークをつけてから削除します。
- フォルダ内のメールをすべて削除する場合は、**オプション** > **マーク / マーク解除** > **すべてをマーク** の順に選択してから削除します。
- **メールボックス** から E-mail を削除する場合は、「E-mail を削除する」(P.99) を参照してください。

■ メール内の電話番号 /E-mail アドレス / URL を利用する

メールに電話番号や E-mail アドレス、URL が含まれている場合、その画面から電話をかけたり、メールを送信したり、ウェブに接続することができます。利用できる電話番号、E-mail アドレス、URL はハイライト表示されます。

電話帳に登録する

1 **メールを選択し、■ を押す**
2 **登録したい項目を選択し、オプション > 電話帳へ登録 を選択**
3 **新規登録 または 既存電話帳へ追加 を選択**

新規電話帳登録画面、または電話帳リストが表示されます。(「電話帳の登録」P.45)

電話をかける

1 メールを選択し、■ を押す

2 電話番号を選択し、■ を押す

- 「電話をかける」P.61、「テレビ電話をかける」P.73

メールを送信する

1 メールを選択し、■ を押す

2 電話番号、またはアドレスを選択し、■ を押す

- **返信**、**転送**、または **新規メール作成** を選択することができます。

ウェブ接続をおこなう

1 メールを選択し、■ を押す

2 URL を選択し、■ を押す

- 「インターネットにアクセスする」P.101

■ 添付ファイルを保存する

1 メールを選択し、■ を押す

2 オプション > 添付リスト を選択

E-mail の場合は、**添付ファイル** を選択します。

3 オプション > 保存 を選択

保存するファイルの種類に応じて、適切なアプリケーションに保存されます。

- 壁紙に設定する場合は、**オプション** > **添付リスト** > 画像ファイルを開く > **オプション** > **画像使用** > **壁紙に設定** の順に選択します。

その他の機能

■ SMS 設定

> メール > オプション > 設定 > SMS

メッセージセンター - 設定されている SMS センター(ショートメッセージサービスセンター)のリストを表示します。

使用するﾒｯｾｰｼﾞｾﾝﾀｰ - SMS 配信に使用される SMS センターを選択します。

文字エンコード - 他の文字エンコードへ変換する場合に使用します。変換を行わない場合は **フルサポート**、可能なときに変換をおこなう場合は **部分サポート** を選択します。

配信レポート受信 (ネットワークサービス) - 配信レポートを受信する設定ができます。

メッセージ有効期間 (ネットワークサービス) - メール受信者が有効期間内にメールを受信できない場合、このメールは SMS センターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があり

ます。**最長有効期間** は、ネットワークで許可されているメールの最長期間です。

送信ﾒｯｾｰｼﾞのﾀｲﾌﾟ - このオプションは、メッセージセンターが SMS をその他の形式に変換できることが確実な場合にのみ変更してください。

優先する接続 - SMS 送信時に優先する接続を選択します。**WCDMA または GSM**、および **パケット接続** を利用して送信します。(「接続設定」P.225)

同一ｾﾝﾀｰ経由で返信 (ネットワークサービス) - 同一の SMS センター番号で返信メールを送信する場合は、**はい** を選択します。

MMS 設定

> **メール** > **オプション** > **設定** > **MMS**

添付画像サイズ - MMS で利用する静止画サイズを設定します。**オリジナル**、**小**、**大** から選択します。**オリジナル** (**MMS 作成モード** が **確認ﾒｯｾｰｼﾞ付き** または **制約なし** に設定の場合) を選択すると、MMS のサイズが大きくなります。

MMS 作成モード - **確認ﾒｯｾｰｼﾞ付き** を選択した場合、受信者側電話機でサポートしていないメッセージ形式の送信をすると、確認メッセージが表示されます。**制約あり** を選択すると、サポート対象外のメールが受信者へ送信されないようになります。

使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ - 使用するアクセスポイントを設定します。

MMS 受信 - MMS の受信方法を設定します。

- **常時自動** を選択すると、契約ネットワーク内外にかかわらず、常時、パケットデータ接続を使用して MMS を取得します。
- **契約ﾈｯﾄﾜｰｸで自動** を選択すると、契約ネットワーク内では、MMS を自動的に受信します。契約ネットワーク外の場合は、MMS センターに取得できる MMS が受信されていることを知らせる通知が、お客様へ送信されます。
- **手動** を選択すると、MMS が MMS センターに届いたことを、MMS 通知でお知らせします。
- 契約ネットワーク外から MMS の送受信をおこなう場合、通常より料金が加算されることがあります。

匿名ﾒｯｾｰｼﾞ受信許可 - 匿名の送信者からのメールを拒否する場合、**いいえ** を選択します。

広告受信 - MMS による広告を受信する設定ができます。

配信レポート受信 (ネットワークサービス) - 配信レポートを受信する設定ができます。

注意：一般に、E-mail アドレスに送信された MMS の配信レポートを受信することはできません。

配信ﾚﾎﾟｰﾄ送信拒否 - 受信済み MMS の配信レポートを送信しないように設定するには、**はい** を選択します。

メッセージ有効期間 (ネットワークサービス) - メール受信者が有効期間内にメールを受信できない場合、このメールは MMS センターから削除されます。この機能は、ネットワークでサポートされている必要があります。**最長有効期間** は、ネットワークで許可されているメールの最長期間です。

サービスメッセージ

日本国内ではご利用いただけません。

> メール > オプション > 設定 > サービスメッセージ

サービスメッセージの受信を設定することができます。自動的にブラウザを起動し、ネットワークに接続してサービスメッセージのコンテンツを受信する場合は、**ﾒｯｾｰｼﾞﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ** > **自動** を選択します。

USIM カードに保存されたメールを表示する

USIM カードに保存されているメッセージを表示するには、そのメッセージを本機内のフォルダにコピーする必要があります。

1. **> メール > オプション > SIM に保存されたﾒｰﾙ の順に選択**
2. **表示するメッセージ > オプション > マーク / マーク解除 > マーク または すべてをマーク の順に選択**
3. **オプション > コピー を選択**

   保存先が表示されます。
4. **保存先を選択し、OK を選択**
5. **保存先のフォルダを開き、表示するメッセージを選択**

情報メッセージ

日本国内ではご利用いただけません。

> メール > オプション > 設定 > 情報メッセージ

トピックとそのトピック番号についてサービスプロバイダに確認し、設定を変更します。

受信 - 情報メッセージ受信の設定をおこないます。

言語 - **すべて** では、すべてのサポート対象言語で情報メッセージを取得できます。**選択** では、情報メッセージを取得する言語を選択できます。希望する言語がない場合は、**その他** を選択します。

トピック検出 - 自動的に新しいトピック番号を検索し、名前のない新しい番号がトピックリストに保存されます。

その他の設定

> **メール** > **オプション** > **設定** > **その他**

送信済みﾒｯｾｰｼﾞ保存 - **はい** を選択すると、送信したメール (SMS、MMS、E-mail) のコピーを **送信済みﾒｰﾙ** フォルダに保存することができます。

保存メッセージ数 - **送信済みﾒｰﾙ** フォルダに保存できるメール数を設定します。デフォルトで設定されているメール保存数は、20 件です。保存メール数が最大数に達したら、古いメールから順に削除されます。

使用するメモリ - メモリカードが挿入されている場合、メールの保存先を **電話機メモリ** または **メモリカード** から選択することができます。

メールで受信できるデータ

本機では、Bluetooth、MMS、SMS などでさまざまなデータやメッセージを受信できます。

ビジネスカードを保存する

1 受信したビジネスカードを開く > オプション > ビジネスカード保存 を選択

ビジネスカードに添付された証明書、またはサウンドファイルは保存されません。

補足 : 画像ファイルが添付されたビジネスカードを受信した場合、画像は電話帳に保存されます。

カレンダーエントリを保存する

1 受信したカレンダーエントリーを開く > オプション > カレンダーに保存 を選択

ブックマークを保存する

1 受信したメッセージを開く > オプション > ブックマークへ追加 を選択

メッセージにアクセスポイント設定とブックマークの両方が保存されている場合、データを保存するには、**オプション** > **すべて保存** を選択します。

リモートメールボックスを利用したE-mail 送受信

- **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** が設定されていない状態で、**メール** から **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** を選択すると、メールボックス設定を要求するメッセージが表示されます。
  はい を選択すると、メールボックスウィザードが起動するので、**開始** を選択して設定をおこないます。ウィザードで設定できない項目については別途設定が必要です。「E-mail クライアント設定」(P.95) を参照してください。
- 新しいメールボックスを作成すると、**メール** のフォルダリストの **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** が、作成したメールボックスの名前で上書きされます。最大 6 つのメールボックスを作成できます。

■ E-mail クライアントについてのご注意

本機には E-mail クライアント機能が搭載されています。本機能をお使いいただくにあたっては次の点にご注意ください。

E-mail クライアントとは？
E-mail クライアントとは、インターネットサービスプロバイダ等でご契約されているメールボックスを利用できる機能です。あらかじめ、インターネットサービスプロバイダ等でのメールボックス契約が必要です。ご契約の携帯電話事業者が提供するメールサービス機能とは異なりますのでご注意ください。

１. E-mail アドレスについて

E-mail クライアントで送信する場合、お客様がサービスプロバイダから取得したメールアドレスが From アドレスとして送信されます。(「送信 E-mail サーバ の設定」P.96)

メールで **新規ﾒｰﾙ作成** を選択すると、SMS、MMS、E-mail のメニューが表示されますが、E-mail を選択するとE-mail クライアントが起動しますのでご注意ください。

２. E-mail クライアントの通信料について

通信料については、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。また、「E-mail クライアント」をご利用いただくには、インターネットサービスプロバイダ等でメールボックスのご契約が必要です。

３. お問い合わせ

携帯電話における E-mail クライアントの設定、利用に関するお問い合わせは、ハローノキア (TEL: 0570-0-66542、メール：http://www.nokia.co.jp/asknokia) までお問い合わせください。

■ E-mail クライアント設定

E-mail のリモートメールボックスの設定をするには、サービスプロバイダの指示に従ってください。詳細については後述の「メールボックスを設定する」を参照してください。赤色のアスタリスクが表示されている項目はすべて入力が必要です。

メールボックスを設定する

1 **> メール > オプション > 設定 > E-mail > メールボックス の順に選択**

- すでにメールボックスを設定している場合は、**使用するﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽ** で E-mail の送受信に使用するメールボックスを選択します。
- 別のメールボックスを追加する場合は、**メールボックス** > **オプション** > **新規メールボックス** を選択します。
- メールボックスを削除する場合は、削除するメールボックスを選択し、**オプション** > **削除** の順に選択します。

2 **メールボックス をはじめて設定するときは、メールボックス設定を要求するメッセージが表示 > はい を選択**

3 **メールボックスウィザードが起動 > 開始 を選択**

メールボックスウィザードで設定できない項目は、別途設定が必要です。メールボックスには、次の設定が必要です。

- **接続設定**
- **ユーザ設定**
- **受信設定**
- **自動受信**

接続設定

受信 E-mail サーバ の設定

- **ユーザ名** - サービスプロバイダから取得したユーザ名を入力します。
- **パスワード** - パスワードを入力します。この項目を空白にしておくと、リモートメールボックスへの接続がおこなわれるたびにパスワードの入力を要求されます。
- **受信メールサーバ** - 受信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - 利用可能なアクセスポイントを選択します。
- **メールボックス名** - 任意のメールボックス名を入力します。
- **ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾀｲﾌﾟ** - リモートメールボックスのサービスプロバイダが推奨するメールボックスタイプを **POP3** または **IMAP4** から選択します。これはメールボックスの新規作成時のみ設定できます。いったん、設定を保存または終了すると、再度変更することはできません。**POP3** を選択した場合、接続中に E-mail が自動更新されることはありません。 新着 E-mail を受信する場合は、いったん、接続を切断してから、リモートメールボックスに再接続する必要があります。
- **ｾｷｭﾘﾃｨ (ﾎﾟｰﾄ)** - リモートメールボックスへの接続を保護することができます。
- **ポート** - ポートを設定します。
- **APOP 安全ログイン** (POP3 の場合) - リモートメールボックスへの接続時にサーバへ送信するパスワードを暗号化します。

送信 E-mail サーバ の設定

- **自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ** - サービスプロバイダから取得した E-mail アドレスを入力します。相手からの返信メールは、このアドレスに送信されます。
- **送信メールサーバ** - 送信メールサーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **使用するｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - 利用可能なアクセスポイントを選択します。

- **ユーザ名**、**パスワード**、**ｾｷｭﾘﾃｨ (ﾎﾟｰﾄ)**、**ポート** の設定は、「受信 E-mail サーバ の設定」(P.96) を参照してください。

ユーザ設定

自分の名前 - お客様の名前を入力します。設定しておくと、入力した名前が E-mail アドレスの代わりに、E-mail 受信者の電話機に表示されます。E-mail 受信者の電話機がこの機能をサポートしている必要があります。

メッセージ送信 - E-mail の送信方法を設定します。**直ちに送信** を選択すると、**送信** を選択した場合、E-mail は直ちに送信されます。**次回接続時** を選択すると、E-mail は次回リモートメールボックスへ接続された場合に送信されます。

自分にコピー送信 - **はい** を選択すると、リモートメールボックスと**自分の E-mail ｱﾄﾞﾚｽ** で指定されたアドレスに、E-mail のコピーを保存します。

署名添付 - E-mail に署名を設定することができます。

新着 E-mail の通知 - 新着 E-mail 受信時に、本機にメッセージやアイコンを表示し、通知音を鳴らします。

受信設定

受信する E-mail - E-mail の受信方法を設定します。**ヘッダーのみ**、**サイズ制限**、**ﾒｯｾｰｼﾞと添付ﾌｧｲﾙ** のいずれかを選択します (POP3 の場合)。IMAP4 の場合は、**ヘッダーのみ** だけ選択できます。

受信件数 - 受信する E-mail 数を設定します。

IMAP4 フォルダパス (IMAP4 の場合) - フォルダパスを設定します。

フォルダ登録 (IMAP4 の場合) - リモートメールボックス内の他のフォルダを登録し、コンテンツを受信できるよう設定します。

自動受信

E-mail 通知 - 新着 E-mail があった場合に、本機に通知が送信されます。サービスプロバイダがサポートしている場合に限ります。

E-mail 受信 - 新着 E-mail のヘッダーを自動的に受信します。E-mail を受信するタイミングと頻度を設定します。

- **E-mail 受信** を **無効** 以外に設定した場合、メールボックス名の右側に が表示され、メッセージが自動的に取得されます。

E-mail 通知 と **E-mail 受信** を同時に有効にすることはできません。

自動受信を有効にすると、通信費が高くなる場合があります。

メールボックスに接続する

すでに取得している E-mail とヘッダーをオフラインで表示するか、または E-mail サーバに接続するかを選択できます。

1 メールボックスを選択し、◉ を押す

メッセージが表示されます。

2 はい を選択

- リモートメールボックスに接続し、新着 E-mail のヘッダーと本文を取得します。メールをオンラインで表示する場合、データ接続により、リモートメールボックスに継続的に接続されます。
- メールボックスに接続中は、フォルダリストのメールボックス名に ⚡ が表示されます。
- **E-mail 受信** を **無効** 以外に設定した場合、フォルダリストのメールボックス名に ⚡ が表示されます。(「自動受信」P.97)
- 設定によっては、通信費が高くなる場合があります。
- 手順2で **いいえ** を選択した場合は、すでに取得した E-mail をオフラインで表示します。E-mail をオフラインで表示する場合、本機はリモートメールボックスに接続されません。

E-mail を取得する

重要：E-mail には、ウィルスが含まれていることがあります。ウィルスが含まれている場合、本機または他の PC で障害が発生する可能性があります。信頼のおける送信者かどうかわからない場合、添付ファイルを開かないでください。

アイコン

- - 新着 E-mail(オンライン / オフライン)
- - 取得済み新着 E-mail
- - 取得されていない既読 E-mail
- - 既読 E-mail
- - メッセージ本文が本機から削除済みの E-mail
- - 添付ファイルのある E-mail
- - 新着 E-mail。E-mail クライアントに新着メールがある場合、画面右上に表示されます。

1 メールボックスを開く > オプション > E-mail 受信 を選択

- **新着** - すべての新着 E-mail を取得します。
- **選択したメッセージ** - マークした E-mail のみ取得します。
- **すべて** - メールボックスからすべての E-mail を取得します。

取得を停止する場合は、**キャンセル** を選択します。

2 オプション > 切断 を選択

E-mail 取得後、オフラインで表示します。オンラインにしたまま表示することもできます。

3 E-mail を選択し、◉ を押す

- 未取得の E-mail をオフラインで選択した場合、E-mail を取得するかどうかメッセージが表示されます。
- E-mail に添付されたファイルを表示する場合は、**オプション** > **添付ファイル** を選択します。添付ファイルのアイコンがグレー表示で、添付ファイルがまだ取得されていない場合は、**オプション** > **受信** を選択します。

E-mail を削除する

E-mail を削除するには、本機から削除する方法と、本機とサーバから削除する方法があります。

本機から削除する

1 メールボックスを開く > オプション > 削除 > 電話機のみ の順に選択

- 本機内の E-mail のヘッダーは、リモートメールボックス内と同じ状態を保つようになっています。メッセージ本文を削除しても、ヘッダーは本機に残ります。
- ヘッダーも削除する場合は、まずリモートメールボックスから E-mail を削除し、次に本機からリモートメールボックスに再度接続して、ステータスを更新する必要があります。

本機とサーバから削除する

1 メールボックスを開く > オプション > 削除 > 電話機とサーバ の順に選択

- オフラインの場合、E-mail はまず本機から削除されます。リモートメールボックス内の E-mail は、次回、リモートメールボックスへ接続したときに自動的に削除されます。
- POP3 プロトコルを使用している場合、削除マーク の付いた E-mail は、リモートメールボックスへの接続を終了したあとに削除されます。

E-mail の削除を中止する

1 「 」の E-mail を選択

次回接続時に削除される E-mail に表示されるアイコンです。

2 オプション > 削除取消し を選択

メールボックスとの接続を終了する

1 オプション > 切断 を選択

オンラインの場合、リモートメールボックスへのデータ接続を終了します。

インターネット

インターネットについて

インターネットを使用することにより、PC 用のサイトを快適に見ることができ、より多くの情報を入手することが可能になります。高速画面スクロールに加え、ナビゲーションキーを長く押すとページ全体を縮小表示した半透明のマップが現れるため（ミニマップ機能）、情報量の多いPC サイトでも自分がどこを見ているのかが一目で分かります。

インターネット（ネットワークサービス）を利用して、HTML (Hypertext Markup Language) で作成された PC 用のウェブページを見ることができます。また XHTML (Extensible Hypertext Markup Language)、または WML (Wireless Markup Language) で作成された携帯電話用のウェブページも見ることができます。

インターネットにアクセスする

メニューからアクセスする

1 [メニューキー] > **インターネット** を選択

ホームページ に設定されているサイトまたは**ブックマーク** が開きます。(「ホームページ」P.107)

- [＊] または [＃] を押して、表示しているウェブページのズームイン / ズームアウトをすることができます。

2 **ブラウザを閉じるには、オプション > 終了 を選択**

URL を入力してアクセスする

1 [メニューキー] > **インターネット** を選択

2 **オプション > URL を開く を選択**

- ブックマーク画面で URL を入力してアクセスするには、**オプション** > **ナビゲーション** > **URL を開く** の順に選択します。

3 **アドレスフィールドに URL を入力し、開く を選択**

4 **ブラウザを閉じるには、オプション > 終了 を選択**

情報画面での操作のしかた

 > **インターネット** > **ウェブページを表示**

重要 : 悪質なソフトウェアに対し適切なセキュリティ対策が提供されている、信頼できるサービスのみ使用するようにしてください。

基本操作

ブラウズ中に前のページに移動する

1 **戻る を選択**

- **オプション** > **設定** > **一般** > **履歴リスト** を **オン** に設定している場合、**オプション** > **ナビゲーション** > **履歴** の順に選択し、ブラウズ中にアクセスしたページのリストを表示して、選択することもできます。
- 履歴リストは、インターネットを終了するたびにクリアされます。

ブラウザを閉じる

1 **オプション > 終了 を選択**

オフラインでページをみる

1 **オプション > ツール > 切断 の順に選択**

操作コマンドのサブリストを開く

現在開いているウェブページで利用できる操作コマンドのサブリストを開くには、**オプション** > **サービスオプション** を選択します。ウェブページが対応している場合のみ、**サービスオプション** が表示されます。

ショートカット

- C - ウィンドウを閉じます。2つ以上のウィンドウが開いている場合は、現在開いているウィンドウを閉じます。
- 1 - ブックマークを開きます。
- 2 - 現在開いているページ内のテキストを検索します。
- 3 - 前ページに戻ります。
- 5 - 2つ以上のウィンドウが開いている場合に、ウィンドウのリストを表示します。
- 8 - ページ全体を表示します。ページ上を移動して見たい情報にズームインするには、もう1度 8 を押します。
- 9 - URL を入力して他のウェブページに移動します。
- 0 - **ホームページ** に設定してある画面に戻ります。**戻る** を選択してページを選択することもできます。
- ズームイン / ズームアウト - ページのズームイン、ズームアウトは * 、または # を押します。

補足： インターネットにアクセスしたまま、待受画面に戻るには、 を 2 回押します。終了キーを押しても待受画面に戻ることができます。**インターネット** に戻るには、 を長く押して、アプリケーションのリストから **インターネット** を選択します。

ポップアップを許可する

ポップアップウィンドウが自動的に開くように設定することができます。

1 オプション > 設定 > ページ > ポップアップブロック > いいえ の順に選択

- **オプション** > **ウィンドウ** > **ポップアップ許可** を選択しても設定することができます。

ズーム

表示しているウェブページのズームイン、ズームアウトができます。

1 オプション > ズーム > 50%、75%、100%、または 125% の順に選択

- [*] または [#] を押して、ズームイン / ズームアウトすることもできます。

ページ概要

ページ概要 を利用して、情報量の多いウェブページ上をブラウズ中に、そのページにどのような情報が含まれているかを見ることができます。

1 オプション > ナビゲーション > ページ概要 の順に選択

ページ全体が縮小表示されます。

- ブラウズ中に [8] を押して、ページ概要を見ることもできます。
- ページ概要上を移動するにはナビゲーションキー 、 、 、 を使用します。表示したい情報にズームインするには、[8] を押します。

画面表示を切り替える

画面表示をランドスケープモード (横長表示)、またはポートレートモード (縦長表示) に切り替えます。

1 オプション > 画面切り替え を選択

情報表示中の各種設定

文字の表示サイズを設定する

1 オプション > 設定 > ページ > フォントサイズ の順に選択

2 設定するフォントサイズを選択

文字タイプを変更する

画面の文字が正しく表示されないときに、エンコードを変更して再表示することができます。

1 オプション > 設定 > ページ > デフォルトエンコード の順に選択

2 リストから設定するエンコードを選択

- ウェブページで選択したエンコードを有効にするには、**オプション** > **ナビゲーション** > **再読み込み** を選択する必要があります。

最新の情報に更新 / 再取得する

1 オプション > ナビゲーション > 再読み込み の順に選択

接続の詳細を表示する

現在のセッションの詳細を表示します。

1 オプション > ブックマーク を選択

ブックマーク画面が表示されます。

2 オプション > 詳細 を選択

3 表示する詳細情報を選択し、■ を押す

- **セッション** - セッションの詳細を表示します。
- **セキュリティ** - 接続のセキュリティを表示します。

URL を表示する

表示しているウェブページの URL を表示します。

1 オプション > ツール > ページ情報 を選択

ページの履歴を表示する

現在のセッションでアクセスしたページの履歴を見ることができます。

1 オプション > ナビゲーション > 履歴 の順に選択

ページの履歴を削除する

現在のセッションでアクセスしたページの履歴と自動ブックマークを削除することができます。

1 オプション > ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾃﾞｰﾀ削除 > 履歴 の順に選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

2 はい を選択

完了メッセージが表示されます。

■ 履歴リストの設定

前ページに戻ったときに自動的に履歴リストが表示されるように設定します。

1 オプション > 設定 > 一般 > 履歴リスト > オン の順に選択

■ 検索

表示したページ内のテキストや電話番号、E-mail アドレスを検索することができます。

1 **オプション** > **検索** > **文字**、**電話番号**、**または E-mail アドレス の順に選択**
- **文字** を選択した場合、検索するテキストを入力します。
- 次の検索結果に移動するには、 を押します。前の検索結果に戻るには を押します。
- 現在開いているページ内のテキストを検索するには 2 を押します。

URL を送信する

ブラウズ中のページの URL を送信することができます。

1 **オプション** > **ツール** > **送信 を選択**

接続を変更する

使用するアクセスポイントを変更することができます。

1 **オプション** > **ツール** > **接続変更 を選択**
- パケットデータアクセスポイント間で接続を変更するには、**オプション** > **設定** > **一般** > **アクセスポイント** > **常に確認** に設定してから、ブラウザをいったん終了して再度起動しなおすか、接続を切断して再度接続します。

ブラウザツールバー

ツールバーを使用して、ブラウザでよく使用する機能を選択することができます。

1 **オプション** > **ツール** > **ツールバー表示 を選択**
- ウェブページ上の何も表示されていない場所で を長く押しても、ツールバーを表示させることができます。
- ツールバー上を移動するには、 、または を押します。機能を選択するには、 を押します。

次のオプションが選択できます。

- **よく使用するリンク** - よく利用するウェブページの URL リストを表示します。
- **ページ概要** - ページ全体を表示します。
- **再読み込み** - ページを再読み込みします。
- **検索** - 現在開いているページ内のテキストを検索します。
- **Web フィードに登録** (利用可能な場合に表示) - 現在開いているページで利用可能な Web フィードのリストを表示し、Web フィードへの登録をおこないます。

ミニマップ

情報量の多いウェブページ上で情報を検索したり、参照したりするのに **ミニマップ** を利用することができます。**ミニマップ** を使って見たいページに移動することができます。

ウェブページ上をスクロールすると、ブラウズ中のウェブページ全体が自動的にズームアウトされて縮小表示されます。

縮小したページ上を移動するにはナビゲーションキー 、 、 、 を使用します。表示したい情報が見つかったら、スクロールを終了します。

ミニマップ の設定を切り替えるには、**オプション** > **設定** > **一般** > **ミニマップ** > **オン** または、**オフ** の順に選択します。

情報の利用

> インターネット > ウェブページを表示

■ ブックマーク

よく利用するウェブページの URL をブックマークに登録しておくと、簡単な操作でアクセスできます。

アイコン

 - ホームページ（デフォルトアクセスポイント名が表示されます）

ウェブページを表示中にブックマーク画面を開く

1 オプション > ブックマーク を選択

- 1 を押してもブックマーク画面を開くことができます。
- **自動ブックマーク** フォルダには、ブラウズしたウェブページの履歴が保存されます。
- **保存ページ** フォルダに保存されたウェブページを、オフラインで見ることができます。(「ページ保存」P.108)
- **Web フィード** フォルダには、登録した Web フィードやブログへのリンクが保存されます。Web フィードは通常、主要な報道機関のウェブページや個人のウェブログ、最新ニュースのヘッドラインや記事の要約を提供するオンラインコミュニティなどで見ることができます。Web フィードは RSS や ATOM 技術を使用しています。

ウェブページからブックマークを保存する

1 ウェブページを表示

2 オプション > ブックマークとして保存 を選択

- ウェブページからブックマーク画面へ移動する場合は、1 を押します。ウェブページへ戻る場合は、**オプション** > **ブラウザに戻る** を選択します。

3 ブックマーク名を入力し、OK を選択

ブックマーク画面からブックマークを保存する

1 ブックマーク画面を表示

2 オプション > ブックマーク管理 > ブックマーク追加 の順に選択

3 各項目を入力

URL は、必須項目です。[*] を押して、/ . : および @ などの特殊文字を入力します。文字を削除するには、C を押します。

4 オプション > 保存 を選択

ブックマークから接続する

1 ブックマークを選択し、◉ を押す

- サーバに接続する必要がある場合は、接続します。

ブックマークを送信する

1 送信するブックマークを選択

2 オプション > ツール > 送信 > 送信方法を選択

ブックマークを削除する

1 削除するブックマークを選択

2 オプション > ブックマーク管理 > 削除 の順に選択

登録内容を編集する

1 編集するブックマークを選択

2 オプション > ブックマーク管理 > 編集 の順に選択

名前、**アドレス**、**アクセスポイント**、**ユーザ名**、**パスワード** を変更することができます。

ホームページ

ホームページを設定します。

1 オプション > 設定 > 一般 > ホームページ の順に選択

2 デフォルト、ユーザ定義、現在のページ、ブックマーク から選択

アイテムをダウンロードして購入する

着信音、静止画、テーマ、ビデオクリップなどのアイテムをダウンロードできます。これらのアイテムには、無料と有料のものがあります。ダウンロードした各種アイテムは、本機のそれぞれ対応するアプリケーションに保存されます。例えば、写真や .mp3 ファイルをダウンロードすると、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されます。

重要：信頼できる提供元からのアプリケーションおよびソフトウェア（例：Symbian Signed の認証を受けている、あるいは Java Verified テストをパスしたアプリケーションなど）のみをインストールし、使用してください。

1 リンクを選択し、◉ を押す

2「購入」などの該当するオプションを選択

3 表示事項を注意深く読む

- ダウンロードをキャンセルする場合は、**キャンセル** を選択します。
- ダウンロードが始まると、現在のセッションでダウンロード中のアイテムと、ダウンロードが完了したアイテムのリストが表示されます。**オプション** > **ダウンロード** を選択してリストを見ることもできます。リストからは、ダウンロードをキャンセルしたり、ダウンロードが完了したアイテムを保存、削除、開くことができます。

画像ファイルの利用

ギャラリーに保存する

1 ウェブページを表示

2 オプション > ツール > 画像表示 の順に選択

ウェブページ上にある画像のサムネイル画像が表示されます。

3 画像を選択し、OK を選択

選択した画面が表示されます。

4 オプション > 保存 を選択

- メモリカードが挿入されている場合、保存先を選択するメッセージが表示されます。
- 画像は **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されます。

壁紙に登録する

1 ウェブページを表示

2 オプション > ツール > 画像表示 の順に選択

ウェブページ上にある画像のサムネイル画像が表示されます。

3 OK を選択

選択した画像が表示されます。

4 オプション > 画像使用 > 壁紙に設定 の順に選択

サウンドファイルの利用

サウンドを再生する

詳細については、「音楽ファイル / ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄｴﾋﾟｿｰﾄﾞを再生する」(P.153) を参照してください。

ギャラリーに保存する

1 ウェブページを表示

2 ウェブページに表示されるダウンロードの手順に従って操作

サウンドファイルは、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されます。

ページ保存

よく利用するウェブページを保存しておくと、あとでインターネットに接続しなくてもオフラインで見ることができます。

1 保存するウェブページを表示

2 オプション > ツール > ページ保存 の順に選択

3 ページ名を入力または確認し、OK を選択

・ ブックマークを開き、**保存ページ** フォルダを選択すると、オフラインで保存したページを見ることができます。

その他の機能

> **インターネット**

■ 画像や音声の取得設定

ウェブページに含まれる画像や音声を表示せずに文字情報のみを取得するように設定し、ページ情報の受信完了までの時間を短縮することができます。

1 **オプション** > **設定** > **ページ** > **コンテンツ表示** の順に選択

2 **テキストのみ**、**画像 (Flash 以外)**、**すべて** から選択

■ Web フィードとブログ

重要 : 悪質なソフトウェアに対し適切なセキュリティ対策が提供されている、信頼できるサービスのみ使用するようにしてください。

Web フィード はウェブページ上の xml ファイルで、例えばブログのコミュニティや報道機関で、最近のニュースなど、最新のエントリの見出しや全文を共有するのに広く使用されています。ブログやウェブログはウェブ上にある日記です。Web フィードの多くは RSS や ATOM 技術を使用しています。ウェブ、ブログや Wiki ページでは Web フィードがよく見られます。

ウェブページ上に Web フィードが含まれている場合、**インターネット** は自動的に検出します。ウェブページで Web フィードに申し込むには **オプション** > **登録** を選択するか、リンクを選択します。ブックマーク画面で申し込んだ Web フィードを表示するには、**Web フィード** を選択します。

Web フィードを更新するには、 **オプション** > **更新** を選択します。

Webフィードの更新については、**オプション** > **設定** > **Web フィード** で設定することができます。
(「Web フィード設定」P.111)

■ ウィジェット

本機の **インターネット** はウィジェット（ネットワークサービス）をサポートしています。ウィジェットはダウンロード可能な小型のウェブアプリケーションで、マルチメディアやニュースフィード、天気予報などの情報を本機に提供します。インストールされたウィジェットは **アプリ** フォルダ内に、個別のアプリケーションとして表示されます。ウィジェットは **ダウンロード** や **インターネット** からダウンロードすることができます。

ウィジェットのデフォルトアクセスポイントは **インターネット** と同じアクセスポイントが設定されています。バックグラウンドでウィジェットを開いている場合、自動的に情報をアップデートする場合があります。

■ インターネット設定

オプション > **設定**

次の設定をおこないます。

- **一般**
- **ページ**
- **プライバシー**
- **Web フィード**

一般設定

アクセスポイント - デフォルトアクセスポイントを設定します。「接続設定」(P.225) を参照してください。

ホームページ - 「ホームページ」(P.107)

ミニマップ - 「ミニマップ」(P.105)

履歴リスト - 「履歴リストの設定」(P.104)

セキュリティ警告 - 「警告画面を表示する」(P.111)

Java/ECMA スクリプト - スクリプトの使用を設定します。

ページ設定

コンテンツ表示 - 「画像や音声の取得設定」(P.109)

画面サイズ - ブラウズ中に表示される画面のサイズを **標準画面表示** または **全画面表示** から設定します。

デフォルトエンコード - 「文字タイプを変更する」(P.104)

ポップアップブロック - 「ポップアップを許可する」(P.103)

自動再読み込み - ウェブページを表示中に、自動的にページの更新をおこなうには **オン** を選択します。

フォントサイズ - 「文字の表示サイズを設定する」(P.103)

プライバシー設定

自動ﾌﾞｯｸﾏｰｸ保存 - 自動的にブックマークを蓄積しない場合は **オフ** を選択します。自動的にブックマークを蓄積し、ブックマーク表示にはフォルダを表示しない場合は、**フォルダ表示なし** を選択します。

フォームデータ保存 - ウェブページ上で入力したデータを保存して、次回そのページを開いた時に保存したデータを使用することができます。

クッキー - クッキーの送受信を設定します。

シリアル番号送信 - インターネットサービスから要求されたときに、ユーザ識別情報として本機のシリアル番号を送信するには、**オン** を選択します。

Web フィードの設定

自動更新 - Web フィードを自動的に更新するかどうかを設定します。自動更新する場合は更新する頻度を設定します。自動更新するように設定した場合、サービスプロバイダのネットワークを介して大量のデータ送信がおこなわれますのでご注意ください。

自動更新用ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ -（**自動更新** を設定した場合のみ表示されます）更新に使用するアクセスポイントを選択します。

キャッシュをクリアする

アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されます。

キャッシュとは、データを一時的に保存するために使用する場所です。パスワードを必要とする機密情報にアクセスを試みたり、実際にアクセスしたりした場合は、そのたびにキャッシュをクリアしてください。アクセスした情報やサービスは、本機のキャッシュメモリに保存されています。

1 **オプション > ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾃﾞｰﾀ削除 > キャッシュをクリア の順に選択**
　完了メッセージが表示されます。

クッキーを削除する

1 **オプション > ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾃﾞｰﾀ削除 > クッキー削除 の順に選択**
　完了メッセージが表示されます。

■ セキュリティの設定

警告画面を表示する

1 **オプション > 設定 > 一般 > セキュリティ警告 の順に選択**
2 **セキュリティ警告を表示する場合は 表示 を選択、表示しない場合は 非表示 を選択**

ユーザ ID を通知する

「プライバシー設定 - シリアル番号送信」（P.110）を参照してください。

SSL/TLS 証明書を確認する

接続中にセキュリティマーク 🔒 が表示されると、本機とインターネットゲートウェイまたはサーバ間のデータ送受信は暗号化されます。

セキュリティアイコンは、ゲートウェイとコンテンツサーバ（要求されたリソースが保存される場所）間のデータの送受信が安全であることを示すものではありません。ゲートウェイとコンテンツサーバ間のデータ送受信を保証するのは、サービスプロバイダです。

セキュリティ機能は、銀行業務などの一部のサービスで必須です。このような接続にはセキュリティ証明書が必要です。サーバ ID が認証されない場合や、

本機に正しいセキュリティ証明書がない場合はメッセージが表示されます。詳細についてはサービスプロバイダにお問い合わせください。(「証明書管理」P.196)

ダウンロード

> **ダウンロード**

■ はじめに

ダウンロード では、本機と互換性のあるコンテンツ、サービス、アプリケーションの購入、ダウンロード、更新などがおこなえます。ゲーム、着信音、壁紙、アプリケーション、その他のコンテンツに簡単にアクセスできます。サービスプロバイダから提供されたカタログやフォルダの中に、アイテムが分類されています。ダウンロードで提供されるコンテンツは更新されます。

ダウンロード は、お客様が契約されているネットワークサービスを使用して最新のコンテンツにアクセスします。ダウンロードサーバの内容は定期的に更新されます。ダウンロードには、英語のアイテムがあらかじめ含まれています。**ダウンロード** から利用可能な情報や追加のアイテムについては、各アイテムのサービスプロバイダやサプライヤー、またはメーカーにお問い合わせください。

カタログリストを更新する

1 オプション > リスト更新 を選択

サービスプロバイダのサーバに接続し、最新のコンテンツが提供されます。

■ 検索する

1 オプション > 検索 を選択

検索画面が表示されます。

2 カタログを選択し、キーワードを入力し、オプション > 検索 を選択

サーバに接続し、選択したカタログ内で検索します。

- 検索結果の詳細は、**オプション** > **詳細表示** を選択します。

■ アイテムを購入する

ダウンロード のメインビュー、フォルダ、カタログで検索したアイテムを購入することができます。

アイテムを購入する前に、認証情報を入力する必要がある場合があります。必要な情報は、サービスプロバイダによって異なる場合があります。

1 オプション > 購入 を選択

画面の指示に従って購入をおこないます。

- 利用できるオプションはカタログサービスプロバイダによって異なります。

- クレジットカード番号など、支払い情報の詳細を送信する前に、オンラインサービス接続が安全であることを確認してください。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください
- 無料のアイテムをダウンロードする場合は、**オプション** > **取得** を選択します。

アイテムを管理する

購入履歴を確認する

1 **オプション > 自分の項目 > 購入履歴 を選択**

購入または取得したアイテムのリストが表示されます。

- ダウンロード中のアイテムも表示することができます。
- ダウンロードを一旦キャンセルしたアイテムも表示されます。

サブスクリプションを確認する

1 **オプション > 自分の項目 > サブスクリプション を選択**

購入したサブスクリプションアイテムをみることができます。

すべてのカタログを削除する

1 **オプション > アプリケーション > コンテンツの削除 を選択**

ダウンロードの設定

1 **オプション > 設定 を選択**

2 **設定を変更 > 戻る を選択**

変更できる設定は次の通りです。

アクセスポイント - サーバ接続時に使用するアクセスポイントを定義する場合は、**ユーザ定義** から利用可能なアクセスポイントを選択します。接続時毎にアクセスポイントを確認する場合は、**常に確認** を選択します。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ後に開く - ダウンロード後、コンテンツやアプリケーションを自動的に起動するには、**はい** を選択します。

プレビュー確認 - コンテンツやアプリケーションのプレビュー版を自動的にダウンロードするには、**いいえ** を選択します。プレビュー版をダウンロードする前に確認メッセージを表示させるには、**はい** を選択します。

購入確認 - コンテンツやアプリケーションを購入する前に確認メッセージを表示させるには、**はい** を選択します。**購入** を選択後すぐに購入の手順を開始する場合は、**いいえ** を選択します。

ｻﾌﾞｽｸﾘﾌﾟｼｮﾝ確認 - サブスクリプションの確認表示について設定します。

カメラ

カメラをご利用になる前に

本機には、２種類のカメラが搭載されています。背面にあるメインカメラは高解像度カメラ（最大解像度 : ５メガピクセル）です。前面にある第２カメラは低解像度カメラです。カメラでは、静止画とビデオの撮影が可能です。

- メインカメラ - ランドスケープモード (横長表示)
  本機背面のカメラレンズカバーを開き、メインカメラを起動します。
- 第２カメラ - ポートレートモード（縦長表示）
  本機背面のカメラレンズカバーを閉じた状態で、 > **アプリ** > **カメラ** を選択し、第 2 カメラを起動します。

本機の背面にあるメインカメラの解像度は最大 2592x1944 ピクセルです。ただし、本書にある画像の解像度は、撮影状況により異なる場合があります。

カメラで撮影した静止画やビデオは、自動的に **ｷﾞｬﾗﾘｰ** の **画像とビデオ** フォルダに保存されます。(「ギャラリー」P.133)

補足 : カメラ起動中に **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存した静止画やビデオを確認するには、本機側面のレビューキー を押します。

静止画は .jpeg ファイル形式、ビデオクリップは MPEG-4 ファイル形式 (拡張子 .mp4) や、3GPP ファイル形式 (拡張子 .3gp)(共有モード用) に変換されます。(「ビデオ設定」P.130)

撮影した静止画やビデオを MMS や E-mail に添付したり、Bluetooth 接続や無線 LAN 通信を利用して送信したり、互換性のあるオンラインアルバムにアップロードすることもできます。「オンラインでファイルを共有する」(P.142)

撮影した静止画を電話帳に登録することができます。(「画像を電話帳へ登録する」P.135)

■ カメラ利用時のご注意

- フラッシュをオフに設定していない場合、キセノンフラッシュの充電が完了するまでは静止画の撮影はできません。フラッシュの充電中は が点滅します。通常、フラッシュの充電は数秒で完了します。

- 新たに静止画を撮影するために本機メモリを解放するには、例えば USB ケーブルを使って互換性のある PC にファイルを転送し、本機からファイルを削除します。メモリの残量がなくなると、使用するメモリを変更するかどうかのメッセージが表示されます。
- 本機を両手で持ち、機体がぶれないようにして撮影してください。
- 撮影環境に適したシーンモードを選んで、撮影してください。(「シーンモード」P.126)
- 撮影後、静止画が保存されるまで本機を動かさないでください。
- 画像を拡大すると、元の画像よりも画質が落ちます。
- 本機ではどのキーも押さずに 約 1 分経過すると、省電力モードに入ります。撮影を続行するには、 を押します。

ディスプレイ表示について

ビューファインダーのアイコンを非表示にする

ビューファインダーのアイコンを非表示にすることができます。

1 オプション > アイコン非表示 の順に選択

画面左上のアイコンと電池の残量を示すインジケータのみが表示されます。

静止画アイコン

画面に静止画を表示すると、各所に次のアイコンが表示されます。

- ①は静止画モードであることを示しています。
- 静止画を撮影する前に、アクティブ ツールバー ②をスクロールして各種設定ができます。(「アクティブツールバーで利用できる機能」P.117)

補足： アクティブツールバーは、焦点を合わせる時や静止画の撮影中には表示されません。(「カメラのアクティブツールバー」P.117)

- ③は電池の残量を示しています。
- 画像解像度アイコン④は、画質を示します。
  印刷 5M ー大 (解像度 2592x1944)
  印刷 3M ー中 (解像度 2048x1536)
  印刷 2M ー中 (解像度 1600x1200)
  E-mail 0.8M ー中 (解像度 1024x768)
  MMS 0.3M ー小 (解像度 640x480)

これらの画質はメインカメラ使用時のみ選択できます。デジタルズームした画像は、デジタルズームしていない画像より低画質になります。
- ⑤は現在設定されている画質で、現在使用中のメモリに保存できるおおよその画像数を示します。このアイコンは、焦点を合わせる時や撮影中には表示されません。
- 電話機メモリ ( ) またはメモリカード ( ) アイコン⑥は、静止画の保存先を示します。
- ⑦はキセノンフラッシュが充電中であることを示しています。
- ⑧はカメラの設定で場所記録がオンに設定されていることを示します。(「場所情報」P.120)

ビデオアイコン

画面にビデオを表示すると、各所に次のアイコンが表示されます。

- ①はビデオモードであることを示します。
- ②は **手ブレ補正** が **オン** に設定されていることを示します。ビデオ録画中の手振れを低減します。

- マイクアイコン③は、音声がない状態で録画されていることを示します。
- ビデオを録画する前にアクティブ ツールバー④をスクロールして、シーンモード、ホワイトバランス、色合いの設定ができます。アクティブ ツールバーは焦点を合わせたり、ビデオの録画中には表示されません。(「カメラのアクティブツールバー」P.117)
- ⑤は電池の残量を示しています。
- ⑥はビデオクリップの画質が **TV 高品質**、**TV 標準品質**、**E-mail 高品質**、**E-mail 標準品質**、および **共有品質** のどれであるかを示します。
- ⑦はビデオクリップのファイル形式を示します。
- ビデオ録画時間アイコン⑧は、ビデオの録画可能時間を示します。録画可能時間は、撮影状況や被写体によって録画中に増減します。
- 電話機メモリ ( ) またはメモリカード ( ) アイコン⑨は、ビデオの保存先を示します。

カメラのアクティブツールバー

メインカメラでは静止画の撮影やビデオの録画の前後に、アクティブツールバーを使用して設定項目の選択や設定の変更をすることができます。アクティブツールバーをスクロールして設定項目を選択し、◉ を押します。利用できる設定項目はシーンモードや状況によって異なります。またアクティブツールバーの表示 / 非表示を設定することができます。

カメラを閉じると、アクティブツールバーの設定はデフォルト値に戻ります。

アクティブツールバーを必要な時のみ表示させる

1 オプション > アイコン非表示 を選択

アクティブ ツールバーを有効にするには、◉を押します。

アクティブツールバーを常時表示させる

1 オプション > アイコン表示 を選択

アクティブツールバーで利用できる機能

静止画の撮影やビデオの録画前に、アクティブ ツールバーで次のオプションを選択できます。

アイコン	機能
[アイコン]	ビデオモードと静止画モードの切り替えをおこないます。
[アイコン]	シーンモードを設定します。
[アイコン]	フラッシュを設定します。(静止画モードのみ有効)
[アイコン]	セルフタイマーを有効にします。(静止画モードのみ有効) (「セルフタイマー」P.121)
[アイコン]	連写モードを有効にします。(静止画モードのみ有効)(「連写モード」P.120)
[アイコン]	色合いを選択します。
[アイコン]	ビューファインダーグリッドの表示 / 非表示を設定します。（静止画モードのみ有効）
[アイコン]	ホワイトバランスを調整します。
[アイコン]	露出補正を調整します。（静止画モードのみ有効）
[アイコン]	シャープネスを調整します。（静止画モードのみ有効）
[アイコン]	コントラストを調整します。（静止画モードのみ有効）

ISO A	受光感度を調整します。(静止画モードのみ有効)

設定を変更すると表示されるアイコンも変わります。

「静止画撮影で利用できる機能」(P.119)、「動画撮影で利用できる機能」(P.123)、「ギャラリーのアクティブツールバー」(P.134) を参照してください。

静止画の撮影

静止画を撮影する

1 背面にあるカメラレンズカバーを開き、メインカメラを有効にする

- レンズカバーが既に開いている場合は、[カメラキー] を長く押します。
- カメラがビデオモードになっている場合は、アクティブ ツールバーで [アイコン] を選択するか、**オプション** > **静止画モード** を選択し、静止画モードにします。

2 ビューファインダーに被写体を表示して、[カメラキー] を軽く押し、焦点（ピント）をロックする

緑色のインジケータ (『 』) が表示されます。

- メインカメラ使用時のみ焦点をロックすることができます。シーンモードで **風景** や **スポーツ** を選択した場合は焦点をロックすることができません。
- 焦点が合っていない場合は、赤色のインジケータ (『 』) が表示されます。その場合、[カメラキー] からいったん指を離し、もう一度軽く押すと焦点をロックすることができます。
- 焦点をロックしなくても、静止画を撮影することができます。
- ズームインするには本機側面にあるズームキー [▶] を、ズームアウトをするには [◀] を押します。「各部の名称」(P.23) を参照してください。[キー] または [キー] を押してもズームイン / ズームアウトすることができます。

3 [カメラキー] を押し切る

シャッター音がし、静止画が撮影されます。

4 メインカメラを閉じるには、背面にあるカメラレンズカバーを閉じる

補足： 撮影後、静止画が保存されるまで本機を動かさないでください。

静止画を撮影する前に、アクティブ ツールバーで明るさや色合いなどを設定することができます。「アクティブツールバーの詳細設定」(P.125) を参照してください。

ズームや明るさ、色合いの設定を変更すると、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。

第2カメラを有効にするには **オプション** > **第 2 カメラ使用** を選択します。

カメラを起動したままで他のアプリケーションを使用するには、 を押します。カメラに戻るには を長く押します。

■ 静止画撮影で利用できる機能

撮影後、ビューファインダーに表示されている静止画に対して、アクティブツールバーで次の操作をすることができます。

カメラの設定にある、**撮影後の静止画確認** を **オフ** にしている場合は、撮影直後に画像がビューファインダーに表示されません。

撮影した静止画を削除する

撮影した静止画を保存しない場合、

1 アクティブ ツールバーから (削除) を選択、または C を押す

削除を確認するメッセージが表示されます。

2 はい を選択

新規に静止画を撮影する

1 を押すか、戻る を選択してビューファインダーに戻り、 を押す

撮影した静止画を送信する

1 アクティブ ツールバーから (送信) を選択、または開始キーを押す

詳細については、「撮影した静止画 / ビデオを送信する」(P.132) を参照してください。

通話中に静止画を通話相手に送信する

通話中に通話相手に画像を送ることができます。画像は MMS で送信されます。

1 ビューファインダーに静止画を表示 > アクティブ ツールバーから (通話相手に送信) の順に選択

メッセージが表示され、画像が送信されます。

撮影した静止画をシェアオンラインで投稿する

1 アクティブツールバーから (シェアオンラインにサインイン) を選択

- すでにオンラインサービスに登録済みの場合は、アクティブツールバーから (**投稿先 : サービス名**) を選択します。互換性のあるウェブログサービスのアカウントを作成している場合にのみ有効です。(「シェアオンライン」P.148)

撮影した静止画を印刷バスケットに入れる

画像を印刷バスケットに入れておき、後で互換性のあるプリンタで印刷することができます。(「印刷バスケットの画像を印刷する」P.142)

1 アクティブ ツールバーから (印刷バスケットに追加) を選択

静止画ファイル名を変更する

1 オプション > 静止画名変更 を選択

静止画を壁紙に登録する

1 オプション > 壁紙に設定 を選択

静止画を電話帳へ登録する

1 オプション > 電話帳画像に設定 > 電話帳へ登録 > 電話帳を選択

静止画撮影後に画像をズームするには、 を押して ｷﾞｬﾗﾘｰ の画像を開き、オプション からズームオプションを選択します。

■ 場所情報

静止画の撮影時に、撮影した場所を自動的に記録することができます。記録された場所情報を利用し、例えば、ギャラリーから静止画が撮影された場所を確認することができます。ギャラリーでは場所情報が記録されている静止画には が表示されます。(「ギャラリーのフォルダを開く」P.133)

カメラで場所情報を記録するには、オプション > 設定 > 場所記録 > オン を選択します。

アイコン

- - 場所情報が利用できません。GPS が数分以内に衛星回線を見つけた場合、アイコンは に変わります。 が表示されている間に撮影された全ての静止画に場所情報が記録されます。
- - 場所情報が利用できます。撮影する静止画全てに場所情報が記録されます。

■ 連写モード

連写モードはメインカメラでのみ有効です。

連写モードで、時間間隔を設定した場合にのみ、キセノンフラッシュが有効です。

1 背面にあるカメラレンズカバーを開く

カメラが静止画モードであることを確認してください。

2 アクティブ ツールバーから (連写モード) を選択し、 を押す

3 バースト、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、30 分 から選択

- バースト を選択すると を短く押して撮影できる枚数の目安は 6 枚ですが、 を長く押して撮影できる枚数は、使用できるメモリ容量により異なります。

- 10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、30 分を選択した場合、設定した時間の間隔で連続撮影をおこないます。

4 連続撮影を開始するには、 を押す

連写モードで **バースト** を選択し、 を押し続けた場合、 から指を離すまで撮影が継続されます。

5 途中で連続撮影を停止するには、キャンセル を選択

連写モードで **バースト** を選択した場合、撮影後、画像はグリッド状に表示されます。時間間隔を選択した場合、最後に撮影した画像が表示されます。

- グリッド表示された各画像を開くには、画像を選択して、を押します。
- 再度、連続撮影をおこなうには、 を押します。

セルフタイマーで連写モードを利用する

セルフタイマー 設定時に、連写モードを使用することもできます。この場合の最大連写数は 6 枚です。

先に連写モードを設定し、次にセルフタイマーを設定して撮影をおこないます。詳細については後述の「セルフタイマー 」を参照してください。)

連写モードを解除する

1 アクティブツールバーから (連写モードに切替) を選択し、 を押す

2 ｼﾝｸﾞﾙｼｮｯﾄ を選択し、を押す

セルフタイマー

セルフタイマーはメインカメラでのみ有効です。

セルフタイマーを利用して、静止画を撮影することが可能です。セルフタイマーのスピードは、2 秒、10 秒、20 秒から選択することができます。

1 アクティブツールバーから (セルフタイマー) を選択し、を押す

2 2 秒、10 秒 あるいは 20 秒 から選択

3 開始 を選択

ビープ音が鳴り、設定した時間が経過するとシャッター音がし、画像が撮影されます。

セルフタイマーを解除する

1 アクティブ ツールバーから セルフタイマー を選択し、を押す

2 オフ を選択し、を押す

静止画撮影のポイント

画質

適切な画質を選択します。数種類の画質を設定することができます。最高画質の静止画を撮影するためには、画質も最大に設定してください。画質が高画質になるほど、メモリを多く消費します。MMS や E-mail に画像を添付するには、MMS 送信用に最適化された低画質に設定しなければならない場合があります。画質はカメラの設定で変更することができます。(「静止画設定」P.129)

背景

シンプルな風景を使用します。ポートレートや集合写真を撮影する場合は、背景に複雑な模様やオブジェクトを入れないようにしてください。シンプルな背景を使用した方が、被写体をより際立たせることができます。被写体をはっきりと撮影したい場合は、なるべく被写体に近づいて撮影してください。

奥行き

風景を撮影する場合、前面にオブジェクトを置くと、画像に奥行きが出ます。前面に配置するオブジェクトとカメラとの距離が近すぎる場合、オブジェクトがぼやける場合があります。

ライティングの状態

ライティングの種類、量、方向を考慮すると被写体の写りが変わります。

- 逆光 - 被写体の後ろに、強い光源を置くことは避けてください。もし光源が被写体の後ろにあったり、あるいはディスプレイから見える場合は、画像のコントラストが弱くなり、画像が暗くなるか、ライティング効果がなくなる場合があります。
- サイド光 - 側面からの光源で撮影すると、画像に強い印象を与えますが、コントラストが強くなりすぎ、粗い印象の画像になる場合があります。
- 順光 - 強い太陽光の元では、被写体は目を細めがちになります。また画像のコントラストも強くなりすぎる場合があります。
- 最適配光 - 明るい薄曇りの日や、晴天時の木陰などのやわらかい光や、拡散光が多い場合にライティングを考慮します。

動画の撮影

動画を撮影する

1 背面にあるカメラレンズカバーを開いて、メインカメラを有効にする

- レンズカバーが既に開いている場合は、[カメラキー] を長く押します。

- カメラが静止画モードになっている場合は、アクティブツールバーの を選択するか、**オプション** > **ビデオモード** を選択し、ビデオモードにします。

2 ビューファインダーに被写体を表示して、 を押す

録画開始音が鳴り、録画が開始されます。録画中は、● が画面下部に表示され、LED が点灯します。録画したビデオにフラッシュの影響はありません。

- ズームインするには本機側面にあるズームキー を、ズームアウトをするには を押します。「各部の名称」(P.23) を参照してください。 または を押してもズームイン / ズームアウトすることができます。

補足 : 録画を一時停止するには、**一時停止** を選択します。一時停止になると ❚❚ が点滅します。一時停止をしてそのままにしておくと、約一分後に自動的に録画を終了します。録画を再開するには、**続行** を選択します。

3 停止 を選択

自動的に **ギャラリー** の **画像とビデオ** に保存されます。「ギャラリー」(P.133) を参照してください。最大録画時間は使用できるメモリ容量によって異なります。

ビデオを録画する前に、アクティブ ツールバーで明るさや色合いなどを設定できます。「アクティブツールバーの詳細設定」(P.125) と「シーンモード」(P.126) を参照してください。

新たにビデオを録画するために本機メモリを解放するには、例えば USB ケーブルを使って互換性のある PC にファイルを転送し、本機からファイルを削除します。メモリの残量がなくなると、使用するメモリを変更するかどうかのメッセージが表示されます。

■ 動画撮影で利用できる機能

撮影後、ビューファインダーに表示されているビデオに対して、アクティブ ツールバーで次の操作をすることができます。

カメラのオプション設定にある **撮影後のビデオ確認** を **オフ** にしている場合は、撮影直後に画像がビューファインダーに表示されません。

撮影したビデオを再生する

1 アクティブ ツールバーから ▶ (再生) を選択

撮影したビデオを削除する

1 アクティブ ツールバーから (削除) を選択、または C を押す

新規にビデオを撮影する

1 　を押すか、**戻る** を選択してビューファインダーに戻り、　を押す

撮影したビデオを送信する

1 **アクティブ ツールバーから (送信) を選択、または開始キーを押す**

詳細については、「撮影した静止画 / ビデオを送信する」(P.132) を参照してください。

撮影したビデオをシェアオンラインで投稿する

1 **アクティブツールバーから (シェアオンラインにサインイン) を選択**

- すでにオンラインサービスに登録済みの場合は、アクティブツールバーから (**投稿先 : サービス名**) を選択します。互換性のあるウェブログサービスのアカウントを作成している場合にのみ有効です。(「シェアオンライン」P.148)

撮影したビデオを着信音に設定する

1 **オプション** > **着信音に設定**、または **電話帳着信音に設定** を選択

- **着信音に設定** を選択すると、ビデオをすべての電話帳の着信音に設定できます。
- **電話帳着信音に設定** を選択すると、特定の電話帳の着信音に設定できます。

ビデオファイル名を変更する

1 **オプション** > **ビデオ名変更** を選択

通話中にビデオを通話相手に送信する

通話中に通話相手にビデオを送ることができます。ビデオは MMS で送信されます。

1 **ビューファインダーに動画を表示 > アクティブツールバーから (通話相手に送信) を選択**

メッセージが表示され、ビデオが送信されます。

第2カメラを使用する

本機背面のカメラレンズカバーを閉じた状態で　> **アプリ** > **カメラ** を選択すると第 2 カメラが起動します。メインカメラが起動している場合は、**オプション** > **第 2 カメラ使用** を選択します。ズームインするには　を、ズームアウトをするには　を押します。

■ 静止画を撮影する

1 **カメラがビデオモードになっている場合は、オプション > 静止画モード を選択**

2 **ビューファインダーに被写体を表示して、　を押す**

シャッター音がし、静止画が撮影されます。

静止画の撮影後、ビューファインダーに表示されている静止画に対して、**オプション** から **削除**、**印刷**、**送**

信、**壁紙に設定**、**静止画名変更** などの操作をすることができます。

■ 動画を撮影する

1 カメラが静止画モードになっている場合は、オプション > ビデオモード を選択

2 ビューファインダーに被写体を表示して、◉ を押す

録画開始音が鳴り、録画が開始されます。録画中は、● が画面上部に表示されます。

3 停止 を選択

動画の撮影後、ビューファインダーに表示されているビデオに対して、**オプション** から **再生**、**削除**、**送信**、**ビデオ名変更** などの操作をすることができます。**戻る** を選択すると新規ビデオを撮影することができます。

アクティブツールバーの詳細設定

静止画の撮影やビデオの録画前にアクティブ ツールバーで各種機能を設定し、より正確な色調と明るさを表現して効果を追加することができます。

設定はメインカメラ、第2カメラでそれぞれ異なります。カメラを閉じると設定はデフォルト値に戻ります。

設定は静止画モードとビデオモードでもそれぞれ異なります。静止画モードで設定を変更しても、ビデオモードの設定は変更されません。モードを切替えても設定はデフォルト値に戻りません。

■ アクティブツールバーの各種機能を設定する

1 背面にあるカメラレンズカバーを開いてメインカメラを有効にする

アクティブツールバーが表示されていない場合は **オプション** > **アイコン表示** を選択します。

2 ▢ または ▢ を押してアクティブツールバーから設定する機能を選択し、◉ を押す

静止画の明るさ、色の設定を変更すると、保存に時間がかかる場合があります。

新しいシーンモードを選択すると、色合いや明るさの設定は選択されたシーンモードの設定に置き換えられます。例えば **色合い** を **セピア** に変更した後に **シーンモード** を **ポートレート** に変更すれば、**色合い** は **標準** に変更されます。設定の変更が必要な場合は、シーンモード選択後に変更することができます。「シーンモード」(P.126) を参照してください。

■ シーンモード

シーンモードでは、現在の環境に適した色調や明るさを調整することができます。シーンモードのリストから画像やビデオの撮影に適切なシーンモードを選択します。特定の状況や環境に合わせて、シーンモードが設定されています。

・ シーンモードはメインカメラでのみ有効です。
・ 利用できるシーンの種類は、静止画とビデオでは異なります。

1 アクティブ ツールバーから A（シーンモード）を選択し、● を押す

2 ▢ または ▢ を押して使用するシーンモードを選択し、● を押す

静止画のシーンモード

A	**自動**：（デフォルト）本機が自動的にシーンを選択します。
	ﾕｰｻﾞ定義：各種機能を設定し、独自のシーンを作成することができます。
	接写：花など小さい対象物の細部を撮影する場合に使用します。約 10cm から約 60cm までの撮影距離で使用します。
	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ：顔写真や座りポーズなどの、ポートレートを撮影する場合に使用します。
	風景：遠景撮影時に使用します。
	スポーツ：スポーツ場面など、動いている被写体を撮影する時に使用します。
	夜景：夜間など光の少ない環境で使用します。
	夜景ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ：夜間など、光の少ない環境でポートレートを撮影する場合に使用します。

ビデオのシーンモード

・ ビデオでは、**自動**（A）と **夜景**（☾）が設定できます。

ユーザ定義シーンを設定する

ユーザ定義では、独自のシーンモードを設定することができます。

1 シーンモードで ﾕｰｻﾞ定義 を選択した状態で、オプション ＞ 変更 を選択

次の機能を設定することができます。

- **基本となるｼｰﾝﾓｰﾄﾞ**
  別のシーンモードから設定をコピーする場合、コピー元のシーンモードを選択します。
- **フラッシュ**
- **ホワイトバランス**
- **露出補正**
- **色合い**
- **受光感度値**
- **コントラスト**
- **シャープネス**
- **ユーザ定義のリセット**

2 各機能を選択し、●を押す、または オプション > 変更 を選択。設定表示画面が開くので、設定する機能や値を選択し、●を押す

- 変更を保存し、シーンの一覧に戻るには **戻る** を選択します。設定した独自のシーンモードを有効にするには、**ﾕｰｻﾞ 定義** にスクロールし、**オプション** > **選択** を選択します。

フラッシュ

フラッシュ使用時は、被写体と安全な距離を保ってください。至近距離での人や動物の撮影にはフラッシュを使用しないでください。写真の撮影時はフラッシュを覆わないようにしてください。

- フラッシュはメインカメラでのみ有効です。
- 本機には、暗い場所でも撮影できるように、キセノンフラッシュが搭載されています。シーンモードで **スポーツ** を選択した場合や、連写モードで **バースト** を選択した場合はキセノンフラッシュは利用できません。
- フラッシュをオフに設定していない場合、キセノンフラッシュの充電が完了するまでは静止画の撮影はできません。フラッシュの充電中は が点滅します。通常、フラッシュの充電は数秒で完了します。

フラッシュを設定する

1 アクティブ ツールバーから （フラッシュモード）を選択し、●を押す

2 または を押して使用するフラッシュを選択し、●を押す

次のフラッシュが選択できます。

- - **自動**（デフォルト）
- - **オン**
- - **赤目補正**
- - **オフ**

フラッシュが **オフ**、あるいは **自動** に設定されている場合、周囲が明るい時に静止画を撮影しても、フラッシュが少し光ります。これにより、被写体が撮影されたタイミングがわかります。撮影された画像にフラッシュの影響はありません。

色合い

色合いでは、設定に合わせて画面の色合いが変わります。設定前に画像やビデオの色効果が確認できます。

1 アクティブ ツールバーから （色合い）を選択し、●を押す

2 または を押して使用する色合いを選択し、●を押す

次の色効果が選択できます。

- - **標準**（デフォルト）

- - セピア
- - モノクロ
- - 鮮明
- - ネガ

ホワイトバランス

ライティングの状態にあわせてホワイトバランスを設定すると、より正確な色調を表現することができます。

1 アクティブ ツールバーから (ホワイトバランス) を選択し、を押す

2 または を押して使用するホワイトバランスを選択し、を押す

次のホワイトバランスが選択できます。
- - 自動 (デフォルト)
- - 晴天
- - 曇天
- - 白熱灯
- - 蛍光灯

露出補正

露出補正では露光時間を調節し、全体的な明るさを調整することができます。

雪景色など明るい背景に対して被写体が暗い場合、露出補正を＋１や＋２に設定し、背景の明るさを補正します。暗い背景に対して被写体が明るい場合は、－１または－２に設定します。

1 アクティブツールバーから (露出補正) を選択し、を押す

2 または を押して値を選択し、を押す

露出補正は 0.5 単位で、－ 2.0EV から +2.0EV まで設定することができます。

シャープネス

シャープネスを調節して、被写体の輪郭を強調することができます。

1 アクティブ ツールバーから (シャープネス) を選択し、を押す

2 または を押して鮮明度を選択し、を押す

次の鮮明度が選択できます。
- - ハード
- - 標準（デフォルト）
- - ソフト

コントラスト

コントラストを調節して、被写体の明暗を強調することができます。

1 アクティブ ツールバーから (コントラスト) を選択し、を押す

2 または を押して値を選択し、を押す

受光感度

受光感度を上げると、フラッシュを使用しなくても暗い場所での撮影が可能となります。撮影場所が暗ければ暗いほど、それに従い受光感度を上げます。

光の少ない環境で受光感度を上げると、画像が暗くなるリスクが軽減されます。

1 アクティブ ツールバーから (受光感度) を選択し、を押す

2 または を押して受光感度を選択し、を押す

次の受光感度が選択できます。

- - **自動** (デフォルト)
- - **低**
- - **中**
- - **高**

静止画 / 動画の設定

静止画設定

静止画の設定メニューから、画質の調整や、撮影後静止画を表示するようにしたり、シャッター音などを設定したりすることができます。

静止画の設定は、次に設定を変更しない限りカメラを閉じてもそのまま保存されます。

設定はメインカメラ、第2カメラでそれぞれ異なります。

1 カメラ起動中に、オプション > 設定 を選択

> **アプリ** > **カメラ** > **オプション** > **設定** の順に選択することもできます。
次の設定をおこなうことができます。

- **静止画画質** - 静止画の画質を次の 5 種類から選択することができます。(メインカメラでのみ有効)
  - **印刷 5M －大** - (解像度 2592x1944)
  - **印刷 3M －中** - (解像度 2048x1536)
  - **印刷 2M －中** - (解像度 1600x1200)
  - **E-mail 0.8M －中** - (解像度 1024x768)
    E-mail で画像を送信する場合に選択
  - **MMS 0.3M －小** - (解像度 640x480)
    MMS で画像を送信する場合に選択

  画像が高画質になるほど、メモリの消費量が増えます。画像を印刷する場合は **印刷 5M －大**、**印刷 3M －中**、**印刷 2M －中** のいずれかを選択します。
- **場所記録** - 静止画に GPS の座標を追加するには、**オン** を選択します。GPS 信号の受信には時間がかかる場合や、GPS 信号を受信できない場合があります。
- **アルバムに追加** - ｷﾞｬﾗﾘｰ のアルバムに画像を追加することができます。**はい** を選択すると、利用できるアルバムのリストが開きます。

- **撮影後の静止画確認** - 撮影直後に、撮影した静止画をビューファインダーに表示するには**オン**を選択します。
- **デフォルト静止画名** - 撮影する静止画のデフォルト名を **日付** または **テキスト** から選択します。
  - **日付** - 撮影した日付が表示されます。
  - **テキスト** - デフォルトになるファイル名を入力します。
- **拡大デジタルズーム** - **オン (一時停止)** を選択すると、拡大デジタルズーム領域に入る前にズームを一時停止します。**オン (連続)** を選択すると、拡大デジタルズーム領域まで連続してズームすることができます。ズーム範囲を限定し、解像度が下がるのを防ぎたい場合は **オフ** を選択します。(メインカメラでのみ有効)
- **シャッター音** - カメラのシャッター音を選択します。
- **使用するメモリ** - 静止画の保存先を選択します。
- **画像回転表示** - 本機を立てた状態で縦長の画像を撮影した場合、画像を正しい方向に回転して保存する場合に選択します。
- **カメラ設定リセット** - **はい** を選択するとカメラの設定をデフォルト値に戻します。

■ ビデオ設定

ビデオの設定メニューから、画質の調整や、撮影後ビデオを表示するようにしたり、デフォルトのビデオ名などを設定することができます。

ビデオ設定は、次に設定を変更しない限りカメラを閉じても設定はそのまま保存されます。

1 カメラ起動中に、オプション > 設定 を選択

> **アプリ** > **カメラ** > **オプション** > **設定** の順に選択することもできます。
カメラが静止画モードになっている場合は、**オプション** > **ビデオモード** を選択し、ビデオモードにします。
次の設定をおこなうことができます。

- **ビデオ画質** - ビデオクリップの品質を次の 5 種類から選択することができます。(メインカメラでのみ有効)**TV 高品質**、**TV 標準品質**、**E-mail 高品質**、**E-mail 標準品質**、および **共有品質**
  - **TV 高品質**、**TV 標準品質** - VGA 解像度 (640x480) .mp4 ファイル形式でビデオを録画します。互換性のある PC や TV でビデオを再生する場合に適した品質です。MMS では .mp4 形式のビデオを送信することができない場合があります。
  - **E-mail 高品質**、**E-mail 標準品質** - QVGA 解像度（320 x 240）、.mp4 ファイル形式で

ビデオを録画します。携帯電話でビデオクリップを再生する場合に適した品質です。
  - **共有品質** - QCIF 解像度 (176x144)、.3gp ファイル形式 でビデオを録画します。MMS を利用して、ビデオクリップを送信する場合に選択します。ビデオクリップの容量は、300 kB (時間にすると約 30 秒）に限られているので、MMS を利用して互換性のある機器へ送信するのに適しています。
- **手ブレ補正** - ビデオ録画中の手振れを低減するには、**オン** を選択します。（メインカメラでのみ有効）
- **録音** - ビデオと同時に音声を録音する場合は、**オン** を選択します。
- **アルバムに追加** - **ｷﾞｬﾗﾘｰ** のアルバムにビデオを追加することができます。**はい** を選択すると、利用できるアルバムのリストが開きます。
- **撮影後のビデオ確認** - 撮影直後に、撮影したビデオをビューファインダーに表示するには **オン** を選択します 。
- **デフォルトビデオ名** - 録画するビデオのデフォルト名を **日付** または **テキスト** から選択します。
  - **日付** - 撮影した日付が表示されます。
  - **テキスト** - デフォルトになるファイル名を入力します。
- **使用するメモリ** - ビデオの保存先を選択します。
- **カメラ設定リセット** - **はい** を選択すると、カメラの設定をデフォルト値に戻します。

カメラ起動中にギャラリーを開く

カメラを起動中に、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存した静止画やビデオを確認することができます。

1 レビューキー [▶▦] を押す

ギャラリーに最後に保存された画像が表示されます。

2 もう一度レビューキー [▶▦] を押す

ｷﾞｬﾗﾘｰ の **画像とビデオ** フォルダが開きます。

3 [◀] または [▶] を押して、確認する静止画、あるいはビデオを選択し、[●] を押す

撮影した静止画、あるいはビデオが表示されます。カメラに戻るには [📷] を長く押します。

撮影した静止画 / ビデオを編集する

撮影した静止画や **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存してある静止画にエディタ機能を利用して、クリップアートや文字を挿入したりすることができます。ビデオは、ビデオエディタを利用して、編集したり、カスタムビデオクリップを作成することができます。詳細については、「静止画ファイルを編集する」(P.137)、「ビデオファイルを編集する」(P.139) を参照してください。

撮影した静止画 / ビデオを送信する

撮影後に、ビューファインダーに表示されている静止画やビデオを、MMS、E-mail、Bluetooth 接続を利用して送信することができます。.mp4 形式のビデオファイルは MMS で送信できない場合があります。

・ ギャラリーに保存されている静止画や、ビデオの送信については、「ファイルを送信する」(P.52) を参照してください。

カメラのオプション設定にある、**撮影後の静止画確認**（ビデオモードの場合は、**撮影後のビデオ確認**）を **オフ** にしている場合は、撮影直後、画像がビューファインダーに表示されません。(「静止画設定」P.129)

1 静止画やビデオを撮影する
「静止画の撮影」(P.118)、「動画の撮影」(P.122)

ビューファインダーに撮影した画像が表示されます。

2 アクティブ ツールバーから ✉ (送信) を選択

送信方法のリストが表示されます。開始キーを押しても送信方法のリストを表示することができます。

- 通話中に通話相手に画像を送信する場合は、✉ (**通話相手に送信**) を選択します。

次の送信方法を選択することができます。

- **MMS**
  詳細については、「MMS を作成 / 送信する」(P.85) を参照してください。

  補足：MMS で送信可能なファイルサイズは、添付ファイルとメッセージ本文などを合わせて最大 300 kB です。送信可能かどうかは MMS 設定に依存します。「MMS 設定」(P.92) を参照してください。携帯電話事業者が MMS 送信に推奨するよりも大きなサイズでファイルを送信したい場合は、Bluetooth 接続を使用してファイルを送信してください。
- **Bluetooth**
  詳細については、「Bluetooth 接続でデータを送信する」(P.205) を参照してください。
- **E-mail**
  詳細については、「E-mail を作成 / 送信する」(P.86) を参照してください。
- **Web に投稿**
  詳細については、「オンラインでファイルを共有する」(P.142) を参照してください。

ギャラリー

ギャラリーについて

ギャラリーの各フォルダに、静止画ファイル、ビデオファイル、音楽ファイル、プレイリスト、ストリーミングリンクなどを保存し、整理することができます。

- ギャラリーでは、フォルダに保存してあるファイルの再生、コピー、および移動などをすることができます。(「ギャラリーの構成」P.50)
- ギャラリーのアルバム機能を利用して、オリジナルのアルバムを作成したり、編集したりすることができます。(「アルバム」P.135)
- ビデオファイル、音声クリップ、.ram ファイルは **RealPlayer** で再生します。(「RealPlayer」P.168) 音楽ファイルは、**ﾐｭｰｼﾞｯｸ** (ミュージックプレーヤー) で再生します。(「ミュージックプレーヤー」P.153)

ギャラリーのフォルダを開く

> **ｷﾞｬﾗﾘｰ** > **フォルダ**

ギャラリーのフォルダを開き、保存されているファイルを確認します。

カメラで撮影した画像は、自動的にギャラリーに保存されます。

補足 : 他のアプリケーションを起動中に **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に最後に保存された画像を見るには、本機側面にあるレビューキー を押します。もう一度レビューキーを押すと **画像とビデオ**フォルダが開きます。

各フォルダに保存されているファイルのリストが表示されます。

- **画像とビデオ**フォルダでは 、または を押して各ファイルをプレビューすることができます。、または を押して複数のファイル間を素早く移動することもできます。

- ファイル数が画面に表示されます。
- 静止画を拡大するには、本機側面のズームキーを押します。拡大率が画面左下（ポートレートモードの場合は画面右上）に表示されます。この拡大率は本機には保存されません。
- 静止画を回転するには、ファイルを開き、**オプション** > **回転** > **左** または **右** を選択します。本機

の向きによって自動的に画面表示を回転させるには、**縦横切り替え** 設定を変更します。「カスタマイズ」(P.221) を参照してください。

- が表示された場合、画像が撮影された場所を確認するには、**オプション** > **地図に表示** を選択します。
- ファイルがメモリカードに保存されている場合、画面に が表示されます。

補足 : Nokia Nseries PC Suite に搭載されているファイルマネージャを利用して、ファイルを移動することが可能です。本機付属の DVD-ROM を参照してください。

ギャラリーのアクティブツールバー

画像とビデオ フォルダでは機能を選択する時のショートカットとしてアクティブ ツールバーを使用することができます。アクティブ ツールバーは画像やビデオクリップを開いた場合にのみ有効になります。アクティブ ツールバーをスクロールしてオプションを選択し、 を押して様々な機能を選択することができます。利用できるオプションは、状況や選択した画像またはビデオクリップによって異なります。また、アクティブ ツールバーを常に表示するか、キーを押して表示させるかを設定することができます。

アクティブツールバーを常時表示させる

1 オプション > アイコン表示 を選択

アクティブツールバーを必要な時のみ表示させる

1 オプション > アイコン非表示 を選択

アクティブ ツールバーを有効にするには、 を押します。

ギャラリーのアクティブツールバーで利用できる機能

	選択したビデオクリップを再生します。
	画像やビデオクリップをウェブサイトにアップロードします。(「オンラインでファイルを共有する」P.142)
	選択した画像やビデオクリップを送信します。
	印刷バスケットに画像を追加 / 削除します。(「印刷バスケット」P.141)
	表示している画像を印刷します。
	画像のスライドショーを開始します。
	選択した画像やビデオクリップを削除します。

静止画 / 動画ファイルの利用

> ギャラリー > 画像とビデオ

壁紙に設定する

1 壁紙に設定する画像 > オプション > 画像の使用 > 壁紙に設定 の順に選択

- 設定した壁紙を解除するには、「設定した壁紙を解除する」(P.214) を参照してください。

画像を電話帳へ登録する

1 電話帳に登録する画像 > オプション > 画像の使用 > 電話帳へ登録 の順に選択

電話帳が開きます。

2 画像を登録する連絡先を選択し、OK を選択

アルバム

アルバムを利用して、画像とビデオ フォルダにある静止画やビデオを整理することができます。アルバムの作成は、画像とビデオ のフォルダからおこないます。

新規アルバムを作成する

1 オプション > アルバム > アルバム表示 の順に選択

アルバムのリストが表示されます。

- アルバムの内容を確認するには、アルバムを選択して、■ を押します。画面にアルバムにあるファイルのサムネイルが表示されるので、ナビゲーションキーを使用して、それぞれのファイルを確認することができます。

2 オプション > 新規アルバム を選択

アルバムの名前を入力する画面が表示されます。

3 アルバムの名前を入力し、OK を選択

4 ギャラリーを開いて、アルバムに追加する画像ファイルを選択

5 オプション > アルバム > アルバムに追加 の順に選択

6 追加先のアルバム > OK を選択

ファイルがアルバムに追加されます。

- アルバムに追加した画像は、画像とビデオ フォルダでも見ることができます。
- アルバムからファイルを削除するには、アルバムを開いて削除するファイルを選択し、C を押します。アクティブツールバーからも削除することができます。
- ファイルはアルバムから削除されますが、画像とビデオ フォルダからは削除されません。

スライドショー

静止画ファイルを全画面モードで表示して、スライドショーを実行することができます。

スライドショーを開始する

1 **静止画を選択し、オプション > スライドショー > 開始 を選択、または、静止画を開きアクティブツールバーで (スライドショー開始) を選択**

スライドショーが開始されます。
縦長の静止画の場合、「スライドショーの速度 / ズームを設定する」の **ズームおよびパン** を **オフ** にすると全体が表示されます。

- 選択した画像のみのスライドショーをおこなうには、画像を選択し、**オプション** > **マーク / マーク解除** > **マーク** を選択してマークをつけてから、**オプション** > **スライドショー** > **開始** を選択します。

スライドショーの操作

スライドショー再生中に を押すと、画面上に **終了** と **一時停止** が表示されます。

- **一時停止** - スライドショーを一時停止します。
- **再生続行** - 一時停止したスライドショーの再生を続行します。
- **終了** - スライドショーを終了します。
- 画像を手動で送るには、 または を押します。

スライドショーに音楽を挿入する

スライドショー再生時のバックグラウンドミュージックを設定することができます。

1 **オプション > スライドショー > 設定 > ミュージック > オン の順に選択**

メッセージが表示されます。

2 **はい を選択**

ミュージックフォルダにある、音楽ファイルリストが表示されます。

3 **設定する音楽ファイルを選択し、選択 を選択**

- 音量の調節は、本機側面にある音量調節キーを押します。

スライドショーの速度 / ズームを設定する

1 **オプション > スライドショー > 設定 の順に選択**

- **スライド間隔** - スライドショーの速度を設定します。
- **ズームおよびパン** - スライドショーで画像の流れをスムーズにし、画像のズームイン、ズームアウトをランダムにおこなうようにするには **オン** を選択します。

静止画 / 動画ファイルの編集

- **画像とビデオ**フォルダには、画像ファイル、およびビデオファイルがループ状に配置されています。 または、 を押して各ファイルをプレビューします。
- 静止画ファイルやビデオファイルはメールや MMS の添付ファイルとして、また Bluetooth 接

続を利用して受信することができます。受信した静止画ファイルを ｷﾞｬﾗﾘｰ に表示したり、ビデオファイルを RealPlayer で再生したりするには、電話機メモリ、または本機に挿入されているメモリカードに保存する必要があります。

- ビデオファイルに封筒アイコンが表示される場合、MMS で送信が可能です。
- ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ に保存されているビデオクリップはｷﾞｬﾗﾘｰ の 画像とビデオ フォルダには表示されません。ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ のビデオクリップを見るには、「ビデオセンタ」(P.165) を参照してください。

■ 静止画ファイルを編集する

ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存してある静止画に、編集機能を利用して、クリップアートや文字などを挿入することができます。

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 編集する静止画 > オプション > 編集 > オプション > 効果適用

静止画を切り取る

1 切り取り「 」を選択

切り取り枠のサイズリストが表示されます。

2 サイズを選択 > OK を選択

静止画に四角い選択枠が表示されます。

- 、または を使用して選択枠の大きさを調整することができます。
- 選択枠の右下は、画像に固定されており、動かすことができません。
- キャンセルを選択すると、編集画面に戻ります。

3 サイズが決定したら 設定 を選択

選択枠の左上が固定されます。

- 選択を取り消すには、戻る を選択します。
- 、または を使用して選択枠の右下を動かし、大きさを調整することができます。

4 もう一度 設定 を選択

- ナビゲーションキーを使用して、選択枠の位置を調整することができます。
- サイズで 手動 を選択した場合は、設定 は表示されず、切り取り が表示されます。

5 切り取り を選択

画像が切り抜かれます。

- 切取りを取り消すには、オプション > 取消し を選択します。編集画面に戻ります。

6 戻る を選択

ｷﾞｬﾗﾘｰ に編集した静止画が保存されます。

赤目補正をする

1 赤目補正「 」を選択

静止画に十字型のカーソルが表示されます。

- キャンセル を選択すると、編集画面に戻ります。

2 ナビゲーションキーを使用して目の位置に合わせ、◉ を押す

静止画にループ枠が表示されます。

- **オプション** > **取消し** を選択するとカーソルが十字型に戻ります。
- **オプション** > **効果キャンセル** を選択すると、編集画面に戻ります。

3 ナビゲーションキーを使用してループ枠を目のサイズに合わせて、完了 を選択

- **オプション** > **取消し** を選択するとカーソルが十字型に戻ります。

4 戻る を選択

ギャラリー に編集した静止画が保存されます。

静止画にクリップアートを挿入する

1 クリップアート 「✿」を選択

クリップアートのリストが表示されます。

2 ナビゲーションキーを使用してクリップアートを選択

静止画に選択したクリップアートと、十字型のカーソルが表示されます。

- **キャンセル** を選択すると、クリップアートの位置が確定されます。

3 ナビゲーションキーを使用してクリップアートを移動し、OK を選択

- **オプション** > **効果キャンセル** を選択すると編集画面に戻ります。

4 完了 を選択

- **オプション** > **取消し** を選択すると編集画面に戻ります。

5 戻る を選択

ギャラリー に編集した静止画が保存されます。

静止画にテキストを追加する

1 文字「A」を選択

テキストの入力画面が表示されます。

- **キャンセル** を選択すると、編集画面に戻ります。

2 テキストを入力し、OK を選択

入力する文字が確定されます。

3 「静止画にクリップアートを挿入する」(P.138)の操作 3 から操作 5 をおこなう

静止画にフレームを挿入する

1 フレーム「▭」を選択

2 ◧ または ◨ を押してフレームを選択し、OK を選択

3 戻る を選択

ギャラリー に編集した静止画が保存されます。

編集中のオプション

- 編集画面の静止画を全画面表示 / 標準画面表示にするには、 * を押します。
- 編集画面の静止画を左右に回転させるには、 3 、または 1 を押します。
- 編集画面の静止画を拡大するには、 5 を押し、拡大した画像を縮小するには、 0 を押します。

■ ビデオファイルを編集する

ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存してあるビデオファイルを編集したり、カスタムビデオクリップを作成することができます。

ビデオ編集では .3gp と .mp4 形式のビデオファイルと、.aac、.amr、.mp3、.wav 形式の音楽ファイルをサポートしています。

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 編集するビデオ > オプション > 編集

画像やビデオの結合

ビデオクリップに画像やビデオを追加します。

1 結合 > 画像 またはビデオクリップ を選択

2 追加する画像やビデオクリップを選択

サウンド変更

ビデオクリップに新しいサウンドを追加し、オリジナルのサウンドクリップと置き換えます。

1 サウンド変更 を選択

2 追加するサウンドクリップを選択

- サポートされていないサウンドクリップがあります。

テキスト追加

ビデオクリップの始めや終わりにテキストを追加します。

1 テキスト追加 を選択

2 追加するテキストを入力 > OK を選択

3 始め または 終わり を選択

テキストを追加する場所を選択します。

ビデオクリップのカット

ビデオクリップに開始マークや終了マークを追加して、ビデオクリップをトリムすることができます。

1 カット を選択

クリップカット画面が開きます。

- 選択したビデオクリップを始めから再生するには **オプション** > **再生** を選択します。
- 再生を一時停止するには、 を押します。再生を再開するには、**再生** を選択します。クリップカット画面に戻るには、**停止** を選択します。
- 再生中に音量を調節するには、 または を押します。

補足： ビデオクリップのスナップショットを撮影するには、**オプション** > **スナップショット撮影** を選択します。

2 ▢ または ▢ を押してタイムライン上の開始、または終了位置までスクロールする

3 オプション > 開始マーク または 終了マーク を選択

- 開始マークや終了マークを編集するには、タイムライン上の変更したい位置までスクロールし、**オプション** > **開始マーク** または **終了マーク** を選択します。
- マークを削除するには、**オプション** > **削除** > **開始マーク**、**終了マーク** または **すべてのマーク** の順に選択します。
- トリムしたビデオクリップをプレビューするには **オプション** > **マーク範囲再生** を選択します。

4 完了 を選択

カットしたビデオクリップが **ギャラリー** に保存されます。

■ 画像を印刷する

1 ▢ > ギャラリー > 画像とビデオ の順に選択

2 印刷する画像を選択し、▢ を押す

3 アクティブ ツールバーから ▢ (印刷) を選択

- **オプション** > **印刷** > **印刷** の順に選択することもできます。

画像の編集画面の印刷オプションから、画像を印刷することもできます。

データケーブル、無線 LAN、Bluetooth 接続、あるいは互換性のあるメモリカード（プリンタ側で利用可能な場合）を利用して、プリンタと本機を接続し、画像を印刷することができます。

印刷できるのは、.jpg 形式のファイルに限られます。カメラで撮影した画像は、自動的に .jpg ファイル形式で保存されます。

PictBridge 対応プリンタで印刷する場合は、本機とプリンタを USB ケーブルで接続してから、本機からの印刷オプションを選択してください。

プリンタを選択する

はじめて印刷をする場合、印刷する画像を選択した後に、利用可能なプリンタのリストが表示されます。

本機と PictBridge 対応プリンタを CA-101 データケーブルで接続した場合、そのプリンタが自動的に選択され画面に表示されます。

デフォルトプリンタが使用できない場合には、他の利用可能な印刷機器が表示されます。詳細については「プリンタの設定」(P.141) を参照してください。

印刷プレビュー

ギャラリーから画像を印刷する場合、印刷プレビューを表示することができます。

印刷するために選択した画像は、定型のレイアウトで画面に表示されます。印刷レイアウトを変更するに

は、左右のナビゲーションキーを使用して、選択したプリンタで利用できるレイアウトをスクロールします。1 ページに収まらない画像を選択した場合は、 または を押してスクロールすると、他のページも表示されます。

■ プリンタの設定

印刷で利用できるオプションは、選択したプリンタの機能により異なります。

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > 印刷する画像 > > アクティブ ツールバーから (印刷)

・ 印刷する画像 > > **オプション** > **印刷** > **印刷** の順に選択することもできます。

デフォルトプリンタを設定する

デフォルトはメモリカードに設定されています。

1 オプション > 設定 > デフォルトプリンタ の順に選択

次のオプションが選択できます。

- **Bluetooth プリンタ**
- **ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ**
- **USB**
- **WLAN プリンタ**

2 設定するプリンタを選択 > OK を選択

用紙のサイズを選択する

1 オプション > 設定 > 用紙サイズ の順に選択

2 用紙サイズを選択 > OK を選択

1 ページに印刷する画像数を設定する

1 オプション > 設定 > 画像数 / ページ の順に選択

2 画像数を選択 > OK を選択

コピー枚数を設定する

1 オプション > コピー数 を選択

2 または を押して枚数を選択 > OK を選択

■ 印刷バスケット

画像を印刷バスケットに入れておき、後で互換性のあるプリンタやキオスク端末で印刷することができます。「画像を印刷する」(P.140) を参照してください。印刷バスケットに入れた画像を **画像とビデオ** フォルダやアルバムで見ると、画像の左上部に アイコンが表示されます。

> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ

印刷バスケットに画像を追加する

1 後で印刷する画像を選択し、 を押す

2 アクティブ ツールバーから (印刷バスケットに追加) を選択

- 印刷バスケットの画像を確認するには、**画像とビデオ** フォルダで印刷バスケットアイコン ( ) を選択します。印刷バスケットに画像を

追加している場合にのみ、このアイコンが表示されます。
- カメラから直接撮影した静止画を印刷バスケットに入れることができます。(「撮影した静止画を印刷バスケットに入れる」P.120)

印刷バスケットから画像を削除する

1 画像とビデオ フォルダで (印刷バスケットアイコン) を選択し、を押す

2 印刷バスケットから削除する画像を開く

- アルバムから画像を選択する場合は、**オプション** > **アルバム** > **アルバム表示** > 印刷バスケットから削除する画像の順に選択します。

3 アクティブ ツールバーから (印刷バスケットから削除) を選択

確認のメッセージが表示されます。

4 はい を選択

印刷バスケットの画像を印刷する

1 画像とビデオ フォルダで (印刷バスケットアイコン) を選択し、を押す

2 印刷する画像を選択した状態で、オプション > 印刷 > 印刷 を選択

- **オプション** > **マーク / マーク解除** を選択し、一度に複数の画像を印刷することもできます。

オンラインでファイルを共有する

ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ を利用するには、別途オンライン画像共有サービスを提供しているサービスプロバイダと契約し、ご自分のアカウントを作成する必要があります。通常、サービスプロバイダのウェブページから申し込むことができます。詳細については「シェアオンライン」(P.148) を参照してください。

ファイルをウェブにアップロードする

1 アップロードするファイル > オプション > 送信 > Web に投稿 の順に選択

- アップロードするファイルを開き、アクティブツールバーから を選択し、ウェブにアップロードすることもできます。
- アカウントを作成するには、**新規アカウント追加** を選択します。

ウェブにアップロードしたファイルを見る

1 オプション > ｵﾝﾗｲﾝｻｰﾋﾞｽを開く を選択

音楽ファイル / ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟの利用

音楽ファイルは、**ミュージック** フォルダの中に保存されます。効果音などのサウンドクリップは、**ｻｳﾝﾄﾞｸﾘｯﾌﾟ** フォルダに保存されます。ミュージックフォルダから、プレイリストを作成したり、サウンド

クリップフォルダから好きな音楽ファイルを着信音に設定したりすることができます。

> **ギャラリー** > **ミュージック** > **ミュージック**

■ プレイリスト

プレイリストについては、「ミュージックプレーヤー」の「プレイリスト」(P.156) を参照してください。

■ 音楽データをインポートする

音楽データのインポートについては、「サウンドファイルの利用」(P.108) を参照してください。

■ サウンドクリップを着信音に設定する

1 > ギャラリー > サウンドクリップ の順に選択

2 着信音に登録するサウンドクリップ > オプション > 音使用 > 電話帳へ登録、または 着信音に設定 の順に選択

電話帳、またはモード選択画面が表示されます。

3 電話帳、またはモードを選択し、を押してチェックマークをつける / 取る

チェックマークをつけた電話帳、またはモードの着信音が変更されます。

・「音の設定」(P.218) を参照してください。

プレゼンテーション

プレゼンテーション フォルダには、SVG ファイル (スケーラブルベクターグラフィクスファイル) を保存することができます。SVG ファイルは様々なサイズや解像度で、最適な表示や印刷が可能です。

> **ギャラリー** > **プレゼンテーション**

■ SVG ファイルを再生する

1 表示するファイルを選択 > を押す

• **オプション** > **再生** を選択してもファイルが表示されます。

■ SVG ファイルを拡大する

1 拡大するファイルを選択 > を押す

SVG ファイルが開き、画面にカーソルが表示されます。

2 ナビゲーションキーを使用してカーソルを拡大したい部分に合わせて、オプション (左ソフトキー) > ズームイン を選択

• 拡大したファイルを元のサイズに戻すには、**戻る** を選択します。
• 拡大したファイルを一つ前のサイズに戻すには、**オプション** > **ズームアウト** を選択します。5 または 0 を押してもズームイン、ズームアウトすることができます。

- ファイルを全画面表示するには、**オプション** > **全画面表示** を選択します。標準画面表示に戻すには、**オプション**（左ソフトキー）> **標準画面表示** を選択します。
- 画像を左右に 90 度回転させるには、[1] または [3] を、45 度回転させるには、[7] または [9] を押します。

TV 出力モード

本機と互換性のあるテレビをビデオ出力ケーブルで接続し、撮影した画像やビデオをテレビで見ることができます。

テレビで画像やビデオを見る前に、テレビのアスペクト比など TV 出力の設定が必要な場合があります。(「TV 出力」P.223)

■ テレビで画像やビデオを見る

1 ビデオ出力ケーブルを互換性のあるテレビのビデオ入力端子と、本機の AV コネクタに接続

アクセサリ選択画面が表示された場合は、**TV 出力ケーブル** を選択します。

2 > ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ >表示するファイルの順に選択

- 静止画はイメージビューアで表示し、ビデオは RealPlayer で再生します。
- 本機にビデオ出力ケーブルが接続されている場合、ビデオクリップのステレオサウンド、着信音、キー確認音を含む全ての音声はテレビから出力されますが、本機のマイクは通常通り使用することができます。
- 画像を選択すると、テレビに全画面表示されます。サムネイル表示で画像を開きテレビで見ている場合、**ズームイン** はできません。

- ハイライトされたビデオクリップを開いた場合、**RealPlayer** は本機とテレビの両方でビデオクリップを再生します。(「RealPlayer」P.168)

ｷﾞｬﾗﾘｰ の **画像とビデオ** フォルダや **RealPlayer** 以外の全てのアプリケーションでも、本機の画面に表示されている内容がテレビ画面にそのまま表示されます。

テレビで画像のスライドショーを見ることができます。スライドショーでは設定した音楽を再生しながら、アルバム内の全てのファイルや選択した画像をテレビに全画面表示することができます。(「スライドショー」P.135)

ホームメディア

本機は UPnP(Universal Plug and Play) に対応しています。無線 LAN アクセスポイント機器や、無線 LAN ルータを使用してホームネットワークを構築し、無線 LAN をサポートしている互換性のある UPnP 機器と接続することができます。

ホームネットワークでは無線 LAN 接続のセキュリティ設定を使用します。無線 LAN アクセスポイント機器と暗号化が使用可能な無線 LAN ネットワークで、ホームネットワーク機能を使用します。

ホームネットワークを利用して、例えば互換性のある UPnP 機器のメディアファイルを本機で表示させることができます。本機のメディアファイルを他の機器で表示 / 再生する機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

ホームネットワーク接続中に次の操作をすることができます。

- 他の互換性のある機器からの接続要求を受け入れる。
- ホームネットワーク上の他の機器のメディアファイルを本機で表示 / 再生する。

■ 重要なセキュリティ情報

無線 LAN ホームネットワークを設定する場合、まずアクセスポイント機器で暗号化を有効にし、次にホームネットワークに接続する他の機器で暗号化を有効にします。詳細は機器の取扱説明書を参照してください。パスコードは他人に知られないように注意し、機器とは別の安全な場所に保管してください。

本機の無線 LAN インターネットアクセスポイント設定の確認や変更については、「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.227) を参照してください。

アドホック オペレーティングモードを使用して、互換性のある機器でホームネットワークを構築する場合、 > **ツール** > **設定** > **接続** > **ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** > アクセスポイントを選択 > **WLAN ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ** で利用可能な暗号化方式を選択してください。これにより、ア

ドホックネットワークへの不要な接続のリスクを軽減することができます。

他の機器が本機やホームネットワークに接続しようとすると、本機に通知されます。身元不明の機器の接続要求を受け入れないでください。

暗号化されていないネットワークで無線 LAN を使用する場合、他の機器とのファイル共有をオフに設定するか、個人的なメディアファイルを共有に設定しないでください。共有設定の変更については 「ホームメディアの設定」(P.146) を参照してください。

ホームメディアの設定

無線 LAN を利用して互換性のある UPnP 機器のメディアファイルを本機で表示させるには、無線 LAN ホームインターネットアクセスポイントを作成、設定し、**ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** アプリケーションの設定をおこなう必要があります。「無線 LAN」(P.200)、と「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.227) を参照してください。

ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ の設定をおこなうと、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に **ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** 関連のオプションが表示されますが、この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

最初に **ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** アプリケーションにアクセスする場合、設定ウィザードが起動するので、ウィザードを利用してホームメディアの設定をおこないます。設定ウィザードを後で利用する場合、 > **ツール** > **外部接続** > **ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** > **オプション** > **ウィザード実行** の順に選択し、手順に従って設定してください。

ホームメディア設定

> **ツール** > **外部接続** > **ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** > **オプション** > **設定**

次の設定をおこなうことができます。

- **ﾎｰﾑｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - ホームネットワークに接続するごとにホームアクセスポイントを確認するには、**常に確認** を選択します。**ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** 利用時に自動的に使用されるアクセスポイントを新たに設定するには、**新規作成** を選択します。ホームネットワークで無線 LAN セキュリティ設定を有効にしていない場合、セキュリティ警告が表示されます。操作を続けておこない、後で無線 LAN セキュリティをオンに変更することもできます。また、アクセスポイントの設定を中止して、先に無線 LAN セキュリティをオンに変更することもできます。「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.227) を参照してください。
- **自機名称** - ホームネットワーク接続時に、他の互換性のある機器に表示される本機の名前を設定します。
- **コピー先** - **メモリカード**、または **電話機メモリ** を選択し、ホームネットワーク上の他の機器からメディアファイルを本機にコピーした場合の保存先を設定します。

共有設定

ツール > **外部接続** > **ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ** > **ｺﾝﾃﾝﾂ共有**

次の設定をおこなうことができます。

- **ネットワークでの公開** - **電話機公開** または **電話機非公開** を選択し、互換性のある機器から本機のメディアファイルを参照するかどうかを設定します。他の設定をすべて終えるまで **電話機公開** に設定しないでください。**電話機公開** に設定すると、ホームネットワーク上の他の UPnP 機器から、本機の **画像とビデオ**フォルダ内の共有に設定されたファイルを見たり、コピーしたりできるようになります。
- **画像とビデオ** - 他の機器と共有するメディアファイルの選択や、**画像とビデオ** の共有状況の確認をおこないます。
- **ミュージック** - 他の機器と共有する音楽ファイルの選択や、共有状況の確認をおこないます。
- フォルダのコンテンツを更新するには **オプション** > **コンテンツ更新** を選択します。

メディアファイルの利用と共有

本機で **ネットワークでの公開** を **電話機公開** に設定している場合、**ｺﾝﾃﾝﾂ共有** で共有に設定した本機のメディアファイルに、ホームネットワーク上の他の UPnP 対応機器からアクセスできます。他の機器が本機のファイルにアクセスできないようにするには、**ネットワークでの公開** を **電話機非公開** に設定します。本機で **ネットワークでの公開** を **電話機非公開** に設定した場合でも、ホームネットワーク上の他の機器の共有に設定されたメディアファイルを見ることができます。

本機に保存されているメディアファイルを、他の UPnP 機器で見る機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

他の機器に保存されているメディアファイルを見る

ホームネットワーク上の他の機器に保存されているメディアファイルを選択し、本機で見るには、次の設定をおこないます。

1 **> ツール > 外部接続 > ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ > ﾎｰﾑﾈｯﾄﾌﾞﾗｳｽﾞ の順に選択**

   他の互換性のある機器の検索を開始し、機器の名前が表示されます。

2 **一覧から機器を選択**

3 **選択した機器で見たいメディアの種類を選択**

   表示されるファイルの種類は機器によって異なります。

4 **メディアファイル、またはフォルダを選択し、オプション > 表示、または 再生 を選択**

5 **電話機、または ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸ経由 を選択**

   - **ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸ経由** を選択した場合の機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

メディアファイルの共有を停止するには、**オプション** > **停止**、または **戻る** を選択します。

ファイル形式や無線 LAN ネットワークの接続形態などによっては、ファイルの表示や再生ができない場合があります。

別の条件でファイルを検索するには、**オプション** > **検索** を選択します。ファイルの検索結果の表示順を並べ替えるには、**オプション** > **並べ替え** を選択します。機器によっては、このオプションが表示されない場合があります。

メディアファイルのコピー

本機のファイルをコピー / 転送する機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。

他の機器のファイルを本機へコピーする

1 **> ツール > 外部接続 > ﾎｰﾑﾒﾃﾞｨｱ > ﾎｰﾑﾈｯﾄﾌﾞﾗｳｽﾞ の順に選択**

他の互換性のある機器の検索を開始し、機器の名前が表示されます。

2 一覧から機器を選択

3 メディアの種類 > コピーするファイルを選択

4 オプション > コピー を選択

設定 > **コピー先** で指定したコピー先にファイルがコピーされます。

- **ｺﾝﾃﾝﾂ共有** をオンにする必要はありません。

シェアオンライン

互換性のあるオンラインアルバムやブログなどオンラインシェアリングサービスを利用して、画像やビデオファイルをウェブ上で共有することができます。コンテンツのアップロード、下書きの保存または編集、アルバムコンテンツの閲覧などができます。サービスプロバイダによって、サポートされるコンテンツタイプが異なる場合があります。サポートされるファイルタイプを確認する場合は、**オプション** > **サービス情報** を参照します。

はじめに

コンテンツをオンラインで共有するには、オンラインシェアリングサービスプロバイダのサービスに加入する必要があります。サービスプロバイダのウェブページからサービスの申し込みができる場合があります。サービス加入についての詳細は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

初めてシェアオンラインアプリケーションを使用する際、サービスのアカウントユーザ名とパスワードの設定を求められます。後で設定をおこなう場合は、**ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ** > **オプション** > **設定** を選択し、アカウントの設定をおこなうことができます。

利用可能なサービスを確認する

1 **> アプリ > ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ を選択**

オンライン接続する確認メッセージが表示されます。

2 **はい** **を選択**

利用可能なサービスが表示されます。

- アクセスポイント選択画面が表示された場合、利用可能なアクセスポイントを選択します。

アカウントを設定する

シェアオンラインアプリケーションを使用するには、ユーザ名とパスワードの設定をおこないます。サービスプロバイダによっては、新規アカウントの作成方法が異なる場合があります。

1 **> アプリ > ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ を選択**

2 **オプション > 新規アカウント追加 を選択**

3 **サービスプロバイダを選択**

ユーザ名とパスワードを確認するメッセージが表示されます。

- **サービス更新** を選択し、利用可能な新規サービスを確認することもできます。

4 **OK を選択**

5 **アカウント情報を設定 > 戻る**

新規アカウント追加を確認するメッセージが表示されます。

6 **OK を選択**

ウェブに投稿する

1 **> ｷﾞｬﾗﾘｰ > 画像とビデオ > オプション > 送信 > Web に投稿 > 投稿先 からサービスを選択**

投稿編集画面が表示されます。

- カメラアプリケーションからサービスにアクセスすることもできます。

2 **投稿画面 > ファイル選択 > オプション を選択**

次の項目を設定できます。

- **Web に投稿** - 選択したサービスへのアップロードを開始します。
- **移動** - ファイルが複数ある場合にファイルの並べ替えをします。
- **テキスト追加** - ファイルにキャプションを追加します。
- **挿入** または **新規アイテム挿入** - 保存済みのファイルを選択するか、新しいファイルを取得して挿入します。
- **削除** - 投稿からファイルを削除します。
- **詳細情報表示** - 選択したファイルに関する情報を表示します。
- **画像表示** - 投稿する画像ファイルを表示します。
- **設定** - シェアオンラインの設定をします。

投稿画面ではサービスプロバイダでサポートされている場合のみ、次の編集をおこなうことができます。

- タグを追加するには、**タグ：**フィールドにスクロールして追加します。
- メディアファイルのプライバシーレベルを設定するには、**表示：**フィールドまでスクロールし、**デフォルト**、**パブリック** または **プライベート**を選択します。

3 Web に投稿 を選択

- 開始キーを押して投稿することもできます。
- アクセスポイント選択画面が表示された場合、利用可能なアクセスポイントを選択します。
- ウェブへの投稿をキャンセルし、作成したアイテムを下書きとして保存するには、**キャンセル** ＞ **下書きとして保存** を選択します。下書きは、 ＞ **アプリ** ＞ **ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ** ＞ **オプション** ＞ **送信ボックス** に保存されます。

サービスプロバイダによって使用できるオプションは異なります。

投稿アイテムを管理する

オンラインサービスを利用して、投稿した画像やビデオを参照したり、電話機に保存された下書きや送信したアイテムを確認したりできます。

1 > アプリ > ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ > オプション を選択

次の操作をおこなうことができます。

Web を開く [サービス名] - 選択したサービスに接続し、投稿したアイテムをウェブ上で参照します。

新規投稿 - オンラインアルバムへの新しい投稿を作成します。

最近の投稿 - 最近投稿された画像やビデオを表示します。

送信ボックス - 送信待ちになっている投稿や下書きとして保存された投稿の表示や管理をおこないます。

デフォルトに設定 - サービスに接続する際にアカウントをデフォルトとして設定します。

サーバから更新 - サービスの取得を開始します。

サービス情報 - サービスがサポートするファイルタイプなどを表示します。

開始 - 選択したサービスを有効にします。

編集 - アカウント設定を編集します。

削除 - アカウント情報を削除します。

新規アカウント追加 - 選択したサービス用に新しいアカウントを作成します。**サービス更新** を選択し、利用可能なサービスプロバイダのリストを更新することもできます。

設定 - シェアオンラインの設定を編集します。

サービスプロバイダによって使用できるオプションは異なります。

シェアオンライン設定

> アプリ > ｼｪｱｵﾝﾗｲﾝ > オプション > 設定

サービスプロバイダ

サービスプロバイダのリストが表示され、サービスの詳細を確認することができます。サービスプロバイダがサポート対象とする画像やビデオのフォーマットなどの詳細を表示する場合は、サービスを選択して ■ を押します。

選択したサービスプロバイダを削除するには、**オプション** > **削除** を選択します。

「利用可能なサービスを確認する」(P.148) でダウンロードされたサービスプロバイダの設定は変更できません。

マイアカウント

既存アカウントの編集や新規アカウントの作成をおこなうことができます。サービスプロバイダによっては、新規アカウントの作成方法が異なる場合があります。

1 既存アカウント > オプション > 編集 を選択

- 新規アカウントを作成する場合は、**オプション** > **新規アカウント追加** を選択します。

アカウント名 - お好きなアカウント名を入力します。

ユーザ名 と **パスワード** - オンラインサービスに加入したときに作成したアカウントのユーザ名とパスワードを入力します。

画像投稿サイズ - サービスに投稿される画像のサイズを選択します。

アプリケーション設定

表示画像サイズ - 投稿画面に表示される画像サイズを選択します。この設定は投稿先の画像サイズには影響しません。

表示文字サイズ - 投稿画面の文字サイズを選択します。

詳細設定

ダウンロード間隔 と **ﾛｰﾐﾝｸﾞ中のﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ** はフィード機能に対応しているサービスのみ有効です。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ - サービス接続に使用するアクセスポイントを選択します。

ダウンロード間隔 - サービスからコンテンツを更新する頻度を設定します。

ﾛｰﾐﾝｸﾞ中のﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ - ローミング中にサービスからコンテンツを自動的に更新するには **有効** を選択します。加入しているサービスのネットワークエリア外でコンテンツを更新すると料金が高くなる場合があります。

画像ﾃﾞｰﾀをすべて公開 - すべての画像データを自動的に公開するには **有効** を選択します。

メディア プレーヤー

本機には、ミュージックプレーヤー、RealPlayer、Flash プレーヤーの３種類のメディアプレーヤーが搭載されています。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを利用して、音楽ファイルを再生したり、プレイリストを作成し、登録した音楽ファイルを再生したりすることができます。

ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｰﾔｰ は AAC、AAC+、eAAC+、MP3、WMA といった形式のファイルをサポートしています。ただし、すべてのファイル形式や、ファイル形式の全変種に対応しているわけではありません。

ミュージックプレーヤーを利用してポッドキャストを聞くことができます。ポッドキャスティングとは、RSS や ATOM 技術を使用し、インターネットを介してオーディオやビデオコンテンツを配信し、携帯機器や PC で再生できる仕組みのことです。(「エピソードを再生する」P.164)

警告：音楽を聞く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聞き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。ラウドスピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

本機への音楽ファイル追加については、「音楽ファイルの転送」(P.158) を参照してください。

著作権保護については、「著作権管理」(P.231) を参照してください。

■ 音楽ファイル / ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄｴﾋﾟｿｰﾄﾞを再生する

1 > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > **ミュージック** または ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ **を選択**

補足：背後へ を選択すると１つ前の画面に戻ります。アプリケーションは終了しません。

2 メニューからフォルダを選択

3 再生する音楽ファイル、またはポッドキャストエピソードを選択し、◉ を押す

4 ミュージックプレーヤーを終了するには、オプション > 終了 を選択

キー操作

機能	操作
前後のファイルを再生	◧ または ◨ を押す

機能	操作
早送り	を長く押す
巻き戻し	を長く押す
停止	を押す
一時停止	を押す
音量を調整	音量調節キー または を押す

再生中にできること

音楽ファイルを再生中、あるいはミュージックプレーヤーの表示画面から、再生モードを設定したり、再生中の音楽を着信音に設定したりすることができます。

再生しながら待受画面に戻る

1 音楽ファイルを再生中に終了キーを押す

待受画面に戻ります。

- 再生中に を 2 回押しても待受画面に戻ります。 を長く押し、他の起動中のアプリケーションを選択することもできます。

補足： 待受画面からミュージックプレーヤーに戻るには、 > **ミュージック** > **ミュージック** を選択してください。

再生モードの選択

ランダム再生と繰り返し再生を選択することができます。ポッドキャストを再生する場合、**シャッフル** や **繰り返し** が自動的に **オフ** になります。

ランダム再生

1 オプション > シャッフル > オン の順に選択

繰り返し再生

1 オプション > 繰り返し を選択

次の種類を選択することができます。

- **すべて繰り返し** - プレイリストにある音楽ファイルを繰り返し再生します。
- **1 曲繰り返し** - 選択した 1 曲を繰り返し再生します。
- **オフ**

アイコン

- - すべて繰り返し
- - 1 曲繰り返し
- - シャッフル

イコライザ

周波数プリセットを選択し、音楽ファイル再生時の音質を変更することができます。

1 **オプション > イコライザ > 設定するプリセットを選択 > > 使用開始 の順に選択**
- プリセットを編集するには、編集するプリセット > **オプション** > **編集** の順に選択し、グラフィックイコライザを調節します。
- 新規プリセットを作成するには、**オプション** > **新規プリセット** > プリセット名を入力 > **OK** を選択します。

オーディオ設定

バランス、**ラウドネス**、**サラウンド** を変更することができます。

1 **オプション > オーディオ設定 を選択**

視覚化

音楽ファイルの再生中にビジュアライゼーションを表示することができます。

1 **オプション > 視覚効果表示 > 視覚効果を選択**

プレイリストに追加する

「プレイリストに音楽ファイルを追加する」(P.156)を参照してください。

着信音に設定する

着信音に設定できない音楽ファイルもあります。

1 **オプション > 着信音に設定 を選択**

メッセージが表示され、現在使用中のモードの音声電話着信音が変更されます。

■ ミュージックライブラリを利用する

> **ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ミュージック**

ミュージックプレーヤーの音楽ファイルは、ミュージックライブラリに保存されます。ミュージックライブラリからミュージックリストを作成し、リストに音楽ファイルを追加したり、削除したりすることができます。

再生中 画面からミュージックライブラリを開くには、**オプション** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸﾒﾆｭｰを開く** を選択します。

ミュージックライブラリが表示されます。ミュージックライブラリは次のフォルダで構成されています。

- **すべての曲** - 本機に保存されているすべての音楽ファイルがリストされます。
- **プレイリスト** - 作成したプレイリストごとに表示します。
- **アーティスト** - アーティストごとに表示します。
- **アルバム** - アルバムごとに表示します。
- **ジャンル** - ジャンルごとに表示します。
- **作曲者** - 作曲者ごとに表示します。

ミュージックライブラリを更新する

ミュージックライブラリに音楽ファイルを追加したり、削除したりした場合は、ライブラリを更新します。

1 > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **オプション** > **更新** を選択

更新が完了するとメッセージが表示されます。

ミュージックライブラリの詳細を表示する

1 ミュージックライブラリで、オプション > ﾐｭｰｼﾞｯｸﾗｲﾌﾞﾗﾘ詳細 を選択

ミュージックライブラリ詳細リストに **曲数**、**時間**、**電話機メモリ**、**メモリカード** (メモリカードが挿入されている場合)、**更新** の日付が表示されます。

音楽ファイルを削除する

ミュージックライブラリに音楽ファイルを追加したり、削除したりした場合は、ライブラリを更新してください。(「ミュージックライブラリを更新する」P.156)

1 すべての曲 を選択 > > 削除するファイルを選択

2 オプション > 削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 はい を選択

プレイリスト

自分の好きな曲をプレイリストに登録し、再生することができます。

> **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ミュージック** > **プレイリスト**

プレイリストには、新規で追加したプレイリストの他に次のリストが表示されます。

- **再生回数最多曲**
- **最近再生した曲**
- **追加履歴**

プレイリストを作成する

1 オプション > 新規プレイリスト作成 を選択

2 プレイリスト名を入力し、OK を選択

音楽ファイルを追加するかどうか確認のメッセージが表示されます。**はい** を選択すると、プレイリストに追加するファイルの選択画面が表示されます。

補足 : メモリカードが挿入されている場合、プレイリストはメモリカードに保存されます。

プレイリストに音楽ファイルを追加する

1 音楽ファイルを追加するプレイリストを開く > オプション > 曲の追加 を選択

ミュージックフォルダに保存されている音楽ファイルのアーティスト名の一覧が表示されます。アーティストを選択し、▢を押すと、そのアーティストの音楽ファイルの一覧が表示されます。▢を押すと、一覧を非表示にします。

2 リストから追加するファイルを選択 > ■ を押す

3 完了 を選択

プレイリストにファイルが追加されます。

プレイリストの再生順を変更する

1 再生順を変更するプレイリストを選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

2 再生順を変更したいファイルを選択 > オプション > リスト整理 を選択

ファイルが選択されます。

3 ▢ または ▢ でファイルを移動 > 保存 を選択

再生順が変更されます。

- 続けて再生順を変更する場合は、変更するファイル > **選択** > ファイルを移動 > **保存** を選択します。

4 完了 を選択

プレイリストから音楽ファイルを削除する

1 音楽ファイルを削除するプレイリストを選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

2 削除する音楽ファイルを選択 > オプション > 削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

3 はい を選択

プレイリストからファイルが削除されます。

プレイリストを削除する

この操作で削除されるのはプレイリストのみで、プレイリスト内の音楽ファイルは本機からは削除されません。

1 削除するプレイリストを選択 > オプション > 削除 を選択

削除を確認するメッセージが表示されます。

- 削除するプレイリストを選択して、C を押しても削除できます。

2 はい を選択

その他の設定

ミュージックライブラリにあるすべての曲フォルダから、音楽ファイルを削除したり、整理したり、着信音に設定したりすることができます。

1 ♫ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ミュージック > すべての曲 の順に選択

音楽ファイルのリストが表示されます。

2 オプション を選択

次の機能を利用することができます。

- **「再生中」を開く** - 再生中の操作画面が開きます。
- **再生** - ホームネットワークが設定されている場合に表示されます。この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。
- **送信** - **MMS**、**E-mail**（設定してある場合)、**Bluetooth**、**Web に投稿** を利用してファイルを送信します。**Web に投稿** については「オンラインでファイルを共有する」(P.142) を参照してください。
- **ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸにｺﾋﾟｰ** - ホームネットワークが設定されている場合に表示されます。この機能に対応しているソフトウェアは同梱されておりません。
- **削除**
- **マーク / マーク解除**
- **曲の詳細** - 音楽ファイルの詳細情報を確認します。
- **アルバムアート** - トラックごとに再生中画面に表示する画像を選択することができます。

音楽ファイルの転送

■ 音楽を転送する

本機と互換性のある USB ケーブルや Bluetooth 接続を使用して、互換性のある PC や他の対応機器から音楽を転送することができます。Bluetooth については、「Bluetooth 接続」(P.203) を参照してください。

本機のミュージックセレクションを変更した後にライブラリを更新するには、ミュージックメニューで、**オプション** > **更新** を選択します。

音楽の転送に必要な PC の環境は次のとおりです。

- Microsoft Windows XP オペレーティングシステム (または Microsoft Windows XP 以降)
- Windows Media Player アプリケーション対応バージョンであること。
- Nokia Nseries PC Suite をご使用の場合は、同梱の DVD-ROM からインストール。
- Windows Media Player 10 をご利用の場合、WMDRM で保護されたファイルを本機に同期して再生しようとすると、再生に時間がかかる場合があります。Windows Media Player 10 の修正プログラムや互換性のある最新の Windows Media Player については Microsoft のサポートページを参照してください。

■ PC から音楽を転送する

音楽の転送には、次の 3 つの方法があります。

- 本機を外付けハードドライブとして PC に表示し、本機対応 USB ケーブル、または Bluetooth 接続を使用してデータファイルを転送します。USB ケーブルを使用する場合は、接続モードに **データ**

転送 を選択します。本機対応のメモリカードを本機に挿入する必要があります。

・ 音楽データを Windows Media Player と同期します。同期するには、本機対応 USB ケーブルを接続し、接続モードに **ﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｰﾔｰ** を選択します。本機対応のメモリカードを本機に挿入する必要があります。
・ Nokia Nseries PC Suite の Nokia Music Manager を使用します。本機対応 USB ケーブルを接続し、接続モードに **PC Suite** を選択します。

メモリカードにファイルを転送する場合、**データ転送** または **ﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾚｰﾔｰ** を選択します。

デフォルトの USB 接続モードを変更するには、 > **ツール** > **外部接続** > **USB** > **USB モード** の順に選択します。

Windows Media Player と Nokia Nseries PC Suite の Nokia Music Manager は、音楽ファイルを転送するのに最適化されています。Nokia Music Manager での音楽の転送については、Nokia Nseries PC Suite のヘルプを参照してください。

Windows Media Player で音楽を転送する

音楽データを同期する機能は、Windows Media Player アプリケーションのバージョンによって異なります。詳しくは、Windows Media Player のユーザーガイドやヘルプを参照してください。本機とのご利用は Windows Media Player 11 が推奨されます。本書では Windows Media Player 11 の操作手順を記載しています。WMDRM の音楽を本機に転送する際は、Windows Media Player との同期をご利用下さい。

手動で同期する

本機と互換性のある PC を接続し、本機のメモリが不足している場合は、Windows Media Player は、自動的に手動同期を選択します。手動で同期するには、移動、コピー、または削除する音楽やプレイリストを選択します。

1 **本機を Windows Media Player と接続後、本機の他に接続されている機器がある場合は、右枠の機器リストから本機を選択**
2 **左側のナビゲーション枠で、PC に保存されている音楽ファイルから同期するファイルを選択**
3 **同期する音楽ファイルを右の「同期リスト」にドラッグしてドロップ**
   • 本機の利用可能なメモリ容量が「同期リスト」の上に表示されます。
4 **音楽やアルバムを削除する場合は、「同期リスト」から削除するアイテムを選択 > 右クリック > 「リストから削除」を選択**
5 **「同期の開始」をクリックして同期を開始**

自動で同期する

1 Windows Media Player で自動同期をおこなうには、「同期」タブをクリックし、接続した電話機名 > 「同期の設定」を選択し、「このデバイスを自動的に同期させる」チェックボックスにチェックを付ける

2 「使用可能な再生リスト」枠で、自動で同期したいプレイリストを選択し、「追加」をクリック

選択したアイテムは、「同期させる再生リスト」枠に移動します。

3 自動同期を終了するには、「完了」をクリック

「このデバイスを自動的に同期させる」チェックボックスが選択されている状態で本機を接続すると、Windows Media Player で選択したプレイリストの情報を基に本機のミュージックライブラリが自動的に更新されます。

プレイリストが選択されなかった場合は、すべての PC ミュージックライブラリが同期のために選択されます。PC ミュージックライブラリには、本機のメモリや本機に挿入されているメモリカードの容量以上の音楽ファイルが保存されている場合があるので注意してください。

自動同期を中止するには、「同期」タブをクリックし、接続した電話機名 > 「同期の中止」を選択します。

Nokia Podcasting

■ はじめに

Nokia Podcasting(ネットワークサービス) では、パケット通信や無線 LAN を使用してポッドキャストの検索や申し込み、ダウンロードをおこなうことができます。また、本機で音声や動画ポッドキャストを再生、管理、共有することができます。

警告：音楽を聞く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聞き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。ラウドスピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

> **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **Podcasting**

- ミュージックプレーヤーアプリケーションを使用して、ダウンロードしたエピソードの再生や管理をおこなうこともできます。
- **Podcasting** を終了する場合は、必ず **オプション** > **終了** を選択します。
- ネットワーク接続を切断するには、**Podcasting** のメイン画面で、**オプション** > **切断** を選択します。
- 国内でポッドキャストのサイトが検索されない場合は、英語で検索すると海外のサイトが検索されます。

■ 設定

Nokia Podcasting を利用する前に、**接続** と **ダウンロード** の設定をおこないます。

利用可能な無線 LAN を検索する

1 > **ツール** > **外部接続** > **接続状況** > **有効な WLAN** を選択

2 **オプション** > **ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ定義** を選択

接続には無線 LAN（WLAN）が推奨されます。他の接続を使用する前に、条件とデータサービス料金についてサービスプロバイダにお問い合わせください。例えば、定額データプランでは、1 か月分の料金で大量のデータ転送が可能な場合があります。

接続設定

1 **オプション** > **設定** > **接続** を選択

次の設定をおこなうことができます。

- **ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - インターネットに接続するアクセスポイントを選択します。利用可能なアクセスポイントを選択します。
- **サービス URL 検索** - **検索** で使用するポッドキャスト検索サービスを設定します。(「検索」P.162)

ダウンロード設定

1 **オプション** > **設定** > **ダウンロード** を選択

次の設定をおこなうことができます。

- **保存先** - ポッドキャストの保存先を設定します。保存領域を最適に利用するために、メモリカードへの保存が推奨されます。
- **更新間隔** - ポッドキャストを更新する頻度を設定します。
- **次回更新日** - 次回ポッドキャストを自動更新する日付を指定します。
- **次回更新時刻** - 次回ポッドキャストを自動更新する時間を指定します。特定のデフォルトアクセスポイントが選択され、Nokia Podcasting が起動している場合にのみ、自動更新がおこなわれます。Nokia Podcasting が起動していない場合、自動更新はおこなわれません。
- **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ制限 (%)** - ポッドキャストのダウンロードに使用するメモリサイズを、選択した保存先の全容量に対する割合（%）で指定します。
- **上限を超える場合** - ポッドキャストのダウンロードで **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ制限 (%)** を超えた場合におこなう処理を設定します。

ポッドキャストを自動的に取得する設定の場合、サービスプロバイダのネットワークを介して大量のデータ送信がおこなわれます。接続には無線 LAN（WLAN）が推奨されます。料金については、サービスプロバイダにお問い合わせください

デフォルト設定に戻す

1 **オプション > 設定 > オプション > デフォルトに戻す を選択**
確認のメッセージが表示されます。

2 **はい を選択**

■ 検索

キーワードやタイトルでポッドキャストを検索することができます。

ポッドキャストを登録する

1 **検索 > 検索するキーワードを入力 > OK を選択**
• **サービス URL 検索** で指定した検索サービスを使用します。(「接続設定」P.161)

補足：ポッドキャストを検索する場合、一般的なキーワードを使用することをおすすめします。例えば、特定のチーム名やアーチスト名をキーワードにするより、「フットボール」、「ヒップホップ」など一般的なキーワードで検索したほうが、ヒットする件数が多くなります。

2 **登録するポッドキャスト > オプション > 登録 を選択**
確認のメッセージが表示されます。
• 複数のポッドキャストを一度に登録することもできます。(「マークをつける」P.34)

3 **はい を選択**
• 登録されたポッドキャストは、メイン画面の **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** フォルダからダウンロードや管理、再生をおこなうことができます。

次の設定をおこなうことができます。

・ **新規検索** - 検索を開始します。
・ **Web ページを開く**（ネットワークサービス）- ポッドキャストのウェブサイトを表示します。
・ **説明** - ポッドキャストの詳細を表示します。
・ **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄに移動** - 視聴可能な登録済みのポッドキャストが表示されます。(「ポッドキャスト」P.163)
・ **送信** - 選択したポッドキャストを他の互換性のある機器に送信します。

表示されるオプションは、状況によって異なります。

■ ディレクトリ

ディレクトリを利用して、新しいポッドキャストを探すことができます。

ポッドキャストを登録する

1 **ディレクトリ > ディレクトリフォルダを選択 > ◉ を押す**
選択したディレクトリフォルダが更新されます。(ネットワークサービス)

- 更新が完了するとフォルダの色がグレーから黄色に変わります。
- ディレクトリには、人気順にリストされたポッドキャストやテーマ別のフォルダが含まれます。

2 ▣ を押し、フォルダを開く

3 登録するポッドキャスト > オプション > 登録 を選択

確認のメッセージが表示されます。

4 はい を選択

- 登録されたポッドキャストは、メイン画面の ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ フォルダからダウンロードや管理、再生をおこなうことができます。

次の設定をおこなうことができます。

・ **新規** - **Web ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ** または **フォルダ** を追加することができます。**Web ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ** には、.opml(Outline Processor Markup Language) の URL を入力する必要があります。

・ **編集** - ディレクトリやフォルダ、ウェブリンクを編集します。

・ **送信** - MMS や Bluetooth 接続を利用してディレクトリフォルダを送信します。

・ **OPML ﾌｧｲﾙｲﾝﾎﾟｰﾄ** - 本機に保存してある .opml ファイルをインポートします。

Bluetooth 接続などで .opml ファイルを受信した場合、**受信** フォルダにファイルを保存します。ポッドキャストを選択し ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ に登録します。

■ ポッドキャスト

検索やディレクトリまたは URL から登録したポッドキャストの一覧が表示されます。

ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ では、エピソードの管理、ダウンロード、再生をおこなうことができます。

ポッドキャストを管理する

ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ > オプション

次のオプションを選択して、ポッドキャストを管理します。表示されるオプションは、状況によって異なります。

・ **更新** - ポッドキャストのリストを更新して、新しいエピソードを確認します。リストの更新を中止するには、**更新中止** を選択します。

・ **新規ポッドキャスト** - URL を入力して、新規ポッドキャストを登録します。

・ **編集** - ポッドキャストの URL を編集します。

・ **削除** - ポッドキャストとそのエピソードを削除します。

・ **送信** - MMS や Bluetooth 接続を使用して、ポッドキャストを .opml ファイル形式で互換性のある他の機器に送信します。

・ **マーク / マーク解除** - 複数のポッドキャストにマークをして、一度に更新、削除、送信などをおこなうことができます。(「マークをつける」P.34)

- **詳細** - ポッドキャストの詳細情報を表示します。
- **Web ページを開く** - ポッドキャストのウェブサイトを開きます。(ネットワークサービス)
- **コメント表示** - コメントや投票などポッドキャストの作成者とインターネットを通じて、対話ができるポッドキャストもあります。

アクセスポイントを設定していない場合や、パケットデータ接続中にユーザ名とパスワード入力が表示された場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

エピソードの管理

ポッドキャストのエピソードとは、番組の第 1 話、第 2 話などに相当します。ポッドキャストを登録すると、エピソードの一覧を見ることができます。

エピソードをダウンロードする

1 ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ > ポッドキャストのタイトルを選択 > ■ を押す

エピソードタイトル一覧が表示されます。

- エピソードのファイルサイズなど詳細情報を参照することができます。

2 エピソードのタイトルを選択 > オプション > ダウンロード を選択

ダウンロード中はエピソードのアイコンがグレーから白に変わり、ダウンロードが完了すると黄色に変わります。

- マークをつけて、同時に複数のエピソードをダウンロードすることもできます。

次のオプションが利用できます。表示されるオプションは、状況によって異なります。

- **ダウンロード中止** / **ダウンロード続行** - ダウンロードを中止したり、続行することができます。
- **プレビュー再生** - ダウンロード中または、ダウンロードを中止したエピソードの一部を再生します。
- **ダウンロード削除** - ダウンロードしたエピソードを削除します。
- **新ｱｲﾃﾑとしてﾏｰｸ** / **旧ｱｲﾃﾑとしてﾏｰｸ** - エピソードを新 / 旧アイテムとしてマークをつけると、アイコンの色が変わります。

ダウンロードを完了したポッドキャストは、 > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾐｭｰｼﾞｯｸ** > **ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ** フォルダに保存されます。必要に応じてミュージックライブラリを更新してください。(「ミュージックライブラリを更新する」P.156)

ビデオポッドキャストは、 > **ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** > **マイビデオ** から再生することができます。(**マイビデオ** から再生できないビデオポッドキャストもあります。)

エピソードを再生する

1 ダウンロードしたエピソード > オプション > 再生 を選択

ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌﾟﾚｰﾔｰでエピソードを管理する

1 > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾐｭｰｼﾞｯｸ > ﾎﾟｯﾄﾞｷｬｽﾄ > ダウンロードしたエピソード > を押す

選択したカテゴリによってエピソードリストが表示されます。

- 必要に応じてミュージックライブラリを更新してください。
- エピソードリストでは、エピソードごとに未再生、一部再生、再生済み、の 3 種類の状態を表すアイコンが表示されます。エピソードが一部再生の状態である場合、次回再生時には、前回再生を終了したところから開始されます。

ビデオセンタ

はじめに

ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ (ネットワークサービス) では、パケット通信や無線 LAN を利用して、互換性のあるインターネットビデオサービスのビデオクリップをダウンロードしたり、ストリーム再生したりすることができます。互換性のある PC から本機へビデオクリップを転送し、ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ で再生することもできます。

ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ は **RealPlayer** でサポートしているファイル形式と同じファイル形式をサポートしています。(「RealPlayer」P.168) デフォルトで、ビデオクリップはランドスケープモードで再生されます。本機にサービスがあらかじめ設定されている場合があります。

サービスプロバイダが提供するコンテンツには、無料と有料のものがあります。料金については、サービスで確認するか、または各サービスプロバイダにお問い合わせください。

ビデオセンタでビデオを再生中に他のアプリケーションを起動すると、起動したアプリケーションが正常に動作しない場合があります。ビデオセンタを終了してから他のアプリケーションを起動してください。

> ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ

ビデオの検索と再生

1 ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ > 接続したいビデオサービスを選択

サービスに接続すると、利用可能なコンテンツが表示されます。

2 、 を押し、タブを選択(利用可能な場合)

カテゴリ別にビデオを表示します。

- ビデオの情報を表示するには、**オプション** > **ビデオ詳細** を選択します。

3 オプション > ダウンロード を選択

- ストリーム再生できるビデオクリップと、本機にダウンロードしてから再生するビデオクリップがあります。
- ダウンロードを中止するには、**オプション** > **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｷｬﾝｾﾙ** を選択します。
- ダウンロード中にアプリケーションを終了しても、ダウンロードはバックグラウンドでおこなわれます。
- ダウンロードしたビデオは、**ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** の **マイビデオ** に保存されます。

4 オプション > 再生 を選択

- ビデオクリップの再生中の制御は、左右ソフトキーや決定キーを使用しておこないます。
- 本機側面の音量調節キーを使用して音量を調整します。

新規サービス追加

インターネットに接続し、利用可能なサービスをブラウズして **ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** のメイン画面に追加することができます。

1 、 を押し、新規サービス追加 を選択

2 はい を選択し、サーバに接続

3 サービスを選択

インターネットビデオ

インターネットビデオは、RSS ベースのフィードを使用して、配信されたビデオクリップです。設定を利用して、新しいフィードを **インターネットビデオ** に追加することができます。(「設定」P.168)

1 ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ > インターネットビデオ を選択

フィードが表示されます。

- フィードの追加や削除をおこなうには、**オプション** > **フィード登録** を選択します。

2 フィードを選択し、 を押す

ビデオが表示されます。

- ビデオの詳細情報を表示するには、**オプション** > **ビデオ詳細** を選択します。

3 ビデオを選択し、オプション > ダウンロード を選択

- ダウンロードしたビデオを再生するには、決定キーを押します。

ダウンロードしたビデオの再生と管理

ダウンロードしたビデオやダウンロード中のビデオは **ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** の **マイビデオ**に保存されます。ダウンロードしたビデオを再生するには、決定キーを押します。

ダウンロードしたビデオをホームネットワークで再生する場合は、**オプション** > **ﾎｰﾑﾈｯﾄﾜｰｸ経由で表示** を選択します。ホームネットワークがあらかじめ設定されている必要があります。(「ホームメディア」P.145)

ビデオクリップ再生中の操作

ビデオクリップの再生中は、左右ソフトキーと決定キーで制御することができます。

音量の調節には、音量調節キーを使用します。

ビデオクリップを保護する

本機のメモリや互換性のあるメモリカードの空き容量が足りない場合、新しいビデオクリップをダウンロードすると、一番古い再生済みのビデオを自動的に削除します。 は削除予定のビデオを示します。次の操作で自動的に削除されるのを防ぐことができます。

1 **保護するビデオクリップ > オプション > 保護 を選択**

ビデオクリップの左上には が表示されます。

- 保護を解除するには、**オプション** > **保護解除** を選択します。

ビデオクリップを削除する

1 **削除するビデオクリップ > オプション > 削除 を選択**

確認のメッセージが表示されます。

2 **はい を選択**

ビデオクリップを移動する

1 **移動するビデオクリップ > オプション > 整理 を選択**

2 **新規フォルダ、電話機ﾒﾓﾘにｺﾋﾟｰ / ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞにｺﾋﾟｰ、または 電話機メモリへ移動 / メモリカードへ移動 を選択**

PC からビデオを転送する

互換性のある機器から USB データケーブルを使用して、ビデオクリップをビデオセンタへ転送することができます。

互換性のある PC から本機に挿入されているメモリカードへビデオクリップを転送します。

1 **互換性のある USB データケーブルで本機と PC を接続**

- 本機は、PC 上で外部ハードディスクとして表示されます (E:\) として表示されます。
- 事前に本機にはメモリカードが挿入されている必要があります。

2 **データ転送 を選択**

3 PC から転送するビデオを選択

4 メモリカード（E:\My Videos フォルダ）に転送

- 転送されたビデオクリップは、**ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** > **マイビデオ** に保存されます。

■ 設定

ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ > **オプション** > **設定**

ビデオサービス選択 - **ﾋﾞﾃﾞｵｾﾝﾀ** のメイン画面に表示されるビデオサービスを設定します。各ビデオサービスの詳細を参照することもできます。サービスによっては、サービスプロバイダから受信したユーザ名とパスワードが必要な場合があります。

ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ - データ接続に使用するアクセスポイントを選択します。ファイルのダウンロードにパケットデータアクセスポイントを利用すると、サービスプロバイダのネットワーク上で大容量のデータ転送が必要な場合があります。接続には無線 LAN（WLAN）が推奨されます。

ﾍﾟｱﾚﾝﾀﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ - 未成年がビデオセンタのアダルトコンテンツを閲覧できないように設定することができます。

優先するメモリ - ダウンロードしたビデオクリップを、本機のメモリ、または互換性のあるメモリカードのどちらに保存するかを選択します。選択したメモリがいっぱいになった場合、他のメモリが利用可能な場合は、他のメモリにコンテンツを保存します。他のメモリにも空きスペースがない場合、既に再生したビデオクリップの一番古いものを自動的に削除します。

画像 - ビデオサービスのビデオリストで、サムネイル画像を表示するかどうかを選択します。

RealPlayer

RealPlayer では、ビデオクリップなどを再生することができます。ウェブ上のストリーミングコンテンツを、本機に保存せずに再生することも可能です。

RealPlayer は .3gp、.mp4、.rm といった拡張子のファイルに対応しています。ただし、すべてのファイル形式や、ファイル形式の全変種に対応しているわけではありません。

■ ビデオファイルや音楽ファイルを再生する

電話機メモリ、あるいは互換性のあるメモリカード（電話機に挿入されている場合）に保存されているメディアファイルを RealPlayer で再生することができます。

ギャラリーからメディアファイルを再生する手順については、「ギャラリー」(P.133) を参照してください。

1 > **アプリ** > **メディア** > **RealPlayer** **の順に選択**

2 **オプション** > **開く** > **保存ファイルから** **の順に選択**

- **最近使ったファイル** を選択すると、最近再生したファイルのリストから再生できます。最近再生したファイルリストが画面に表示されます。

3 **電話機メモリ** **または** **メモリカード** **を選択** > **OK** **を選択**

フォルダが表示されます。

4 **フォルダを開き、再生するメディアファイルを選択** > **を押す**

メディアファイル再生時の操作

機能	操作（RealPlayer からの再生時）
早送り	を長く押す
巻き戻し	を長く押す
消音	が画面に表示されるまで音量調節キー を長く押す
音声復帰	が画面に表示されるまで音量調節キー を長く押す
音量調節	音量調節キー 、または を押す

補足：ビデオクリップを全画面表示するには、 2 を押します。もう一度押すと、元のサイズ（標準画面表示）に戻ります。

ストリーミング再生

RealPlayer は rtsp:// という URL を選択すると起動します。サイト上では、.ram ファイルへの http リンクを認識します。ストリーミングご利用中では一時停止した場合でも通信は継続されますのでパケット通信料が発生しています。

無線でストリーミング再生をおこなうには、ギャラリー、ウェブサイト、受信した SMS あるいは MMS に保存されているストリーミングリンクからアクセスしてください。ライブコンテンツのストリーミングを再生する前に、本機はサイトに接続してコンテンツの読み込みを開始します。コンテンツは本機には保存されません。

RealPlayer の設定

RealPlayer のオプション設定では、再生の繰り返しを設定するビデオ設定や、プロキシやネットワークの接続設定を選択することができます。

> **アプリ** > **メディア** > **RealPlayer** > **オプション** > **設定**

ビデオ設定

1 **ビデオ** **を選択**

次のオプションを選択することができます。

- **繰り返し** - **オン** を選択すると再生終了後、自動的にビデオの再生を繰り返します。

ストリーミング設定

プロキシ設定とネットワーク設定が可能です。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

1 ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞ を選択

プロキシ 設定

- **プロキシ使用** - プロキシサーバを利用するには **はい** を選択します。**はい** を選択すると、**ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽ** と**プロキシポート番号** の入力が可能になります

用語： プロキシサーバは、メディアサーバとユーザ間に位置する中間サーバです。サービスプロバイダによっては、映像ファイル、および音楽ファイルを含むブラウザページの表示時間を早くしたり、あるいは、セキュリティを強化するために利用する場合もあります。

ネットワーク 設定

- **ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** - ウェブ接続用のアクセスポイントをリストから選択します。
- **オンライン時間** - **ユーザ定義** を選択すると、ネットワークリンクを利用して再生したメディアクリップを一時停止した場合に、**RealPlayer** がネットワークからタイムアウトする時間を設定できます。時間を入力して **OK** を選択します。
- **最小 UDP ポート** - サーバのポート範囲から下限ポート番号を入力します。最小値は 1024 です。
- **最大 UDP ポート** - サーバのポート範囲から、上限ポート番号を入力します。最大値は 65535 です。

補足：ネットワークのバンド幅を設定するには、**オプション** > **詳細設定** を選択してください。

Flash プレーヤー

Flash プレーヤーを利用して、携帯電話用に作成された Flash ファイルを再生することができます。

■ Flash ファイルを再生する

Flash プレーヤーを開くと、対応するファイルリストが画面に表示されます。ファイルマネージャの「その他」フォルダに対応されているファイルが保存されている場合のみ、画面に表示されます。

1 > アプリ > メディア > Flash の順に選択

2 または を利用して、電話機メモリ または メモリカード を選択

3 **再生するファイル > オプション > 開く の順に選択**

- 音量は本機側面にある音量調節キーで調節します。

再生中の操作

ファイル再生中に **オプション** （左ソフトキー）を選択すると、次の操作をおこなうことができます。

- **一時停止** - 解除するには、**オプション** > **再開** を選択します。
- **停止**
- **画面切り替え** - 画面を切り替えます。
- **ミュート** - 解除するには、**オプション** > **ミュート解除** を選択します。
- **リプレイ** - ファイルの最初から再生します。
- **画質** - **低**、**標準**、**高** 画質を選択します。
- **全画面表示** - 全画面表示にします。標準画面に戻るには、**標準画面表示** を選択します。左ソフトキーを押すと、オプションメニューが表示されます。
- **ズームイン** / **ズームアウト** - **ズームイン** すると、**画面に合わせる**、**パンモードオン** / **パンモードオフ** が表示されます。
- **バージョン情報**
- **詳細表示** - ファイル名やファイル形式などを表示します。

補足 : 停止画面の **オプション** は、再生中画面の **オプション** と内容が異なります。また、停止画面に表示されているファイルを **送信** することができます。

Flash ファイルの管理

フォルダを作成して、ファイルの管理ができます。

> **アプリ** > **メディア** > **Flash**

新規フォルダを作成する

1 **オプション** > **整理** > **新規フォルダ** **の順に選択**

フォルダ名の入力画面が表示されます。

2 **フォルダ名を入力し、OK を選択**

フォルダが作成されます。

Flash ファイルの名前を変更する

1 **名前を変更するファイル > オプション > 名前変更 の順に選択**

名前変更の入力画面が表示されます。

2 **変更名を入力し、OK を選択**

Flash ファイルをフォルダへ移動 / コピーする

1 **移動またはコピーするファイル > オプション > 整理 > フォルダへコピー または フォルダへ移動 の順に選択**

コピー先が表示されます。

2 移動またはコピー先を選択 > OK を選択

Flash ファイル / フォルダを削除する

1 削除するファイルまたはフォルダ > オプション > 削除 の順に選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

バージョン情報を表示する

1 バージョン情報を表示するファイル > オプション > バージョン情報 を選択

詳細情報を表示する

ファイル名やファイル形式などが表示されます。

1 詳細を表示するファイル > オプション > 詳細表示 の順に選択

Flash ファイルを送信する

1 送信するファイル > オプション > 送信 の順に選択

2 送信方法を選択

これより先の手順については、「MMS を作成 / 送信する」(P.85)、「Bluetooth 接続」(P.203)、「オンラインでファイルを共有する」(P.142) を参照してください。

便利な機能

カレンダー

カレンダー に会議や記念日を登録して、設定した日時に通知を受けたり、To-do リストやメモなどを保存して仕事や用事のスケジュールを管理することができます。

> **アプリ** > **カレンダー**

■ カレンダーを表示する

カレンダーの画面を、月表示、週表示、および To-do リスト表示に切り替えることができます。デフォルトは月表示に設定されています。

エントリを登録すると、月表示の場合、日付の右下隅に小さな三角形が表示されます。

週表示の場合には、メモ、記念日、To-do のアイコンが曜日の下に表示されます。

カレンダー表示を変更する

1 月表示画面で、[*] を押す

週表示画面が表示されます。

- [*] を続けて押すと、日表示、To-do リスト表示に画面が切り替わります。

補足： **カレンダー** を開いた時の表示タイプや、週表示の週開始日を指定することが可能です。**オプション** > **設定** から選択します。「カレンダーを設定する」(P.177) を参照してください。

特定の日に移動する

1 日 / 週 / 月 表示で、オプション > 指定日へ移動 を選択

日付の入力画面が表示されます。

2 日付を入力し、OK を選択

指定した日時にカーソルが移動します。

今日の日付に移動する

1 [#] を押す

今日の日付にカーソルが移動します。

■ カレンダーエントリを登録する

カレンダー には、**予定**、**メモ**、**記念日**、**To-do** エントリを登録することができます。

予定を登録する

1 エントリを登録する日を選択

2 オプション > 新規エントリ > 予定 の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

3 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 場所
- 開始時刻
- 終了時刻
- 開始日
- 終了日
- アラーム - イベントを通知するように設定する場合は、**オン** を選択します。アラームの日時を入力します。
- 繰り返し - エントリを一定間隔で繰り返す場合に ◉ を押して選択します。
- 同期 - Nokia Nseries PC Suite などを利用して、互換性のある PC のカレンダーと同期する場合に選択します。
  ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ：カレンダーがオンラインになったときに他のユーザからは予定が見えません。
  パブリック：カレンダーがオンラインになったときにエントリがすべてのユーザに表示されます。
  なし：エントリは同期されません。（「同期」P.211）

4 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。（「詳細データを追加する」P.175）

ｼｮｰﾄｶｯﾄ： ⌘ > **アプリ** > **ｶﾚﾝﾀﾞｰ** > 任意のキー（ 1 ～ 0 ）の順に選択すると、**予定** エントリの入力画面が開きます。

メモを登録する

1 オプション > 新規エントリ > メモ の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 開始日
- 終了日
- 同期

3 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。（「詳細データを追加する」P.175）

記念日を登録する

1 オプション > 新規エントリ > 記念日 の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 行事
- 日付
- アラーム - 設定すると毎年その日を通知します。
- 同期

3 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。詳細については後述の「詳細データを追加する」を参照してください。

To-do を登録する

1 オプション > 新規エントリ > To-do の順に選択

エントリの入力画面が表示されます。

2 それぞれのフィールドに内容を入力する

入力できるのは、次のフィールドです。

- 件名
- 期限日 - タスクの完了期限を入力します。
- アラーム
- 優先度 - ■ を押してタスクの重要度を **高**、**標準**、**低** から設定します。
- 同期

3 完了 を選択

エントリが保存されます。

- エントリの詳細データを追加することもできます。詳細については後述の「詳細データを追加する」を参照してください。
- To-do 表示で任意のキーを押すと、To-do ノートエントリが開きます。To-do 表示にするには、「カレンダー表示を変更する」(P.173) を参照してください。
- 完了した To-do に完了マークを付けるには、**オプション** > **完了マーク** を選択します。完了マークを付けると、カレンダーからエントリの表示が消えますが、To-do リストからは削除されません。完了マークを解除するには、全 To-do 表示で、**オプション** > **完了マーク解除** を選択します。

詳細データを追加する

エントリの詳細を入力し、フィールドに追加することができます。エントリを開き、**オプション** > **詳細データの追加** > **新規作成** の順に選択します。

オフィス の **ノート** に登録した内容をエントリに追加することもできます。**オプション** > **詳細データの追加** > **既存ノートを使用** の順に選択します。

補足 : カレンダーから新規作成した詳細データは、**オフィス** の **ノート** には登録されません。

■ アラームを設定する

メモエントリにアラームを設定することはできません。

アラームを登録 / 解除する

1 アラームを登録するエントリを選択 > オプション > 開く を選択

エントリ入力画面が表示されます。

2 アラーム > オン または オフ > OK を選択

アラーム音を選択する

アラーム音を変更することができます。

1 オプション > 設定 > ｶﾚﾝﾀﾞｰｱﾗｰﾑ音 の順に選択

サウンドリストが表示されます。

2 アラーム音を選択 > 選択 を選択

- アラーム音にカーソルを合わせると、そのアラーム音を聞くことができます。

アラームが鳴ったときの操作

- アラーム音が鳴っている時に **消音** を選択すると消音になります。**消音** を選択しても、通知メッセージは画面に表示されたままです。
- アラーム音をいったん停止し、5 分後に再開するには、**スヌーズ** を選択します。
- アラーム音が鳴っている時に **停止** を選択すると、アラームが停止します。

■ カレンダーエントリを送信する

互換性のある機器に、SMS、MMS、E-mail、Bluetooth を利用して、カレンダーエントリを送信することができます。

1 送信するカレンダーエントリを選択

2 オプション > 送信 > 送信タイプの順に選択

送信リストが表示されます。
「SMS を作成 / 送信する」(P.84)、「MMS を作成 / 送信する」(P.85)、「E-mail を作成 / 送信する」(P.86)、「Bluetooth 接続」(P.203) を参照してください。

E-mail で送信するには、本機のメールボックスが定義されている必要があります。受信する機器により送信方法が限られる場合があります。(「E-mail クライアント設定」P.95)

■ カレンダーエントリを削除する

1 件削除する

1 削除するカレンダーエントリを選択

2 オプション > 削除 を選択

- C を押して削除することもできます。

3 はい を選択

カレンダーエントリが削除されます。

全件削除する

1 ＞ **アプリ** ＞ **カレンダー** の順に選択
- カレンダーが月表示でない場合は、[＊] を押して、月表示にしてください。

2 月表示画面で、**オプション** ＞ **エントリ削除** ＞ **すべてのエントリ** の順に選択

3 **はい** を選択
カレンダーエントリが全件削除されます。

指定日より前のエントリを削除する

日付を指定し、その日より前に登録してあるエントリを削除することができます。

1 月表示画面で、**オプション** ＞ **エントリ削除** ＞ **指定日より前を削除** の順に選択

2 指定日を入力 ＞ **OK** を選択
指定日より前のエントリが削除されます。

補足：メモリ不足を防ぐため、**カレンダー** から過去のエントリを削除することをおすすめします。

カレンダーを設定する

1 ＞ **アプリ** ＞ **カレンダー** ＞ **オプション** ＞ **設定** の順に選択
次のオプションを設定することができます。
- **カレンダーアラーム音** - 「アラームを設定する」(P.176) を参照してください。
- **デフォルト表示** - カレンダーを開いたときに、月表示、週表示、日表示、To-do 表示にするかを選択します。
- **週開始日** - 週表示でカレンダーを開いたときに、先頭にくる曜日を選択します。
- **週表示タイトル** - 週開始日を月曜日にすると選択できます。週表示のタイトルを週番号にするか、週の日付にするかを選択します。週番号は、週開始日を月曜日にすると、画面に表示されます。

電卓

＞ **アプリ** ＞ **電卓**

注意：この計算機は単純な計算用に設計されており、精度には限界があります。

計算の実行

1 計算する最初の数字を入力する
- 小数点を追加するには、[＃] を押します。

2 使用する演算子を選択し、[■] を押す

3 次の数字を入力する
- 計算を続ける場合は、演算子と数字を入力します。

4 計算を実行するには、「=」を選択し、[■] を押す

計算機は入力された順番に計算をおこないます。計算の結果はエディタフィールドに残り、次の計算にその数字を使用することができます。

計算機のオプション設定

オプションから次の機能が選択できます。

- **前回の結果** - 前回の計算結果を表示します。計算機を終了したり、電源を切ってもメモリはクリアされず、前回の結果を表示することができます。
- **メモリ** > **保存** - エディタフィールドの数字を保存します。 1 回に 1 つの数字しか保存できません。
- **メモリ** > **再呼び出し** - 保存したメモリを呼び出します。
- **メモリ** > **クリア** - 保存したメモリを削除します。
- **画面クリア** - 画面を消去して新しい計算を開始します。

コンバータ

コンバータでは単位の変換が可能です。例えば、**長さ** の単位を **ヤード** から **メートル** に変換することができます。

本機の **ｺﾝﾊﾞｰﾀ** は簡易版です。四捨五入の際には誤差が生じることがあります。

デフォルトでは値は何も設定されていません。

> **アプリ** > **オフィス** > **ｺﾝﾊﾞｰﾀ**

コンバータを操作する

1 **タイプ フィールド** > を押す
タイプリストが表示されます。
2 **変換する値の種類を選択 > OK を選択**
3 **上の 単位 フィールド > 変換元の単位を選択 > OK を選択**
4 **最初の 数量 フィールドを選択 > 変換する値を入力**
5 **下の 単位 フィールド > 変換先の単位を選択 > OK を選択**
下の数量フィールドに変換された値が表示されます。

記号の入力には次のボタンを使用します。

- 小数点 : # を押す
- +, - (温度)、E (指数): * を押す

基本通貨と通貨交換レートの設定

通貨換算をおこなう前に、基本通貨を選択して交換レートを入力する必要があります。

通貨の換算方法

例として、日本円を米ドルへ変換します。

1 **タイプ フィールド > 通貨 > OK の順に選択**
2 **単位フィールド > 自国 > OK の順に選択**
自国通貨を日本円と考えます。

3 オプション > 通貨レート を選択

4 外貨フィールドを選択 > 交換レートを入力 > 完了 を選択

- 交換レートは、自国通貨を 1 とした場合の変換先通貨の比率になります。ここでは日本円を 1 とした米ドルの値を入力します。
- フィールドの「外貨」表示を、実際の通貨名に変更することができます。**オプション** > **通貨名変更** を選択し、■ を押し、例えば「米ドル」と入力します。
- 設定したフィールドを削除するには、**オプション** > **通貨削除** を選択します。

5 上の数量フィールドを選択し、変換元の値を入力

下の数量フィールドに換算された金額が表示されます。

基本通貨を変更する場合は、基本通貨にする通貨を選択 > **オプション** > **基本通貨に設定** を選択します。

注意：基本通貨を変更すると、前に設定した交換レートがクリアされるので、新しいレートを入力する必要があります。

ノート

本機のノートにテキスト文書を入力することができます。ノートを他の互換性のある機器に送信したり、受信したテキストファイル（.txt ファイル形式）をノートに保存したりすることが可能です。

 > **アプリ** > **オフィス** > **ノート**

ノートを作成する

1 オプション > 新規ノート > 内容を入力 > 完了 を選択

ノートが登録されます。

ノートを送信する

1 送信するノート > オプション > 送信 > 送信タイプの順に選択

詳細については、「SMS を作成 / 送信する」(P.84)、「MMS を作成 / 送信する」(P.85)、「E-mail を作成 / 送信する」(P.86)、「Bluetooth 接続」(P.203) を参照してください。

ノートを削除するには、削除するノート > C を押します。

補足：オプション > **マーク / マーク解除** を選択し、複数のノート削除することもできます。

ノートの同期や同期の設定をおこなうには、**オプション** > **同期** > **開始**、または **設定** を選択します。本機から同期を開始する際は、初回、ご利用の PC とペア

リング後に Nokia Nseries PC Suite と同期する必要があります。

Quickoffice

Quickoffice アプリケーションを使用すると、他の機器で作成した Microsoft Word 文書や、Microsoft Excel 文書、Microsoft PowerPoint プレゼンテーション、テキストファイルを本機で見ることができます。すべてのファイル形式や、機能をサポートしているわけではありません。Apple Macintosh で作成されたファイルはサポートしていません。

 > **アプリ** > **オフィス** > **Quickoffice** の順に選択すると、電話機メモリや互換性のあるメモリカード (電話機に挿入されている場合) の Documents フォルダに保存されている .doc、.xls、.ppt、.txt 形式のファイルの一覧が表示されます。

それぞれ対応するアプリケーションでファイルを開くには、ファイルを選択し、 を押します。ファイルを並べ替えるには、**オプション** > **並べ替え** の順に選択します。

Quickword、**Quicksheet**、**Quickpoint**、**Quickmanager** タブを開くには、、または を押します。

Quickword

Quickword を使用すると、Microsoft Word 文書を本機に表示できます。

Quickword は Microsoft Word 97、2000、XP、2003 の .doc と .txt 形式で保存された文書に対応しています。記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

「詳細情報」(P.183) を参照してください。

Word 文書を表示する

1 > アプリ > オフィス > Quickoffice の順に選択

Word 文書の一覧が表示されます。

2 文書を選択し、 を押す

オプション を選択して、次の操作をおこなうことができます。

- **ズーム** - ズームインやズームアウトができます。
- **移動** - 文書の先頭 / 末尾への移動や、移動位置の指定ができます。
- **検索オプション** - **検索** を選択し、文書内の文字を検索します。
- **自動スクロール開始** - 文書を自動的にスクロールできます。
- **自動スクロール終了** - 文書の自動スクロールを停止します。

- **名前を付けて保存** - E-mail 添付ファイルとして受信した文書を保存したり、編集モードで変更を加えた文書を保存したりすることができます。
- **編集ﾓｰﾄﾞにｱｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾄﾞ** - 編集機能をサポートする Quickword にアップグレードします。アップグレードには料金がかかります。

文書内を移動するにはナビゲーションキーを使用します。

■ Quicksheet

Quicksheet を使用すると、Microsoft Excel ファイルを本機に表示できます。

Quicksheet は、Microsoft Excel 97、2000、XP、2003 の .xls 形式で保存されたスプレッドシートファイルをサポートしています。記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

「詳細情報」(P.183) を参照してください。

スプレッドシートを表示する

1 > アプリ > オフィス > Quickoffice の順に選択

2 を 1 回押す

Excel 文書の一覧が表示されます。

3 文書を選択し を押す

オプション を選択して、次の操作をおこなうことができます。

- **ワークシート** - ワークシート間の切替をおこないます。
- **ズーム** - ズームインやズームアウトができます。
- **表示範囲変更** - 現在開いているワークシート内をブロック単位でナビゲートできます。画面には行と列を含むブロックが表示されます。行や列を表示するには、ナビゲーションキーを使用してブロックを選択し、**OK** を選択します。
- **サイズ変更** - 行や列の幅を調整できます。
- **枠を固定** - 強調表示した行、列、またはその両方を表示したままスプレッドシート内を移動できます。**枠固定解除** を選択して解除することができます。
- **検索オプション** - **検索** を選択し、スプレッドシートの値や数式に含まれる文字を検索します。
- **名前を付けて保存** - E-mail 添付ファイルとして受信した文書を保存したり、編集モードで変更を加えた文書を保存したりすることができます。
- **編集ﾓｰﾄﾞに切り替え** - 編集機能をサポートする Quicksheet にアップグレードします。アップグレードには料金がかかります。

スプレッドシート内を移動するにはナビゲーションキーを使用します。

Quickpoint

Quickpoint を使用すると、Microsoft PowerPoint プレゼンテーションを本機の画面に表示できます。

Quickpoint は Microsoft PowerPoint 2000、XP、2003 の .ppt 形式で作成されたプレゼンテーションをサポートしています。記載したファイル形式のすべての変形形式や機能に対応しているわけではありません。

「詳細情報」(P.183) を参照してください。

プレゼンテーションを表示する

1 > アプリ > オフィス > Quickoffice の順に選択

2 を2回押す

プレゼンテーションの一覧が表示されます。

3 文書を選択し を押す

オプション を選択して、次の操作をおこなうことができます。

- **全画面表示** - プレゼンテーションを全画面表示に切り替えます。
- **アウトライン** - アウトライン表示で、プレゼンテーションのアウトライン項目を展開するには、**展開** を選択します。
- **名前を付けて保存** - E-mail 添付ファイルとして受信した文書を保存したり、編集モードで変更を加えた文書を保存したりすることができます。
- **編集ﾓｰﾄﾞにｱｯﾌﾟｸﾞﾚｰﾄﾞ** - 編集機能をサポートする Quickpoint にアップグレードします。アップグレードには料金がかかります。

スライド表示、アウトライン表示、ノート表示の間で切り替えをおこなうには、 または を押します。

 または を押すと、プレゼンテーションの次または前のスライドに移動できます。

Quickmanager

Quickmanager を使用して、アップデートやその他の有用なアプリケーションなどのソフトウェアをダウンロードすることができます。ダウンロードしたソフトウェアの料金はクレジットカードでお支払いいただけます。
「ダウンロードが完了するまで課金は発生しません」と表示される場合がありますが、ダウンロード中は通信料がかかります。
ダウンロードしたコンテンツによっては、コンテンツに対応したアプリケーションが自動的に起動されない場合があります。

Quickword、Quicksheet、Quickpoint を編集機能をサポートするバージョンにアップグレードするには、ライセンスを購入する必要があります。

Quickmanager を開く

1 > **アプリ** > **オフィス** > **Quickoffice** > **Quickmanager** の順に選択

■ 詳細情報

Quickword、**Quicksheet**、**Quickpoint**、**Quickmanager** に関して問題が発生した場合は、http://support.quickoffice.com (英語) にアクセスして、詳細情報をご覧ください。

音声メモ

> **アプリ** > **メディア** > **音声メモ**

本機の音声メモ機能では、音声メッセージを録音したり、通話中の会話を録音したりすることができます。録音した音声ファイルはギャラリーに保存されます。

音声メモは、データ通信中、またはパケットデータ通信中に使用すると録音できない場合があります。

音声を録音する

1 録音（●）が選択されている状態で、■ を押す

音声メッセージの録音が開始されます。

2 **停止** を選択して録音を終了する

通話中の音声を録音する

1 通話中に、 > **アプリ** > **メディア** > **音声メモ** の順に選択

2 録音（●）が選択されている状態で、■ を押す

録音中は、通話者双方に 15 秒間隔でビープ音が聞こえます。

3 **停止** を選択して録音を終了

Adobe Reader

Adobe Reader を使用すると、PDF 文書を本機の画面に表示できます。

このアプリケーションは、携帯電話機などモバイル機器に格納された PDF 文書用に最適化されています。そのため、PC 版と比較すると限定的な機能しかありません。

■ PDF 文書を表示する

1 > **アプリ** > **オフィス** > **Adobe PDF** の順に選択

最近使用した PDF 文書の一覧が表示されます。

- 電話機メモリや、互換性のあるメモリカード (本機に挿入されている場合) に保存されている文書を検索したり、開いたりするには、**オプション** > **ファイル参照** を選択するか、 > **ツール** > **ファイル** の順に選択してください。

2 文書を選択し、◙ を押す

オプション を選択して、ズーム、検索、表示変更、送信などをおこなうことができます。

ラジオ（ネットワークサービス）

> **ミュージック** > **Radio**

はじめて Visual Radio を開いたときに、ウィザードを利用してラジオステーションを登録することができます。

ラジオ機能を利用して FM ラジオを聞いたり、本機にお気に入りのラジオステーションを登録することができます。Visual Radio サービスを提供しているラジオステーションを聞く時には、ラジオ番組に関連したビジュアル情報を見ることができます。Visual Radio では、パケットデータ（ネットワークサービス）を利用します。

Visual Radio は日本国内では対応しておりません。

■ ラジオをご利用になる前に

ラジオを利用するには、次の条件が必要です。

- 本機の電源がオンになっている。
- 有効な USIM カードが挿入されている。
- ラジオステーション、およびネットワークオペレータが各サービスに対応している。
- ラジオサーバに接続するために、インターネットアクセスポイントが定義されている。（日本国内で FM ラジオを聞く場合は、アクセスポイントを設定する必要はありません。）
- ラジオステーションを正しく定義した Visual Radio ID を入手している。（日本国内では Visual ID はご使用になれません。）

Visual Radio サービスを利用できない場合には、そのラジオステーションが、Visual Radio をサポートしていない可能性があります。Visual Radio サービスは、全世界の全地域でサービス可能というわけではありません。

ラジオ放送の音声品質は、ラジオ局の受信範囲により地域ごとに異なります。

■ ラジオを聞く

- FM ラジオを聞くためには、互換性のある有線のヘッドセットが必要です。FM ラジオは、無線機器のアンテナ以外のアンテナに依存します。FM ラジオが正しく機能するには、互換性のあるヘッドセットまたはアクセサリを本機に取り付ける必要があります。
- 本機に搭載のラウドスピーカー、あるいは互換性のあるヘッドセットからラジオを聞くことができます。ヘッドセットのリード線はラジオのアンテナとして利用されるので、リード線を小さく一つに束ねることは避けてください。

- ラジオを聞きながら、電話をかけたり、電話を受けたりすることが可能です。通話を開始すると、ラジオがオフになります。

警告：音楽を聞く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聞き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。ラウドスピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

選局する

1 または を選択し、を押してチューニング

ラジオステーションの検索を開始します。ラジオステーションにチューニングされると、検索がストップします。

- 音量は、本機側面にある音量調節キー または を押して調節します。

ラジオステーションを自動で設定する

パケットデータ接続を使用して、ラジオステーションを自動で設定することができます。はじめて **Radio** を開いたときにはウィザードが起動するので、指示に従って設定をおこないます。

1 オプション > ｽﾃｰｼｮﾝﾌｫﾙﾀﾞ を選択

場所の一覧が表示されます。

2 Asia > 日本 > 地域、都市を選択

設定可能なステーションの一覧が表示されます。

3 オプション > すべてのｽﾃｰｼｮﾝ保存 を選択

- 個別にステーションを保存する場合は、ステーションを選択した状態で、**オプション** > **ステーション** > **保存** を選択します。

ラジオステーションを手動で設定する

1 オプション > 手動チューニング を選択

周波数の入力画面が表示されます。

2 周波数を入力し、OK を選択

ラウドスピーカーを使用する

ラウドスピーカーを利用する場合にも、本機とヘッドセットを接続したままにしてください。ヘッドセットのリード線が、ラジオのアンテナとして機能します。アンテナとして機能させるため、リード線を一つに束ねることは避けてください。

1 オプション > ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰｽﾋﾟｰｶｰ有効 を選択

待受画面に戻る

ラジオをつけたまま、待受画面に戻ることができます。

1 オプション > ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞで再生 を選択

- 終了キーを押して待受画面に戻ることもできます。

ラジオステーションを登録する

ステーションリストに、ラジオステーションを登録することができます。

ステーションリストに登録する

現在聞いているラジオステーションを、ステーションリストに登録することができます。

1. または を選択し、 を押してチューニング
2. **オプション** > **ステーション保存** を選択
3. ステーション番号を選択 > **選択** を選択
4. ステーション名を入力 > **OK** を選択

   ステーションリストに登録されます。

ステーションリストを開く

1. **オプション** > **ステーション** を選択
   - ステーションリストで **オプション** > **ステーション** を選択すると、ステーションの編集、移動、削除などがおこなえます。

ビジュアルコンテンツの表示

日本国内では対応しておりません。

コンテンツを表示する

選局したラジオステーションで利用できるコンテンツを表示することができます。

1. を選択、または、**オプション** > **ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｻｰﾋﾞｽ開始** の順に選択

   ビジュアルサービス ID がラジオステーション用に登録されていない場合は、ラジオステーションなどから ID を受信します。

Visual Radio の設定

日本国内では対応されておりませんが、**開始音** の設定は可能です。

Visual Radio のオプションから次の設定が可能です。

1. **オプション** > **設定** を選択
   - **開始音** - ラジオを開始する際に、起動音を鳴らすには **オン** を選択します。
   - **自動起動サービス** - ステーションリストに登録済みで、ビジュアルラジオサービスを提供しているラジオステーションを選択した際に、ビジュアルサービスを自動的に表示させるには、**はい** を選択します。
   - **アクセスポイント** - Visual Radio のデータ接続に利用するアクセスポイントを選択します。通常の FM ラジオを聞く場合には、アプリケーションのアクセスポイントを設定する必要はありません。
   - **現在の地域** - ラジオステーション用に現在の地域を選択します。電波の状態によっては、このオプションは表示されない場合があります。

Zip Manager

Zip manager を利用して、ファイルを圧縮することができます。ファイルを圧縮するとファイル容量が減り、互換性のある機器に送信するときなどに便利です。ファイルによっては、圧縮できない場合があります。

> **アプリ** > **オフィス** > **Zip**

アーカイブフォルダとアーカイブファイルの一覧が表示されます。

ファイルを圧縮する

最初にアーカイブファイル (zip ファイル) を作成し、作成したアーカイブファイルに、圧縮するファイルを追加します。

1 オプション > 新アーカイブ を選択

アーカイブ名の入力画面が表示されます。

2 アーカイブ名を入力し、OK を選択

作成したアーカイブが開きます。

3 オプション > アーカイブに追加 を選択

4 圧縮するファイルを選択し、を押す

圧縮したファイルは、電話機メモリ、およびメモリカード (本機に挿入されている場合）に保存することができます。

zip ファイルを解凍する

1 解凍するアーカイブファイルを選択し、を押す

アーカイブ内のファイルの一覧が表示されます。

2 解凍するファイルを選択し、オプション > 解凍 を選択

- **オプション** > **マーク / マーク解除** を選択し、複数のファイルを選択することもできます。

3 解凍先のメモリとフォルダを選択

アーカイブの管理

オプション を選択して、設定の変更、ファイルの移動やコピー、送信などをおこなうことができます。**開く**、**ファイル**、**マーク / マーク解除**、**送信**、**設定**、**情報** などを選択することができます。

バーコードリーダー

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ を利用して、雑誌に掲載されている QR コードなどを本機のカメラから読み取ることができます。コードには、URL リンクや E-mail アドレス、電話番号などの情報が含まれています。

コードを読み取る

1 > アプリ > オフィス > ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ の順に選択

2 ｺｰﾄﾞ読み取り を選択

3 カメラ起動スイッチをスライドし、レンズカバーを開く

4 読み取るコードを画面内に表示する

コードの読み取りが終了すると、読み取った情報が画面に表示されます。

本機は電池の消耗を防ぐため、約 1 分間コードが読み取られなかったり、どのキーも押されなかった場合には、スタンバイモードになります。読み取りや、保存情報の確認を続けるには、 を押します。

読み取った情報を保存する

1 コードを読み取る (「コードを読み取る」(P.187) ステップ 1 ～ 4 を参照)

2 オプション > 保存 を選択

- 読み取った情報は、.bcr 形式で **保存データ** フォルダに保存されます。

以前に読み取った情報を表示する

1 > アプリ > オフィス > ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ の順に選択

2 保存データ > 表示する情報 > を押す

コードから読み取った URL リンク、電話番号、E-mail アドレスなどが表示されます。

- **保存データ** > **オプション** を選択して、読み取った情報を利用することができます。

Nokia Lifeblog

> **アプリ** > **メディア** > **Lifeblog**

Nokia Lifeblog は、本機で収集したアイテムなどをマルチメディアダイアリーとしてウェブに投稿、更新するソフトウェアです。Nokia Lifeblog は、マルチメディアコンテンツの履歴を自動的に記録し、画像、ビデオ、サウンド、SMS、MMS を管理することができます。ブログには時間順に掲載されるので、ブラウズ、検索、共有、公開、バックアップなどが簡単におこなえます。

Nokia Lifeblog データベースのバックアップを互換性のある PC のハードディスク、CD-ROM、DVD-ROM、リムーバブルドライブやネットワークドライブなどに念のため保存しておくことをおすすめします。

Nokia Lifeblog は、Nokia Nseries PC Suite の Nokia Photos とご使用いただけます。同梱の DVD-ROM から PC にインストールします。Nokia Photos PC アプリケーションで F1 を押し、ヘルプを参照できます。

PC にインストールする

次の操作で PC に Nokia Photos をインストールします。

1 製品パッケージに同梱されている DVD-ROM を挿入

2 Nokia Nseries PC Suite をインストールする (USB 接続用 Nokia Connectivity Cable ドライバーを含む)

3 Nokia Photos PC アプリケーションをインストール

Microsoft .NET3.0 および Microsoft DirectX が PC にインストールされていない場合は、Nokia Photos 1.0 アプリケーションと同時にインストールされます。

■ PC に接続する

USB ケーブル接続

本機と互換性のある PC を USB ケーブルを使って接続することができます。

1 Nokia Nseries PC Suite をインストール

2 本機と PC を USB データケーブル で接続

3 モード選択 : 画面で PC Suite を選択

- USB ケーブルについては、「データケーブル」(P.208) を参照してください。
- Nokia Nseries PC Suite をインストール後、はじめて本機と PC を接続する時に、PC が本機に対応するドライバをインストールします。このインストールには時間がかかる場合があります。

4 PC で Nokia Photos を起動

Bluetooth 接続

電話機と互換性のある PC を Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用して接続することもできます。

1 PC に Nokia Nseries PC Suite がインストールされていることを確認

2 Nokia Nseries PC Suite の Connection Manager を使用し、電話機と PC が Bluetooth 無線技術で認証済みかどうかを確認

3 電話機と PC の Bluetooth を起動

Bluetooth については、本書の「Bluetooth 接続」(P.203)、または PC 付属の説明書を参照してください。

■ 電話機と PC 間でコピーする

新規または編集されたアイテムを電話機から PC、PC から電話機にコピーできます。

1 電話機を PC に接続

2 PC の Nokia Photos を起動

3 Nokia Photos で、「ファイル」>「同期」> 同期する電話機を選択

電話機にある新規アイテムが PC にコピーされます。PC から電話機にコピーする場合は、PC 画面の同期トレーにあるアイテムが電話機にコピーされます。

タイムラインとお気に入りを閲覧する

電話機の Nokia Lifeblog を起動すると、**タイムライン** ビューが開いてマルチメディアアイテムが表示されます。保存されているお気に入りアイテムを開くには、**オプション** > **お気に入り表示** を選択します。

PC の Nokia Photos では、タイムラインのタグを開くと日付順にアイテムが表示されます。

ウェブに投稿する

Nokia Lifeblog のアイテムを共有するには、お客様のインターネットブログに投稿して公開します。

最初にブログサービスのアカウントを作成する必要があります。アイテムの投稿先として使用するブログを作成し、ブログアカウントを Nokia Lifeblog に追加します。
Nokia Lifeblog 用に推奨するブログサービスは、Six Apart の TypePad(http://www.typepad.jp) です。

ブログアカウント設定

新規アカウントを追加した場合や、既存のブログを編集した場合、アカウントの設定をする必要があります。

1 **オプション** > **設定** > **ブログ** を選択
- PC の Nokia Photos では、画面右下のアイコン「Web へ投稿」をクリックしてアカウントを作成します。

2 **オプション** > **新規アカウント** を選択
- **サーバアドレス** は、ブログのアドレスを入力します。ブログサービスから与えられるアドレスです。
- **アクセスポイント** は、利用可能なアクセスポイントを選択します。

電話機からウェブに投稿

1 **タイムライン** または **お気に入り** で、ウェブに投稿するアイテムを選択

2 **オプション** > **Web サービスに投稿** を選択
- この機能をはじめて使用する場合は、サーバからブログリストの取得を開始します。

3 **投稿先を選択**
新規のブログを作成した場合、**オプション** > **ブログリスト更新** を選択して、ブログリストを更新できます。

4 **投稿するタイトルと本文を入力**

5 **オプション** > **送信** を選択

PC からウェブに投稿

1 **PC の Nokia Photos を起動**

2「整理」タブの「お気に入り」や「タイムライン」などから、ウェブに投稿するアイテムを選択

3「ファイル」>「Web へ投稿」を選択

4 投稿先を選択

5 投稿するタイトルと本文を入力

- コメントフィールドに長い文章を入力することもできます。

6 送信ボタンをクリックして送信

■ アイテムをインポートする

電話機の .jpg 画像のほかに、別の情報源 (CD、DVD、ハードディスクにあるフォルダなど) から .jpg 画像、.3gp、.mp4 ビデオクリップ、.amr サウンドファイル、.txt テキストファイルなどを Nokia Photos にインポートできます。

PC から画像やビデオを Nokia Photos PC アプリケーションにインポートするには、「ファイル」>「インポート」を選択します。

検索

検索 アプリケーションを利用して、Web サイトや画像を検索したり、電話機やメモリカードに保存されているカレンダーエントリやメールなど、データを検索したりできます。

利用できる検索サービスは、国や地域によって変わる場合があります。

検索アプリケーションはメモリを多く使用します。検索と同時に他のアプリケーションを使用すると、他のアプリケーションが終了する場合があります。

■ インターネット検索

インターネットに接続し、Web ページを検索します。検索結果は、モバイル用に要約されたページが表示されます。

1 > 検索 > 検索プロバイダ > を押す

- 検索プロバイダが表示されない場合は、**インターネット検索** を選択し、利用可能なプロバイダを選択します。
- **さらに検索** > **オプション** > **サービス選択** を選択すると、他のプロバイダを選択できる場合があります。

2 検索キーワードを入力し、検索する

- ネットワーク接続方法を選択する場合があります。「検索の設定」(P.193) を参照してください。
- アクセスポイント選択画面が表示された場合、利用可能なアクセスポイントを選択します。
- 検索フィールドで、 # を連続して短く押すと、入力モードを変更することができます。

3 検索結果を選択 > を押す

検索結果の詳細情報を表示します。

検索結果を表示する

検索結果について、次のオプションが選択できます。

詳細 - 検索結果の詳細情報を表示します。決定キーを押しても詳細を表示できます。

次の検索結果、または **前の検索結果** - すべての検索結果を表示します。ナビゲーションキー右、またはナビゲーションキー左を押して検索結果を表示することもできます。

絞り込み検索 - 検索キーワードを追加して再度検索し、結果を絞り込みます。

ﾌﾞｯｸﾏｰｸへ追加 - 検索結果をブックマークに追加します。

ローカル検索

検索サービスを利用して、地域サービスやビジネス情報を検索することができます。利用できる検索エンジンやサービス内容は国や地域によって異なります。検索エンジンのダウンロードが必要となる場合があります。

1 > **検索** > **オプション** > **設定** > **国 / 地域** **から国を選択** > **戻る**

- 国 / 地域名の最初の文字を入力すると、合致する国 / 地域のリストが表示されます。
- グローバルな検索を提供する検索プロバイダは複数の国や地域で利用できます。
- 国 / 地域によっては、ローカル検索をご利用いただけない場合があります。

ローミング

国や地域を移動する際、地域設定が自動的に変更される場合があります。国または地域の設定を変更することで、その地域に関連性の高い情報にアクセスすることができます。海外で利用する場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

国や地域を移動すると、その地域の新しい検索サービスが利用可能となる場合があります。**オプション** > **更新を確認** を選択し、使用できるサービスを確認します。新しい検索サービスが利用できる場合は、**オプション** > **ダウンロード** を選択します。

■ 画像検索

インターネット上の画像を検索します。検索結果にはサムネイル、タイトル、および URL がリストで表示されます。インターネットの画像検索は、検索プロバイダが対応している必要があります。

1 > **検索** > **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ検索** > **を押す**

2 検索プロバイダ > **を押す**

- 利用可能なサービスプロバイダが複数ある場合は、**オプション** > **サービス選択** で、サービスプロバイダを選択します。

3 検索オプションで画像オプションを選択

4 検索キーワードを入力し、検索する

5 検索結果を選択 > ◙ を押す

検索結果の詳細情報を表示します。

- 画像は、画像ビューアで開いたり、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存したりできます。
- 画像を表示するには、◙ を押します。

■ マイコンテンツ検索

電話機やメモリカードに保存されているファイルやデータを検索することができます。

1 マイコンテンツからコンテンツカテゴリを選択 > ◙ を押す

- 画面下部の検索フィールドにキーワードを入力して検索することもできます。

2 検索結果を選択 > ◙ を押す

検索結果の詳細情報を表示します。

キーワードを入力すると、検索結果がカテゴリ別に自動的にフィルタされます。検索結果には、カテゴリを示すアイコンが表示されます。また、キーワードと検索結果が一致する場合は、最近アクセスした検索結果が上部に表示されます。

■ 検索の設定

> 検索 > オプション > 設定

次の設定をおこなうことができます。

国 / 地域 - 国または地域を変更することができます。

接続 - 使用するアクセスポイントやネットワーク接続の許可 / 拒否を選択できます。

検索サービス - マイコンテンツ検索のカテゴリを選択したり、検索プロバイダの有効 / 無効を選択したりできます。

一般 - 検索履歴を消去したり、クイックヘルプ表示（サイトのタイトルをポップアップで表示）の有効 / 無効を切り替えたりすることができます。

セキュリティ

ロックコードの変更

ロックコードを変更できます。このコードには、5桁の数字 (**0** ～ **9**) の組み合わせしか使用できません。

緊急電話番号に誤って電話しないようにするため、緊急電話番号に類似したコードは使用しないでください。

> **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **電話機と SIM カード**

1 ロックコード を選択

2 設定されているロックコードを入力 > OK を選択

- お買い上げ時のロックコードは、「12345」に設定されています。

3 新規ロックコードを入力 > OK を選択

4 新規ロックコードを再度入力 > OK を選択

ロックコードを変更しました が表示されます。

PIN コードの設定

PIN/PIN2 コードを変更できます。このコードは、4 ～ 8 桁の数字 (**0** ～ **9**) の組み合わせしか使用できません。コードを忘れた場合は、携帯電話事業者へお問い合わせください。PIN/PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN コードがロックされます。

PIN ロックを解除するには、PIN ロック解除コード (PUK) を入力します。(「PIN ロック解除コード (PUK)」P.31)

緊急電話番号に誤って電話しないようにするため、緊急電話番号に類似したコードは使用しないでください。

> **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **電話機と SIM カード**

PIN/PIN2 コードを変更する

1 PIN コード または PIN2 コード を選択 > OK を選択

- PIN コードを変更する場合は、**PIN コード要求** を **オン** にしてください。

2 現在、設定されている PIN(PIN2) コードを入力

新規 PIN(PIN2) コードを入力する画面が表示されます。

- 通常、PIN コード、PIN 2コードは USIM カードと一緒に提供されます。

3 新規 PIN(PIN2) コードを入力

4 新規 PIN(PIN2) コードを再度入力

PIN コードを変更しました (**PIN2 コードを 変更しました**) が表示されます。

■ PIN コード要求を設定する

電源を入れたときに、PIN コードを入力するよう設定します。

1 PIN コード要求 を選択

2 オン を設定

3 PIN コードを入力

コードを確認しました が表示されます。

無断で利用されたくないとき

■ 本機の操作を禁止する (電話機ロック)

1 ⏻ を短く押す

リストが表示されます。

2 電話機ロック を選択

3 ロックコードを入力し、OK を選択

- **コードを確認しました** が表示され、電話機がロックされます。
- ロックコードについては、「ロックコード」(P.31) を参照してください。

注意 : 本機がロックされているときでも、オフラインモードで本機にプログラムされている海外の緊急電話番号には電話できる場合があります。本機では、電話機ロックが設定されている状態で、110、118、119 への緊急通報ができません。この場合は、設定を解除し、「緊急通報」(P.254) を参照して電話をかけてください。

■ 自動ロックまでの時間を設定する

本機が自動的にロックされ、正しいロックコードを入力しない限り本機を使用できない設定ができます。自動ロックされるまでの時間は分単位で設定することができます。

> ツール > 設定 > 一般 > セキュリティ > 電話機と SIM カード

1 電話機自動ロック時間 を選択

2 ユーザ定義 を選択

3 本機が自動的にロックされるまでの時間を入力

4 ロックコードを入力

コードを確認しました が表示されます。

■ USIM 変更時に本機をロックする

本機が認識していない USIM カードが挿入された場合に、ロックコードを要求するかどうかを設定すること

ができます。本機には、所有者のカードを識別するためのリストが保持されます。

1 **SIM ｶｰﾄﾞ変更時にﾛｯｸ を選択**
2 **はい を選択**
3 **ロックコードを入力**
コードを確認しました が表示されます。

電話と USIM の設定

注意：次の機能は現在ご利用になれません。

· **限定ユーザグループ**

· **SIM サービス確認**

証明書管理

証明書管理について

デジタル証明書は安全性を保証するものではなく、ソフトウェアの供給元を検証するために使用するものです。

オンライン銀行、その他のサイトやリモートサーバに接続して機密情報を転送する場合は、デジタル証明書を使用してください。また、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするときに、ウィルスなどの悪意のあるソフトウェアのリスクを軽減したり、ソフトウェアの信頼性を確認したりする場合にも使用してください。

重要：証明書を使用することで、リモート接続やソフトウェアインストールに関わるリスクを大幅に軽減できますが、セキュリティを強化するには証明書を正しく使用する必要があります。証明書が存在しても、それだけで保護されるわけではありません。強化されたセキュリティを有効にするには、認証済みの信頼できる正しい証明書が証明書管理に格納されている必要があります。証明書には有効期限があります。証明書が有効であるはずなのに、失効した証明書や有効になっていない証明書が表示される場合は、本機の現在の日時が正しいかどうかを確認してください。

証明書機関リストを表示する

> **ツール** > **設定** > **一般** > **セキュリティ** > **証明書管理**

· 本機にあらかじめ登録されている証明機関が表示されます。
· 個人証明書を表示する場合は、 を押します。

証明書の詳細情報を表示する

· サーバの正しい供給元は、サーバの証明書の署名と有効期間がチェックされたときにのみ確認できます。

- サーバの供給元が不確かな場合や、本機に正しいセキュリティ証明書がない場合は、本機の画面にメッセージが表示されます。

1 証明書を選択し、オプション > 証明書詳細 を選択

証明書の詳細が表示されます。または、証明書の有効性がチェックされ、次のメッセージが表示される場合があります。

- **信頼されていない証明書です** - アプリケーションで証明書を使用するように設定されていません。
- **失効した証明書** - 選択した証明書の有効期間を過ぎています。
- **有効になっていない証明書です** - 選択した証明書の有効期間がまだ始まっていません。
- **証明書は壊れています** - 証明書を使用できません。証明書の発行者にお問い合わせください。

信頼設定を変更する

設定を変更すると、ウェブでのページ閲覧や、アプリケーションやファイルのダウンロードができなくなる場合があります。

1 証明書を選択し、オプション > 信頼度設定 を選択

証明書に応じて、選択した証明書を使用できるアプリケーションのリストが表示されます。表示されるアプリケーションは証明書によって異なります。例えば、次のように表示されます。

- **Symbian ｲﾝｽﾄｰﾙ**：**はい** - この証明書は、新しい Symbian オペレーティングシステムアプリケーションの供給元を証明できます。
- **インターネット**：**はい** - この証明書は、サーバを証明できます。
- **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｲﾝｽﾄｰﾙ**：**はい** - この証明書は、新しい Java アプリケーションの供給元を証明できます。
- **ｵﾝﾗｲﾝ証明書確認**：サーバからダウンロードする際に、証明書を確認します。

2 オプション > 信頼度設定の編集 を選択し、内容を変更する

セキュリティモジュール

> ツール > 設定 > 一般 > セキュリティ > ｾｷｭﾘﾃｨﾓｼﾞｭｰﾙ

利用する携帯電話事業者の USIM カードによっては対応しない場合があります。USIM が対応している場合、端末画面に表示されます。

セキュリティモジュールの表示や編集は、セキュリティモジュールを選択し、を押します。

詳細情報を確認するには、**オプション** > **セキュリティ詳細** を選択します。

各種設定をお買い上げの状態に戻す

1 > **ツール** > **設定** > **一般** > **ﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定** **の順に選択**

2 **はい** **を選択**

- 電話機は自動的に再起動され、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 再起動には時間がかかる場合があります。
- お客様が保存したデータは影響されません。

3 **ロックコードを入力し、** **OK** **を選択**

- お買い上げ時のロックコードは、「12345」に設定されています。

ｾｷｭﾘﾃｨﾓｼﾞｭｰﾙ は、ソフトバンクの USIM カードでは対応しておりません。

外部接続

接続について

無線 LAN 機器、UPnP (Universal Plug and Play) 機器との接続には、無線 LAN を使用してください。「無線 LAN」(P.200) を参照してください。

ファイルの転送や、互換性のあるアクセサリとの接続などには Bluetooth テクノロジーを使用してください。「Bluetooth 接続」(P.203) を参照してください。

プリンタや PC など互換性のある機器と接続するには、同梱されている Nokia Connectivity Cable CA-101 を使用してください。「データケーブル」(P.208) を参照してください。

データの転送やバックアップには、Micro SD カードを使用してください。「メモリカードの利用」(P.57) を参照してください。

無線 LAN

本機は無線 LAN をサポートしています。無線 LAN を利用してインターネットへの接続や、互換性のある無線 LAN 機器との接続が可能です。無線 LAN を使用して互換性のある UPnP(Universal Plug and Play) 機器と接続するには「ホームメディア」(P.145) を参照してください。

無線 LAN を使用するには、無線 LAN が利用できる環境で、本機を無線 LAN に接続する必要があります。

フランスなど、一部の国 / 地域では、無線 LAN の使用が制限されています。詳細については、お住まいの地域の行政機関にお問い合わせください。

無線 LAN を使った操作や、他の操作を実行中にバックグラウンドで無線 LAN を使用した場合、電池の消費量が増し、電池の消耗が早くなります。

本機は次の無線 LAN 機能をサポートしています。

- IEEE 802.11b/g 標準規格
- 使用周波数帯 : 2.4GHz 帯
- 最大 128bit の WEP (Wired equivalent privacy) キー、WPA(Wi-Fi Protected Access)、802.1x 暗号化方式
  ネットワークがサポートしている場合、これらの機能が使用されます。

無線 LAN 接続

無線 LAN を使用するには、無線 LAN アクセスポイント (IAP) を作成する必要があります。インターネットに接続する必要があるアプリケーションを使用する場合に、このアクセスポイントを使用します。「無線 LAN インターネットアクセスポイント」(P.202) を参照してください。

重要 : 無線 LAN 接続のセキュリティを向上させるために、利用可能な暗号化手段のいずれかを常に有効にしておいてください。暗号化を使用すると、データへの不正アクセスのリスクが軽減されます。

無線 LAN インターネットアクセスポイントを使用してデータ接続を行った場合に、無線 LAN 接続が確立されます。データ接続を終了すると、無線 LAN 接続が終了します。接続の終了については 「接続状況」(P.202) を参照してください。

通話中やパケットデータ接続中でも無線 LAN を使用することができます。同時に複数の無線 LAN アクセスポイント機器に接続することはできませんが、複数のアプリケーションで同じインターネットアクセスポイントを使用することができます。

無線 LAN が利用可能な場合、オフラインモードでも無線 LAN を使用することができます。有効な USIM カードが本機に挿入されている必要があります。無線 LAN 接続を確立する場合は、適用されるあらゆる安全上の要件に従うようにしてください。

補足：本機を識別する MAC アドレスを確認するには、待受画面で ***#62209526#** と入力してください。

待受画面から無線 LAN を利用する

カスタム待受画面 が **オン** に設定されている場合、待受画面に無線 LAN の接続状況が表示されます。待受画面から利用可能な無線 LAN を検索したり、ウェブにアクセスしたりすることができます。WLAN 検索が停止中で、無線 LAN に接続していない場合、接続状況には **WLAN スキャン停止中** が表示されます。

利用可能な無線 LAN を検索する

1 待受画面で WLAN スキャン停止中 へスクロールし、◉ を押す

更新中 と表示されます。

2 WLAN ネットワークを検出 > ◉ > WLAN 検索 を選択

利用可能な無線 LAN の一覧が表示されます。

3 使用する WLAN ネットワーク > ◉ を押す

アクセスポイントが定義され、選択した WLAN ネットワークに接続されます。

保護された無線 LAN ネットワークに接続する

保護された無線 LAN ネットワーク（🔒）を選択した場合、パスコードの入力を求められます。非公開ネットワークに接続する場合、正しいネットワーク名（SSID - service set identifier）を入力する必要があります。非公開無線 LAN ネットワークに接続するために新しいアクセスポイントを作成するには、**WLAN 検索** > **非公開 WLAN** > **新規 WLAN** を選択します。画面の指示に従って設定してください。

インターネットにアクセスする

無線 LAN を検索し、**WLAN ネットワークを検出** が表示された場合、インターネットアクセスポイント（IAP）を定義し **インターネット** を開始します。

1 待受画面で WLAN ネットワークを検出 または無線 LAN 名を選択 > ◉ > Web ブラウズ開始 を選択

2 無線 LAN を選択し、◉ を押す

アクセスポイントが定義されていない場合、アクセスポイントが自動的に定義され、**インターネット** が開きます。

無線 LAN に接続中は、インターネットアクセスポイント (IAP) 名が待受画面に表示されます。このアクセスポイントを使用して ウェブにアクセスするには、アクセスポイント名 > ◉ > **Web ブラウズ開始**、または **Web ブラウズ継続** を選択します。無線 LAN 接続を終了するには、待受画面に表示される WLAN 接続状況を選択し、オプションから **WLAN 接続解除** を選択します。

無線 LAN の検索を終了する

1 待受画面に表示される WLAN 接続状況へスクロールし、 を押す

オプションが表示されます。

2 WLAN スキャンをオフ を選択

WLAN ウィザード

WLAN ウィザードでは無線 LAN へ接続したり、無線 LAN 接続を管理したりすることができます。WLAN ウィザードを開くと、無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されます。

> ツール > WLAN

無線 LAN インターネットアクセスポイント

1 オプション を選択

次のオプションを選択することができます。

- **Web ブラウズ開始** - インターネット を開始します。
- **更新** - 利用可能な無線 LAN のリストを更新します。
- **WLAN ネットワークフィルタ** - 表示されたネットワークのリストにフィルタをかけます。次に無線 LAN を検索する時に、選択されたネットワークは検索対象から外されます。
- **詳細** - ネットワークの詳細情報を表示します。接続中のネットワークを選択した場合、その接続の詳細情報が表示されます。
- **アクセスポイント定義** - 無線 LAN のインターネットアクセスポイント（IAP）を定義します。
- **アクセスポイント編集** - インターネットアクセスポイント（IAP）の設定を変更します。

  無線 LAN には次の 2 つの **WLAN ネットワークモード** があります。

  - **インフラストラクチャ** - インフラストラクチャモードでは、無線 LAN アクセスポイントを介した無線機器間の相互通信と、有線 LAN ネットワークとの通信の 2 種類の通信が可能です。
  - **アドホック** - アドホックモードでは機器間で直接データの送受信を行うことができます。アドホックネットワークのインターネットアクセスポイントを作成するには、「無線 LAN アクセスポイント設定」(P.227) を参照してください。

新規無線 LAN アクセスポイントを作成する

無線 LAN アクセスポイントの新規作成については、「アクセスポイント」(P.226) を参照してください。

接続状況

接続状況 を使用してインターネットアクセスポイントを定義することができます。

> ツール > 外部接続 > 接続状況

■ データ接続

接続状況から、現在アクティブな GSM および WCDMA ネットワーク、無線 LAN の接続状況を確認することができます。

1 使用ﾃﾞｰﾀ接続 を選択

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ などに接続中の場合は、接続の名称が表示されます。

注意 : ご利用の携帯電話事業者から実際に請求される通話およびサービスのご利用料金は、ネットワークの機能、請求書発行時の端数計算、税金などによって異なる場合があります。

データ接続を終了する

- 1 件ずつ接続を終了するには、終了する接続を選択 > **オプション** > **切断** の順に選択します。
- すべての接続を終了する場合は、**オプション** > **すべて切断** を選択します。

接続の詳細を表示する

接続に関する詳細情報 (ベアラ、状態、送受信データ量など）を表示します。接続の種類により、詳細の表示内容は異なります。

1 詳細を表示する接続を選択 > オプション > 詳細 の順に選択

■ 無線 LAN

利用可能な無線 LAN を検索することができます。

1 有効な WLAN を選択

利用可能な無線 LAN の一覧が表示されます。一覧ではネットワークモード (**ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ** または **アドホック**)、電波強度インジケータと、次のアイコンが表示されます。

- - 暗号化されたネットワーク
- - ネットワークに接続中

2 オプション を選択

次のオプションを選択することができます。

- **詳細** - ネットワークの詳細情報を表示します。
- **ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ定義** - 選択した有効な無線 LAN のアクセスポイントが定義されます。
- **再読み込み** - 利用可能な無線 LAN の一覧を更新します。

Bluetooth 接続

本機では Bluetooth を利用して、携帯電話、PC、およびヘッドセットやカーキットなどの互換性のある機器やアクセサリと、ワイヤレスで接続することが可能です。静止画、ビデオ、音楽ファイル、およびノートなどを互換性のある機器に送信したり、互換性のある PC と接続してファイルを転送したり、互換性のあるプリンタと接続し、静止画を

印刷したりすることも可能です。(「画像を印刷する」 P.140)

Bluetooth では、電波を利用して通信を確立するので、本機と接続先の機器が見通し線上に置かれている必要はなく、10 メートル以内に配置されていれば通信が可能です。ただし、通信中には壁やその他の電子機器などの障害物による干渉を受ける可能性があります。

本機は Bluetooth Specification 2. 0 に準拠しており次の Bluetooth プロファイルをサポートしています : Advanced Audio Distribution Profile、Audio/Video Remote Control Profile、Basic Imaging Profile、Basic Printing Profile、Dial-up Networking Profile、File Transfer Profile、Hands-Free Profile、Headset Profile、Human Interface Device Profile、Object Push Profile、SIM Access profile、Synchronisation Profile。Bluetooth 技術をサポートする他の機器間の相互運用性を保証するため、Nokia が認定した本機用のアクセサリを使用してください。本機との互換性については、Bluetooth 機器の各メーカーにご確認ください。

地域によっては、Bluetooth の使用が制限される場合があります。ご利用になる地域の行政機関や携帯電話事業者にご確認ください。

Bluetooth 技術を使用する機能を実行したり、他機能の使用中にバックグラウンドで Bluetooth を使用する機能を実行したりすると、電池の消費量が増え、電池の消耗が早くなります。

本機がロックされている場合は、Bluetooth を利用することができません。(「セキュリティ」P.194)

■ Bluetooth を設定する

Bluetooth を利用するには、Bluetooth をオンにして、自機名称を他の機器に公開する必要があります。はじめて Bluetooth メニューを開くと、本機の名称を入力する画面が表示されます。本機の名称は後で変更することができます。

1 > ツール > Bluetooth の順に選択

次の設定をすることができます。

- **Bluetooth** - 他の互換性のある機器と接続するには、まずこの設定を **オン** にします。Bluetooth 接続をオフにするには **オフ** を選択します。
- **自機名称公開** - **全機器に公開** を選択すると、Bluetooth を利用している他の機器に本機名が表示されます。**時間設定** を選択すると、公開する時間を設定することができます。**非公開** を選択すると相手機器に本機名が表示されません。
- **機器名** - Bluetooth 利用時に、他の機器から確認できる本機の名称を定義します。
- **リモート SIM モード** - 互換性のあるカーキットなど他の機器がネットワークに接続するために、本機の USIM カードを使用できるようにするには **オン** を選択します。詳細については「リモート SIM モード」(P.207) を参照してください。

利用上の注意

Bluetooth を使用していない時は、**Bluetooth** > **オフ** にするか、**自機名称公開** > **非公開** にしてください。

身元不明の機器とペアリングしたり、そのような機器からの接続要求を受け入れたりしないでください。これにより、本機を有害なコンテンツから保護することができます。

■ Bluetooth 接続でデータを送信する

Bluetooth を利用して、一度に複数の互換性のある機器と接続することができます。例えば、本機で Bluetooth 接続のヘッドセットを使用しながら、他の互換性のある機器にファイルを送信することも可能です。

データを送信する

1 各アプリケーションから送信するアイテムを選択

例）ギャラリーに保存されている画像を送信する
ｷﾞｬﾗﾘｰ > **画像とビデオ** > 送信するファイルを選択

2 オプション > 送信 > Bluetooth の順に選択

接続可能な範囲にある Bluetooth 機器の検出を開始します。機器が検出されると画面にその機器のアイコンと機器名が表示されます。

- アイコン
  - - PC
  - - 携帯電話
  - - オーディオ、またはビデオ機器
  - - その他
- Bluetooth 機器の検出を中断するには、**停止** を選択します。接続先の機器が検出されたら、**停止** を選択すると時間の短縮になります。
- Bluetooth がオフの場合は、メッセージが表示されるので、オンにしてください。

3 画面に表示された Bluetooth 機器のリストから接続する機器を選択

接続先が受信を承諾し、接続が確立すると画面に **データ送信中** と表示されます。

- ペアリング（相互認証）が必要な機器を選択すると、データを送信する前にトーンが鳴り、パスコードの入力を求められます。(「機器をペアリングする」P.206)

補足：Bluetooth 機器の検出時、機器によっては固有のアドレス（機器アドレス）しか表示されない場合があります。本機のデバイスアドレスを確認するには、待受画面で ***#2820#** と入力します。

補足：Bluetooth を利用して、テキストを送信するには、**ノート** を開き、文章を入力して、**オプション** > **送信** > **Bluetooth** の順に選択します。

Bluetooth 接続のステータスを確認する

- 待受画面に ✱ が表示されると、Bluetooth 接続が起動中です。
- (✱) が点滅している場合、接続先機器へ接続を試みています。

- (✱) が点滅せずに表示されている場合、Bluetooth で通信中です。

機器をペアリングする

本機と他の Bluetooth 機器をペアリングすると、認証済みとなり、次回の通信からその機器の識別が容易になります。認証済みの機器は、認証済み機器画面（✱⁾⁾✱）に表示されます。

ペアリングを実行するには、独自のパスコード (1-16 桁) を作成し、ペアリング先の機器とそのパスコードを交換する必要があります。ユーザインターフェースが備わっていない機器の場合、パスコードは工場出荷時に設定されています。作成したパスコードは 1 回の使用に限り有効です。

1. **> ツール > Bluetooth > > 認証済み機器画面 (✱⁾⁾✱) の順に選択**
2. **オプション > 機器検索 を選択**
   - 認証済み機器を検出すると、機器名の右横に ✱✱ が表示されます。
3. **ペアリングする機器をリストから選択**
   パスコードの入力画面が表示されます。
4. **パスコード (1 ～ 16 桁）を本機に入力**
5. **同じパスコードをペアリング先の機器にも入力**
6. **ペアリングが確立すると、認証済み機器画面に機器名が表示される**
   自動接続するかどうかメッセージが表示されます。詳細は後述の「Bluetooth 機器を自動接続する」を参照してください。

オーディオアクセサリなど機器によっては、ペアリングすると自動的に本機と接続される場合もありますが、自動的に接続されない場合はアクセサリを選択し、**オプション** > **オーディオ機器に接続** を選択します。

Bluetooth 機器を自動接続する

Bluetooth 機器をペアリングすると、機器を自動接続するかどうかを聞かれます。自動接続を設定すると、その機器との接続を通知なしで確立することができ、個別の認証は必要ありません。この設定は、自分が所有している互換性のある PC やヘッドセットなどの機器や、信頼できる所有者の機器間で使用してください。機器が認証されると、認証済み機器名の右横に、 が表示されます。

1. **認証済み機器画面 (✱⁾⁾✱) を選択**
2. **リストから設定する機器を選択 > オプション > 自動接続を設定 を選択**

自動接続を解除する

自動接続を解除すると、この機器からの接続要求は、毎回個別に認証する必要があります。

1. **認証済み機器画面 (✱⁾⁾✱) を選択**
2. **解除する機器を選択 > オプション > 自動接続を解除 を選択**

ペアリングを解除する

1 **認証済み機器画面 (⁎)) を選択**

2 **解除する機器を選択 > オプション > 削除 を選択**

ペアリング解消のメッセージが表示されます。

3 **はい を選択**

すべてのペアリングを解除する

1 **オプション > すべて削除 を選択**

ペアリング解消のメッセージが表示されます。

2 **はい を選択**

■ Bluetooth 接続でデータを受信する

Bluetooth 接続でデータを受信すると、トーンが鳴り、確認メッセージが表示されます。

1 **画面に Bluetooth の受信要求が表示**

機器名もメッセージ内に表示されます。

2 **はい を選択**

データを受信すると、✉ が画面上部に表示され、受信のメッセージが表示され、**メール** の **受信メール** フォルダに保存されます。

- Bluetooth 接続で受信したメールのタイトルの前には、 が表示されます。(「メール受信」P.88)

■ Bluetooth 接続をオフにする

1 **> ツール > Bluetooth の順に選択**

2 **Bluetooth > ◉ > オフ にする**

リモート SIM モード

リモート SIM モードで、互換性のあるカーキットなどを接続する場合には、本機で Bluetooth をオンに設定し、リモート SIM モードを有効にします。(「Bluetooth を設定する」P.204) モードを有効にする前に、カーキットなどの他の機器と本機をペアリングをする必要があります。ペアリングは他の機器からおこない、16 桁のパスコードを入力して他の機器を認証します。(「機器をペアリングする」P.206) リモート SIM モードは他の機器から開始します。

本機でリモート SIM モードをオンに設定して互換性のあるアクセサリと接続した場合、待受画面に **リモート SIM** が表示されます。ワイヤレスネットワークへの接続はオフになり、電波強度インジケータに ✖ が表示され、SIM カードサービスやセルラーネットワーク圏内での機能などが利用できません。

本機のリモート SIM モード設定中は、車内用キットなどの接続された互換性のあるアクセサリのみを使用して、発信または受信を行うことができます。このモードの間、本機は本機にプログラムされている緊急電話番号を除き、通話を行うことができません。本機から通話するには、まずリモート SIM モードを終了する必要があります。本機がロックされている場合は、最初にロックコードを入力してロックを外す必要があります。

リモート SIM モードを終了するには、 を押し、**リモート SIM モード終了** 選択します。

データケーブル

 > **ツール** > **外部接続** > **USB**

USB モード では、本機と他の機器を USB ケーブルで接続する場合に、その接続先を指定します。

接続時に確認 を **はい** に設定すると、本機に USB ケーブルを接続するごとに、接続先を選択します。

接続時に確認 を **いいえ** に設定した場合や、接続中に **USB モード** を変更したい場合は、**USB モード** で接続先を選択します。

1. **USB モード** > **を押す**
2. **接続先を次から選択し、OK を選択**
   - **PC Suite** - Nokia Nseries PC suite や Nokia Photos など Nokia PC アプリケーションを使用する場合に選択します。
   - **データ転送** - 互換性のある PC と本機との間でデータを転送する場合に選択します。電話機のメモリカードを外付けハードディスクとして使用します。電話機にメモリカードが挿入されていない場合、この機能は使用できません。Nokia Map Loader PC アプリケーションを利用して地図をダウンロードする場合にも選択します。
   - **画像印刷** - 互換性のあるプリンタを使用して画像を印刷する場合に選択します。(「画像を印刷する」P.140)
   - **メディアプレーヤー** - Windows Media Player で音楽ファイルを転送する場合に選択します。(「Windows Media Player で音楽を転送する」P.159)

データ転送

今まで使用していた互換性のある Nokia の電話機から本機へ、電話帳やカレンダーエントリなどのデータを Bluetooth 接続を利用して転送することができます。互換性のない電話機の場合は、本機にメッセージが表示されます。転送可能なデータの種類は、機種によって異なります。他の機器に同期機能が搭載されている場合は、同期によってデータを転送することも可能です。

オフラインモードでもデータ転送は可能です。有効な USIM カードが本機に挿入されている必要があります。

他の機器から転送されたコンテンツは、本機の対応するアプリケーションの保存領域にコピーされます。転送にかかる時間は、転送するデータ量によって異なります。いったん転送を解除して、後ほど再開することもできます。

■ Bluetooth でデータを転送する

Bluetooth でデータを転送するには、相互の機器が Bluetooth 機能に対応している必要があります。

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** **の順に選択**

はじめてデータ転送メニューに入ると、データ転送に関する情報が表示されるので、**続行** を選択してください。

- ２回目以降は、**同期開始**、**受信開始**、**送信開始** アイコンが表示されます。アイコンを選択すると、以前に接続した電話機名が表示されます。リストに含まれない機器を選択するには、**その他** を選択してください。(「データの同期 / 受信 / 送信」P.209)

2 **接続先を選択する**

メッセージが表示されるので、相手の機器のBluetooth をオンにしてください。

- 本機の Bluetooth がオフになっているとオンにするようメッセージが表示されるので、**はい** を選択します。

3 **続行** **を選択**

- はじめてデータ転送をおこなう場合は、Bluetooth 機器の検索が開始されます。
- ２回目以降の操作については、「データの同期 / 受信 / 送信」(P.209) を参照してください。

4 **接続する機器を選択する**

パスコード定義のメッセージが表示されます。

5 **OK** **を選択**

本機にパスコード（1～１６桁）の入力画面が表示されます。

6 **本機にパスコードを入力** > **OK** **を選択**

相手の機器にパスコードの入力画面が表示されます。

7 **接続先にも同じパスコードを入力**

接続が確立すると、本機にデータ選択画面が表示されます。

- 転送できるデータは電話機により異なります。
- 電話機の機種によっては、**データ転送** アプリケーションは、メッセージとして送信されます。相手の機器に **データ転送** アプリケーションをインストールするには、メッセージを開いて、画面に表示されるインストラクションに従ってください。

8 **本機に転送するデータを選択** > **OK** **を選択**

転送が完了するとメッセージが表示されます。

■ データの同期 / 受信 / 送信

最初のデータ転送後に、新たにデータを転送する場合は、相手の機器により、次の操作を選択してください。

- (**同期開始**) - 相手の機器が同期をサポートしている場合、本機とデータの同期をおこないます。同期は双方向におこなわれ、同期中にどちらかの機器でデータが削除されると、もう一方の機器でもデータが削除されます。同期で削除したデータを復元することはできません。
- (**受信開始**) - 相手の機器からのデータを本機で受信します。受信をおこなうと、相手の機器から本機へデータが転送されます。相手の機器の機種によっては、相手の機器のオリジナルデータを削除するかどうかの確認メッセージが表示される場合があります。

・ (**送信開始**) - 本機から相手の機器へデータを送信します。

相手の機種によって、**ﾃﾞｰﾀ転送** でデータを転送できない場合、データを **Nokia フォルダ** (電話機メモリの **C:\Nokia**、またはメモリカードの **E:\Nokia**) に保存して、そこから転送することができます。転送するフォルダを選択した場合、データは相手の機器の対応するフォルダと同期されます。データを受信する場合も同様に対応するフォルダのデータが同期されます。

データを同期する

相手の機器が同期をサポートしている場合は、両方の機器でデータを最新の状態に保つことができます。

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** > (**同期開始**) **の順に選択**

以前に接続した電話機のリストが表示されます。リストに含まれない機器を選択するには、**その他** を選択します。

2 同期する電話機を選択 > **続行** **を選択**

画面にメッセージが表示されるので、指示に従ってください。

- 以前に接続した時と同じ転送方法で同期を開始します。

同期は双方向におこなわれ、両方の機器のデータが同じになります。同期中にどちらかの機器でデータが削除されると、もう一方の機器でもデータが削除されます。同期で削除したデータを復元することはできません。

■ ショートカットを使用した転送

データ転送後に、転送設定をショートカットとして保存することができます。保存したショートカットを使用して、後で再度転送をおこなうことができます。

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** **の順に選択**

2 保存したショートカットを選択

転送後には、転送のログが表示されます。

■ ショートカットを編集する

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** **の順に選択**

2 編集するショートカット > **オプション** **>** **ショートカット設定** **を選択**

同期データタイプ、**競合時の設定**、**ショートカット名** を編集することができます。

■ 転送ログを確認する

前回行った転送のログを表示することができます。

1 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾃﾞｰﾀ転送** > **オプション** > **ログ表示** **の順に選択**

■ データ競合の処理

転送されるアイテムが本機と相手の機器の両方で修正された場合、本機では修正を自動的にマージしようとします。マージができなかった場合、転送でデータの競合がおこります。競合を解決するには、**オプション** > **ショートカット設定** > **競合時の設定** で、**個別に確認**、**本電話機を優先**、または **相手電話機を優先** のいずれかを選択します。

その他データ通信

■ PC 接続

本機は、さまざまな PC 接続アプリケーションとデータ通信アプリケーションで使用できます。Nokia Nseries PC Suite を使用すると、電話帳、カレンダー、To-do、画像などを、本機と互換性のある PC との間で同期させることができます。

本機をモデムとして使用する

本機は、Bluetooth 接続、データケーブルで互換 PC と接続することによって、E-mail の送受信やインターネットへの接続用モデムとして使用できます。インストール手順の詳細については、Nokia Nseries PC Suite のヘルプ機能を参照してください。

補足：最初に Nokia Nseries PC Suite を利用して、互換性のある PC と本機を接続する場合は、Nokia Nseries PC Suite に搭載されている 接続ウィザードをお使いください。

■ 同期

> **ツール** > **同期**

同期 を利用して、ノート、カレンダー、電話帳などを、互換性のある PC、あるいはインターネット上にある各種カレンダーや、アドレス帳などのアプリケーションと同期することができます。同期の設定を定義したり、変更したりすることも可能です。

同期プロファイルでは、サーバ上のリモートデータベースや互換性のある機器と同期するために必要な設定をおこないます。

新しい同期プロファイルを作成する

1 **オプション** > **新規同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** **を選択**

メッセージが表示されます。

- 既存のプロファイルの値をコピーする場合は、**はい** 、新しく値を設定する場合は、**いいえ** を選択します。

2 **次の機能を設定し、戻る を選択**

同期プロファイル名 - プロファイルの名前を入力します。

アプリケーション - 各種アプリケーションの同期設定をおこないます。

- **同期に含める** - そのアプリケーションを同期する場合は、**はい** を選択します。
- **ﾘﾓｰﾄﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ** - リモートサーバ上の各アプリケーションのデータベースへのパスを入力します。
- **同期タイプ** - **両方向** (双方向の同期)、**サーバ側を更新**、**電話機側を更新** のいずれかを選択します。

接続設定 - 同期用サーバに対する設定をおこないます。

- **サーババージョン** - 同期サーバのバージョンを選択します。
- **サーバ ID** - サーバを識別する固有の ID を入力します。
- **データベアラ** - **Bluetooth** または **インターネット** を選択します。USB ケーブルで接続する場合は、「データケーブル」(P.208) を参照してください。
- **アクセスポイント** - アクセスポイントを選択します。
- **ホストアドレス** - 正しい値については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **ポート** - サーバのポート番号を入力します。
- **ユーザ名** - 同期サーバに使用するユーザ ID。正しい ID については、サービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **パスワード** - パスワードを入力します。正しい値についてはサービスプロバイダまたはシステム管理者にお問い合わせください。
- **同期要求を許可** - 同期サーバが同期を開始できるように設定するには、**はい** を選択します。
- **全同期要求を自動承認** - サーバが初期化した同期を開始する前に、本機がメッセージを表示するように設定するには、**いいえ** を選択します。
- **ネットワーク認証** - サーバへのネットワーク接続を認証するには、**はい** を選択します。

データを同期する

同期 のメイン表示では、他の同期プロファイルや同期させるデータの種類を表示することができます。

1 **同期プロファイルを選択 > オプション > 同期 を選択**

   データベアラ で **Bluetooth** を選択した場合、Bluetooth で他機器の検索が開始されます。前回使用した機器がある場合は、その機器名が表示されます。
   - Bluetooth がオフの場合、オンにするようにメッセージが表示されます。

2 **相手先を選択 > ◉ を押す**

   同期のステータス (「完了」または「未完了」) が、画面下部に表示されます。同期が完了すると、メッセージが画面に表示されます。
   - 完了前に同期を中断するには、**キャンセル** を選択します。
   - 電話機側から同期ができない場合、Nokia Nseries PC suite を利用して PC 側から同期をおこなってください。

プロファイルを編集する

1 **変更する同期プロファイルを選択 > オプション > 同期ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ編集 を選択**

同期プロファイルを削除する

1 **削除するプロファイルを選択 > オプション > 削除 を選択**

削除を確認するメッセージが表示されます。

2 **はい を選択**

デバイスマネージャ

携帯電話事業者、サービスプロバイダ、または企業情報管理部門からサーバプロファイルや各種構成設定を受信できる場合があります。これらの構成設定には、データ接続用のアクセスポイント設定や、本機内の各種アプリケーションで使用する設定などがあります。

サーバに接続して、本機用の構成設定を受信する

1 **> ツール > ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ > デバイス > > 受信するプロファイル > オプション > 設定開始 の順に選択**

サーバプロファイル設定

を押して、**プロファイル** タブを選択

新しいサーバプロファイルを追加するには、**オプション** > **新規ｻｰﾊﾞﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** を選択してください。正確な設定については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

- **サーバ名** - 構成サーバの名前を入力します。
- **サーバ ID** - 構成サーバを識別する固有の ID を入力します。
- **サーバパスワード** - お客様の電話機をサーバに識別させるパスワードを入力します。
- **セッションモード** - セッションモードを選択します。
- **アクセスポイント** - サーバに接続するときに使用するアクセスポイントを選択します。
- **ホストアドレス** - サーバの URL アドレスを入力します。
- **ポート** - サーバのポート番号を入力します。
- **ユーザ名** / **パスワード** - ユーザ名とパスワードを入力します。
- **構成を許可** - サーバに接続して、本機用の構成設定を受信するには、**はい** を選択します。
- **全要求自動承認** - サーバからの構成設定の受信を許可するかどうか確認したうえで受信するようにするには、**いいえ** を選択します。
- **ネットワーク認証** - サーバへのネットワーク接続を認証するには、**はい** を選択します。

ディスプレイ設定

テーマ設定

> **ツール** > **設定** > **一般** > **カスタマイズ** > **テーマ**

1 一般 > テーマを選択し、オプション > 適用を選択

使用中のテーマには、✓ が表示されます。

- テーマを設定する前にプレビューするには、**オプション** > **プレビュー** を選択します。

■ 壁紙を設定する

1 壁紙 > 画像 を選択

ｷﾞｬﾗﾘｰ に保存されている静止画のリストが開きます。

2 壁紙に設定する静止画を選択

設定した壁紙を解除する

1 壁紙 > デフォルト を選択

パワーセーバーの表示を変更する

1 ﾊﾟﾜｰｾｰﾊﾞｰ を選択

2 日時表示、テキスト表示、または アニメーション を選択

- **アニメーション** を選択した場合、**ｱﾆﾒｰｼｮﾝﾌｧｲﾙ**、**ｱﾆﾒｰｼｮﾝ表示時間**、**ライト点灯時間** を設定します。**オプション** > **プレビュー** で設定した **アニメーション** を確認することができます。設定内容を変更するには、**オプション** > **変更** を選択します。
- **ﾊﾟﾜｰｾｰﾊﾞｰ起動時間** を設定する場合は、「画面」(P.221) を参照してください。

日時設定

> **アプリ** > **時計** > **オプション** > **設定**

■ 時計表示設定

1 時計のタイプ を選択

2 ◙ を押して、アナログ または デジタル を選択

時刻表示形式 あるいは **時刻区切り文字** も設定することができます。

■ 日付時刻設定

1 時刻 > 時刻を入力 > OK を選択

2 日付 > 日付を入力 > OK を選択

- ダイヤルキー、またはナビゲーションキーを使用して入力することができます。

- **ネットワーク時刻** を **自動更新** に設定すると、携帯電話ネットワークを使用して本機の時刻、日付、タイムゾーンが更新され、時刻の誤差が調整されます (ネットワークが対応している場合)。
- **日付形式**、**日付区切り文字** を設定することもできます。

アラームを設定する

1 > **アプリ** > **時計** > を押す

アラームタブが開きます。

2 オプション > **新規アラーム** **を選択**

次の設定をおこないます。

- **アラーム時刻**
- **説明** - アラームの説明を入力します。
- **繰り返し** - **繰り返しなし**、**毎日**、**毎週**、**アラーム曜日** から選択します。**アラーム曜日** を選択すると、**オプション** > **設定** > **アラーム曜日** で指定した曜日に毎週アラームが設定されます。
- **アラーム曜日** - **繰り返し** で **繰り返しなし**、または **毎週** を選択した場合に、曜日を指定することができます。

3 完了 **を選択**

待受画面に が表示されます。

4 アラームが鳴ったときに停止する場合は、停止 を選択

- **スヌーズ** を選択した場合、アラームはいったん停止しますが、約 5 分後に再び鳴り始めます。
- アラーム音を変更する場合は、**オプション** > **設定** > **アラーム音** を選択します。

> **アプリ** > **時計** > **オプション** > **新規クイックアラーム** の順に選択し、アラーム時刻を入力して、繰り返しのないアラームを設定することもできます。

本機の電源が入っていないときにアラーム時刻になると、自動的に電源が入ってアラーム音が鳴り始めます。**停止** を選択すると、通話できる状態にするかどうかの確認が本機に表示されます。電源を切る場合は **いいえ** を選択します。電話をかけたり受けたりする場合は **はい** を選択します。携帯電話によって電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、**はい** を選択しないでください。

アラームを変更する

1 変更するアラームを選択 > オプション > アラーム変更 > を押す

2 設定を変更し、完了 を選択

アラームを削除する

1 解除するアラームを選択 > オプション > アラーム削除 の順に選択

確認のメッセージが表示されます。

2 はい を選択

アラームが削除されます。

■ 世界時計

> **アプリ** > **時計** > を 2 回押す

都市を追加する

1 **オプション** > **都市追加** を選択
- 都市名の最初の文字を入力します。(「都市を設定する」P.28)

2 都市を選択し、 を押す
- 最大 15 都市まで設定することができます。

現在地の設定をする

1 設定する都市を選択し、**オプション** > **現在の都市に設定** > **はい** の順に選択
- 時刻とタイムゾーンが合っているかを確認してください。

夏時間のある都市に設定すると、**時計** の現在時刻表示画面の右横に、 が表示されます。

カスタム待受画面

待受画面から頻繁に使用するアプリケーションを起動したり、予定などを素早く確認したりすることができます。

画面上部にデフォルトとして設定されたアプリケーションのアイコンが表示され、その下にカレンダー、To-do など保存されている予定が表示されます。

> **ツール** > **設定** > **一般** > **カスタマイズ** > **待受画面** > **待受画面のキー設定**

■ カスタム待受画面を設定 / 解除する

1 **カスタム待受画面** > **オプション** > **変更** > **オン** または **オフ** の順に選択
- デフォルトではオンになっています。オフにすると待受画面からショートカットアイコンや、予定の表示が消えます。
- カスタム待受画面がオンの場合、待受画面で使用できる標準のナビゲーションキーショートカットが使用できなくなります。

起動するアプリケーションを変更する

1 **ショートカット、または カスタム待受画面設定 を選択**
   - **カスタム待受画面設定** は **カスタム待受画面** が **オン** の場合に表示されます。

2 **ショートカットを選択し、オプション > 変更 を選択**

   ショートカットとして設定できるアプリケーションのリストが表示されます。

3 **アプリケーションを選択し、OK を選択**

   補足：ソフトキー（左・右）、ナビゲーションキー（上・下・左・右）、決定キーに登録されているショートカットを変更することができます。(「待受画面のキー設定」P.221)
   ナビゲーションキーと決定キーは **カスタム待受画面** がオフの場合に表示されます。

ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞを設定する

1 **> ツール > 設定 > 一般 > カスタマイズ > 画面 > ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞ の順に選択**

ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞを変更することができます。
(「画面」P.221)

メインメニュー表示を変更する

リスト表示 / アイコン表示を選択する

メインメニュー表示をリスト表示またはアイコン表示に変更することができます。

1 **> オプション > メニュー表示変更 > アイコン、または リスト の順に選択**

アニメーションアイコンを使用する

1 **> オプション > ｱｲｺﾝｱﾆﾒｰｼｮﾝ > オン の順に選択**

アプリケーションを移動する

アプリケーションを移動して位置を変更したり、新しいフォルダを作成することができます。

1 **> 移動するアプリケーションを選択 > オプション > 移動、フォルダへ移動 または 新規フォルダ の順に選択**

英語表示に切り替える

1 **> ツール > 設定 > 一般 > カスタマイズ > 言語 > 表示言語 > English の順に選択**

本機が自動的に再起動し、選択した言語表示となります。

音の設定

モードの設定

本機ではあらかじめ、次のモードが登録されています。これらのモードをお好みで変更することもできます。

・ **通常モード** - 初期設定では電話やメールの着信音、キー確認音や警告音がオン、バイブレータがオフの設定になっています。お買い上げの際は、このモードが設定されています。
・ **マナーモード** - 初期設定では、着信音がオフ、バイブレータがオンになっています。(「マナーモード」P.29)
・ **会議モード** - 初期設定では、着信音がもっとも小さい音量で、ビープ音が鳴る設定になっています。
・ **屋外モード** - 初期設定では、着信音がもっとも大きい音量に設定されています。
・ **ﾎﾟｹﾍﾞﾙﾓｰﾄﾞ** - 初期設定では、着信音がオフ、バイブレータがオンに設定されています。
・ **ｵﾌﾗｲﾝﾓｰﾄﾞ** - ネットワークに接続せずに、本機を使用することができます。(「オフラインモード」P.30)

補足 : 現在選択されているモードは、待受画面の上部で確認できます。**通常モード** が使用されている場合は、現在の日付だけが表示されます。

■ 使用するモードを変更する

1 ⓘ を短く押す

モードリストが表示されます。

2 ▢または▢を押してモードを選択し、OK を選択

• ⚙ > **ツール** > **モード** > モード選択 > **オプション** > **開始** を選択して、変更することもできます。

■ 新しいモードを作成する

1 ⚙ > ツール > モード > オプション > 新規モード作成 の順に選択

補足 : **発信者名を発音** > **オン** を選択すると、電話帳に登録してある人から電話がかかってきたときに、その人の名前を着信音と同時に発声することができます。あらかじめ **電話帳** に通話相手の登録をしておく必要があります。(「声で電話をかける」P.61)

- 作成した新規モードを削除するには、削除するモード > **オプション** > **モード削除** の順に選択します。

着信音量の設定

1 > **ツール** > **モード** > **モード選択** > **オプション** > **カスタマイズ** **の順に選択**

2 **着信音量** **を選択**

3 **または** **を押し、音量レベルを選択**

- 音量レベルは、1～10 段階から選択できます。
- 変更した音量レベルを選択したまま数秒間待つと、自動的に着信音が再生され、設定した音量を確認することができます。

着信パターンの設定

> **ツール** > **モード** > **モード選択** > **オプション** > **カスタマイズ**

■ 着信音を設定する

著作権で保護されているファイルは着信音に設定できません。

1 **着信音** **を選択**

着信音のリストが表示されます。

2 **または** **を押し、着信音を選択**

- メモリカードに保存されている着信音には、が表示されます。
- 着信音リストから着信音を試聴することができます。試聴する着信音を選択し、数秒待つと着信音が再生されます。再生音を停止する場合は、いずれかのキーを押します。
- **テレビ電話着信音**、**メッセージ受信音**、**E-mail 受信音** についても同様に設定することができます。

■ 着信音の再生方法を設定する

1 **着信音の再生方法** **を選択**

2 **通常着信音**、**次第に大きく**、**再生一回**、**ビープ音一回**、**着信音なし** **から選択**

■ バイブレータを設定する

1 **バイブレータ** **を選択**

2 **オン** **を選択**

- バイブレータが有効となります。

効果音 - キー確認音の設定

1 [icon] **> ツール > モード > モード選択 > オプション > カスタマイズ の順に選択**

2 キー確認音 を選択

3 [key] **または** [key] **を押し、キー確認音量レベルを選択**

- 音量レベルは、オフ～レベル３から選択できます。
- キー確認音リストから各レベルを選択すると、その音量が再生され、実際のキー確認音量を確認することができます。

発信者名を発音、**警告音** についても同様に設定することができます。

3D 着信音

3D 着信音では着信音に 3D 効果を設定することができます。すべての着信音で 3D 効果をサポートしているわけではありません。

[icon] **> ツール > ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ > 3D 着信音**

3D 効果を有効にする

1 3D サウンド効果 > オン を選択

3D 効果を変更する

1 音源の動き を選択

2 リストから音源の動きを選択 > OK を選択

効果は着信音によって異なります。

3D 効果を調整する

次の設定を変更し、3D 効果を調整することができます。この設定はすべての着信音で有効であるとは限りません。**音源の速度** と **ドップラー効果** については、**音源の動き** のすべてのオプションに対応するとは限りません。

- **音源の速度** - 音源が移動するスピードを設定します。
- **音場効果** - エコーのレベルを調節します。お好きな効果音を選択します。効果は着信音によって異なります。
- **ドップラー効果** - **オン** に設定すると、着信音の音の高さが変化し、音が低くなったり高くなったりします。**音源の動き** で選択したオプションによっては、表示されない場合があります。

補足：3D 効果を適用した着信音を聞いてみるには、**オプション** > **着信音テスト** を選択します。

その他の設定

一般設定

■ カスタマイズ

> **ツール** > **設定** > **一般** > **カスタマイズ**

本機の一般的な設定を変更したり、デフォルト値に戻したりすることができます。

画面

1 画面 を選択

明るさ - ディスプレイの表示を明るくしたり暗くしたりできます。画面の明るさは、▢または▢で調整してください。

縦横切り替え - 本機の向きに合わせて、画面表示を自動的に回転します。ほとんどのアプリケーションで画面がポートレート、またはランドスケープに切り替わります。自動画面切り替えが正しく動作するようにするには、本機を左右に傾けずにまっすぐ持ちます。本機を反時計回りに回転すると、画面がランドスケープに切り替わります。ポートレートに戻すには、時計回りに回転させます。アプリケーションで画面切り替え設定を変更した場合、自動画面切り替えは無効になりますが、アプリケーションを終了すると自動画面切り替えが再び有効になります。この機能をオフにするには、**オフ** を選択します。

ﾊﾟﾜｰｾｰﾊﾞｰ起動時間 - タイムアウト時間が過ぎるとパワーセーバーが表示されます。

フォントサイズ - 画面に表示される文字とアイコンの大きさを調節します。

ｳｪｲｸｱｯﾌﾟﾒｯｾｰｼﾞ / ﾛｺﾞ - 本機の電源を入れると、ウェイクアップメッセージまたはロゴが数秒間表示されます。デフォルト画像を使用する場合は、**デフォルト** を選択し、ウェイクアップメッセージ (英字で最大 50 文字まで) を入力する場合は、**テキスト** を選択します。また、**ｷﾞｬﾗﾘｰ** で写真や画像を選択する場合は、**画像** を選択します。

ライト点灯時間 - バックライトがオフになるまでのタイムアウト時間を選択します。

待受画面のキー設定

1 待受画面のキー設定 を選択

カスタム待受画面 - 待受画面でアプリケーションのショートカットを表示します。(「カスタム待受画面」P.216)

ショートカット - 待受画面でショートカットを左ソフトキー、または右ソフトキーに設定するには、**左ソ**

フトキー または **右ソフトキー** を選択し、リストからアプリケーションを選択します。

補足： リストからアプリケーションを選択することにより、ナビゲーションキーのショートカットを登録することもできます。**カスタム待受画面** がオンである場合、ナビゲーションキーのショートカットは使用できません。

カスタム待受画面設定 - カスタム待受画面に表示するアプリケーションを選択します。あらかじめ **カスタム待受画面** が **オン** となっている必要があります。

オペレータロゴ - この設定はオペレータロゴを受信して保存している場合にのみ表示され、オペレータロゴを表示するかどうかを選択できます。

言語の設定

1 言語 を選択

表示言語 - 本機の表示言語を変更すると、日時の表示形式や計算などで使用する区切り記号も変わります。**自動** を使用すると、USIM カードの情報に応じて言語が選択されます。表示言語を変更すると、本機が再起動します。

補足：表示言語 の設定変更は、本機のすべてのアプリケーションに影響します。この変更は設定を再度変更するまで変わりません。

日本語予測 - 本機のすべてのエディタに対して日本語予測文字入力を **オン** または **オフ** に設定できます。

予測辞書リセット - 日本語予測辞書をリセットします。変換した文字は、自動的に変換候補リストに記録されます。お客様がユーザ辞書に登録した単語や頻繁に使用する単語が、変換候補リストの上位に表示されます。変換候補リストは初期値にリセットされますが、お客様がユーザ辞書に登録した単語は影響を受けません。

英語予測 - 本機のすべてのエディタに対して英語予測文字入力を **オン** または **オフ** に設定できます。

ｷｰ入力ﾀｲﾑｱｳﾄ - テキスト入力時に、次の文字にカーソルが移動するまでの時間を選択することができます。

■ アクセサリ設定

> ツール > 設定 > 一般 > アクセサリ > アクセサリを選択

アイコン

本機にアクセサリを接続すると、待受画面にアイコンが表示されます。
- 互換性のあるイヤホンマイク接続中
- カーキット接続中

ヘッドセット、**ヘッドホン**、**無線カーキット**、**外部スピーカー**、**TV 出力**、**文字電話** を選択し、**オプション** > **開く** を選択します。次の設定をおこなうことがで

きます。(文字電話のアクセサリは現在国内では販売されておりません。)

表示されるオプションはアクセサリによって異なります。

デフォルトモード - 特定のアクセサリを接続した場合に、開始されるモードを設定します。(「着信パターンの設定」P.219)

自動応答 - 着信してから約5秒後に、自動応答するように設定します。着信音が **ビープ音一回** または **着信音なし** に設定されている場合は、自動応答は無効となります。

ライト - タイムアウト時間が過ぎた後、ライトをオンにしたままの状態にするか、オフにするかを設定します。この設定はアクセサリによって設定できない場合があります。

TV 出力

TV 出力の設定を変更するには、**TV 出力** > **オプション** > **開く** を選択します。次の設定をおこなうことができます。

デフォルトモード - ビデオ出力ケーブルを本機に接続した場合に、開始されるモードを設定します。

TV 画面サイズ - TV の縦横比 (アスペクト比) を **標準** または **ワイドスクリーン** から選択します。

TV システム - TV と互換性のあるアナログビデオ信号システムを選択します。

ちらつき防止フィルタ - TV 画面のちらつきを防止するには **オン** を選択します。ちらつき防止フィルタはすべての TV 画面で画像のちらつきを低減するわけではありません。

■ 位置情報機能

> **ツール** > **設定** > **一般** > **位置情報機能**

位置情報取得方式

本機の位置を確認するために使用する位置情報取得方式を選択します。

- **Bluetooth GPS** - Bluetooth 接続で互換性のある外部 GPS 受信機を使用します。
- **アシスト型 GPS** - アシスト型 GPS(A-GPS) を使用します。
- **内蔵 GPS** - 本機に内蔵されている GPS 受信機を使用します。
- **ﾈｯﾄﾜｰｸﾍﾞｰｽ** - セルラーネットワーク (ネットワークサービス) からの情報を使用します。

位置情報サーバ

A-GPS の **アクセスポイント** を設定します。

電話機設定

通話設定

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **通話**

発信者番号通知 (ネットワークサービス) - 詳細については、「発信者番号通知」(P.82) を参照してください。

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話番号通知 - インターネット電話利用時に、通話相手にインターネット電話番号を通知する場合は、**オン** を選択し、非通知にする場合は、**オフ** を選択します。

割込通話サービス (ネットワークサービス) - 詳細については、「割込通話」(P.79) を参照してください。

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｺｰﾙｳｪｲﾃｨﾝｸﾞ - 通話中にインターネット電話を着信したことを通知するには、**有効** を選択します。

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ着信通知 - インターネット電話を着信したことを通知するには、**オン** を選択します。**オフ** を選択した場合、着信しても通知されませんが、不在着信を知らせるメッセージが表示されます。

デフォルト電話タイプ - 開始キーを押して電話をかけるときに **ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話** をデフォルトとして使用する場合は、**ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話** を選択します。インターネット電話サービスが利用できない場合、通常電話が使用されます。

通話拒否時 SMS 送信 - 電話に応答できない理由を知らせる SMS を発信者に送信する場合は、**オン** を選択します。(「電話にでられないとき」P.62)

通話拒否時定型文 - 応答を拒否したときに SMS で送信する本文を入力します。

テレビ電話の静止画 - テレビ電話がかかってきた場合に映像送信を拒否できます。映像のかわりに表示する静止画を選択します。

国際ｱｸｾｽｺｰﾄﾞ置換 - 日本から国際電話をかけるときに使用する特定の国際電話アクセス番号がある場合は、**オン** を選択して、国際電話アクセス番号を入力します。+ 記号で始まる電話番号を電話帳に保存し、国コードが 81 でない（81 は日本の国コード）場合、その番号に電話をかけると、+ 記号がここで保存したアクセス番号に置き換えられます。保存したアクセス番号が使用されていない国から通話するときは、**オフ** を選択します。この設定は、電話、テレビ電話、データ通信、FAX 通信の場合のみ有効ですが、携帯電話事業者間のローミング契約によって異なることがあります。

自動リダイヤル - **オン** を選択すると、電話がつながらない場合に最大 10 回まで自動的に電話をかけ直すことができます。自動リダイヤルを停止するには、終了キーを押します。

通話時間表示 - 通話中に通話時間を本機に表示させる場合は、**オン** を選択します。

通話後の情報表示 - 通話後のおおよその通話時間を本機に表示させる場合は、**オン** を選択します。

ワンタッチダイヤル - **オン** を選択すると、ワンタッチダイヤルキー（ 2 ～ 9 ） を長く押すことで、そのキーに登録した番号に電話をかけることができます。（「ワンタッチダイヤルで電話をかける」P.61）

エニーキーアンサー - **オン** を選択すると、どのキー（左右ソフトキー、終了キー、 は除く）を押しても、かかってきた電話に応答できるようになります。

ネットワーク

> **ツール** > **設定** > **電話機** > **ネットワーク**

本機は、GSM ネットワークと WCDMA ネットワークを自動的に切り替えることができます。GSM ネットワークの場合、待受画面に が表示されます。WCDMA ネットワークの場合は 3G が表示されます。

ネットワークモード - デフォルトの **デュアルモード** が選択されている限り、ネットワークパラメータと携帯電話事業者間でのローミング契約に基づいて、本機が自動的に GSM または WCDMA ネットワークを使用します。ローミングについて詳しくは、ご契約されている携帯電話事業者にお問い合わせください。

警告：GSM ネットワークだけを使用するよう設定し、選択したネットワークが使用できない場合は、緊急電話を含むすべての電話が発信できなくなる、またはネットワーク接続が必要になる機能が使用できなくなります。

携帯電話事業者選択 - **自動** を選択すると、本機がネットワークを検索して利用可能なネットワークの 1 つを選択するように設定されます。**手動** を選択すると、ネットワークリストでネットワークを手動で選択できます。手動で選択したネットワークが切れると、エラー音が鳴って、ネットワークを再接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。選択するネットワークは、ご契約されている携帯電話事業者とローミング契約している必要があります。

ローミング契約とは、2 つ以上の携帯電話事業者間の契約です。ある携帯電話事業者のユーザが他の携帯電話事業者を使用できるようになります。

セル情報表示 - **オン** を選択すると、本機がマイクロセルラーネットワーク (MCN) 技術に基づくセルラーネットワークで使用中であることが表示されるとともに、セル情報の受信を開始するように設定されます。

接続設定

> **ツール** > **設定** > **接続**

本機は、GSM ネットワークの GPRS などのパケットデータ接続に対応しています。本機を WCDMA や GSM ネットワークで使用する場合は、複数のデータ接続を同時に使用したり、複数のアクセスポイントで 1 つのデータ接続を共有したり、通話中にデータ接続を使用中のままにしたりできます。

データ接続を確立するには、アクセスポイントが必要となります。次の種類のアクセスポイントを指定することができます。

- MMS の送受信をおこなう MMS アクセスポイント
- WML や XHTML ページを表示するインターネットアプリケーション用のアクセスポイント
- E-mail の送受信をおこなうインターネットアクセスポイント (IAP)

アクセスポイント

- パケットデータアクセスポイント

- 無線 LAN アクセスポイント

本機にアクセスポイントがすでに設定されている場合があります。

が表示されているアクセスポイントは、保護されています。編集や削除はできません。

補足：WLAN ウィザードを使って無線 LAN アクセスポイントを作成することができます。(「待受画面から無線 LAN を利用する」P.201)

新規アクセスポイントを作成する

1 **アクセスポイント** > **オプション** > **新規アクセスポイント** **の順に選択し、項目を入力**

接続名 - わかりやすい名前を入力します。
データベアラ - データ接続の種類を選択します。
選択したデータ接続に応じて、特定の設定フィールドだけが設定可能になります。

- データ接続を使用できるようにするには、ネットワークサービスプロバイダがこの機能に対応しているとともに、必要な場合に、お客様の USIM カードでこの機能を有効にする必要があります。
- 赤のアスタリスクが表示されているフィールドには、入力が必要です。他のフィールドは、特にサービスプロバイダからの指示がない限り、空欄のままにできます。
- 既存のアクセスポイントをコピーして、新規アクセスポイントを作成するには、**オプション** > **アクセスポイント複製** を選択します。
- 詳細については、サービスプロバイダの指示に従ってください。
- アクセスポイントの内容を変更する場合は、**オプション** > **編集** を選択します。

- アクセスポイントを削除するには、 C を押します。

アクセスポイント設定

1 アクセスポイント > 設定するアクセスポイントを選択

アクセスポイント名 - アクセスポイント名はパケットデータネットワークや WCDMA ネットワークと接続する場合に必要で、サービスプロバイダから入手できます。

ユーザ名 - ユーザ名はデータ接続をおこなうときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、ユーザ名では大文字と小文字が区別されます。

パスワード確認 - サーバにログインするたびに新しいパスワードを入力する必要がある場合や、本機にパスワードを保存したくない場合は **はい** を選択します。

パスワード - パスワードはデータ接続をおこなうときに必要な場合があり、通常はサービスプロバイダから提供されます。ほとんどの場合、パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

認証 - パスワードを常に暗号化して送信するには **安全** を選択し、可能な場合にのみパスワードを暗号化して送信するには **標準** を選択します。

ホームページ - お客様の設定内容に応じて、URL アドレスまたは MMS センターのアドレスを入力します。

オプション > **詳細設定** を選択し、詳細設定をおこなうこともできます。

- **ネットワークタイプ** - データの転送時に使用するインターネットプロトコルのタイプとして、**IPv4** または **IPv6** を選択します。
- **電話機 IP アドレス** (IPv4 のみ) - 電話機の IP アドレスを入力します。
- **DNS アドレス** - サービスプロバイダから要求があった場合、**1 次 DNS アドレス** には 1 次 DNS サーバの IP アドレスを、**2 次 DNS アドレス** には 2 次 DNS サーバの IP アドレスを入力します。これらのアドレスを入手するには、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **プロキシサーバアドレス** - プロキシサーバを設定します。
- **プロキシポート番号** - プロキシサーバのポート番号を設定します。

無線 LAN アクセスポイント設定

1 アクセスポイント > 設定するワイヤレス LAN アクセスポイントを選択

設定については無線 LAN サービスプロバイダの指示に従ってください。

WLAN ネットワーク名 - **手動入力** または **ネットワーク名検索** を選択します。既存のネットワークを選択した場合、そのネットワークのアクセスポイント機器の設定によって **WLAN ネットワークモード** と **WLAN セキュリティモード** が設定されます。

ネットワーク状態 - ネットワーク名を表示させるかどうかを設定します。

WLAN ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞ - 無線 LAN アクセスポイント経由でインターネットに接続するには **ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ** を選択します。アドホックネットワークを確立し、無線 LAN アクセスポイント機器を経由せず機器間で直接データの送受信をおこなう場合は、**アドホック** を選択します。アドホックネットワークでは、全ての機器が同じ **WLAN ﾈｯﾄﾜｰｸ名** を使用する必要があります。

WLAN ｾｷｭﾘﾃｨﾓｰﾄﾞ - 使用する暗号化を **公開ネットワーク**、**WEP**、**802.1x**(アドホックネットワークでは設定できません)、または **WPA/WPA2** から選択します。**公開ネットワーク** を選択した場合、暗号化は使用されません。ネットワークがサポートしている場合にのみ、WEP、802.1x、WPA を使用することができます。

WLAN セキュリティ設定 - 選択したセキュリティモードの設定をおこないます。

WEP セキュリティ設定 :

- **使用する WEP キー** - WEP キー番号を選択します。WEP キーは４つまで作成することができます。無線 LAN アクセスポイント機器でも同様の設定をおこなう必要があります。
- **認証タイプ** - 本機と無線 LAN アクセスポイント機器間の認証タイプを **オープン** または **共有** から選択します。
- **WEP キー設定** - **WEP 暗号化** (キーの長さ)、**WEP キー形式** (**ASCII** または **16 進**)、**WEP キー** (選択された形式の WEP キーデータ) を入力します。

802.1x/WPA/WPA2 セキュリティ設定 :

- **WPA/WPA2** - 認証方法を選択します。EAP(extensible authentication protocol) プラグインを使用する場合は **EAP** を選択し、パスワードを使用する場合は **事前共有キー** を選択します。それぞれ次の設定をおこないます。
- **EAP プラグイン設定** (**EAP** を選択した場合) - 設定についてはサービスプロバイダにお問い合わせください。
- **事前共有キー** (**事前共有キー** を選択した場合) - パスワードを入力します。無線 LAN アクセスポイント機器で、同じパスワードを入力する必要があります。
- **WPA2 のみモード** (**WPA/WPA2** を選択した場合) - WPA2 対応機器とのみ接続を確立する場合に選択します。

ホームページ - ホームページを設定します。

オプション > **詳細設定** を選択し、詳細設定をおこなうこともできます。

- **IPv4 設定** : **電話機 IP アドレス** (本機の IP アドレス) を指定することができます。**電話機 IP アドレス** を指定した場合、**サブネットマスク** (サブネッ

ト IP アドレス)、**ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ** (ゲートウェイ) を指定する必要があります。また、**DNS アドレス** に、1 次 /2 次 DNS サーバの IP アドレスを指定することもできます。アドレスについてはサービスプロバイダにお問い合わせください。

- **IPv6 設定** > **DNS アドレス** - **自動**、**固定**、または **ユーザ定義** から選択します。
- **アドホックチャンネル** (**アドホック** を選択した場合のみ) - 手動で 1 ～ 11 のチャンネル番号を入力する場合は **ユーザ定義** を選択します。
- **ﾌﾟﾛｷｼｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ** - プロキシサーバのアドレスを入力します。
- **プロキシポート番号** - プロキシポート番号を入力します。

■ パケット接続

1 パケット接続 を選択

パケットデータ設定は、パケットデータ接続を使用するすべてのアクセスポイントに影響します。

パケット接続 - **可能時** を選択していて、パケットデータ対応のネットワーク圏内にいる場合、本機がパケットデータネットワークに登録されます。また、パケットデータ接続が開始されると、接続 (例えば、E-mail の送受信) が速くなります。**必要時** を選択した場合は、パケットデータ接続を必要とするアプリケーションや操作を開始する場合にのみパケットデータ接続が使用されます。パケットデータ通信圏にいないときに **可能時** を選択すると、定期的にパケットデータ接続が試みられます。

アクセスポイント - このアクセスポイント名は、互換性のあるコンピュータのパケットデータモデムとして本機を使用する場合に必要になります。

高速パケットアクセス - WCDMA ネットワーク上で HSDPA を有効にしたり、無効にしたりします。HSDPA については、「高速ダウンロード」(P.34) を参照してください。

■ ワイヤレス LAN

1 ワイヤレス LAN を選択

WLAN 応答状態表示 - 無線 LAN が利用可能な場合に、▪▪ を表示するかどうかを設定します。

ネットワークスキャン - **WLAN 応答状態表示** を **オン** に設定した場合、無線 LAN を検索してインジケータをアップデートする頻度を設定します。

オプション > **詳細設定** を選択して詳細設定を確認することができます。無線 LAN の詳細設定の変更は推奨されておりません。

■ SIP 設定

SIP (Session Initiation Protocol) 設定は、SIP を使用する特定のネットワークサービスを利用する場合に必要になります。設定はサービスプロバイダか

ら、特別な SMS などで受信します。これらの設定プロファイルは **SIP 設定**で参照、削除、作成することができます。

インターネット電話設定

新しくインターネット電話プロファイルを作成するには、**ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ電話** > **オプション** > **新規プロファイル** を選択します。

既存のプロファイルを編集するには、**オプション** > **編集** を選択します。

構成

本機ではご使用になれない機能です。

アプリケーション

本機のアプリケーションの設定を変更するには、 > **ツール** > **設定** > **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ** を選択します。設定はそれぞれのアプリケーションから設定オプションを選択しても変更することができます。

ボイスキー

登録されている音声コマンドを発声するだけで、アプリケーションや電話機機能を起動することができます。音声コマンドは、ボイスダイヤルと同じように本機に登録されます。（「声で電話をかける」P.61）

 > **ツール** > **ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ** > **ﾎﾞｲｽｷｰ**

アプリケーションやモードを起動する

1 待受画面で右ソフトキーを長く押して、ボイスタグを発声する

ボイスタグを確認する

例：**モード** のボイスタグを再生して確認する

1 > ツール > ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ > ﾎﾞｲｽｷｰ > モード > 各モードを選択 > オプション > 再生 の順に選択

登録されているボイスタグが再生されます。

ボイスタグを設定 / 変更する

新規アプリケーションを追加する

1 オプション > 新規ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ登録 を選択

2 リストから追加するアプリケーションを選択

追加したアプリケーションのボイスタグは、自動的に作成されますが、次の操作で変更することができます。

ボイスタグを変更する

1 アプリケーションを選択し、オプション > コマンド変更 を選択

2 新しいボイスタグをテキストで入力

短すぎる語や略語、頭字語を使用しないようにします。

3 オプション > 再生 を選択し、変更されたボイスタグを確認

設定を変更する

1 オプション > 設定 を選択

- **シンセサイザ** > **オフ** にすると、ボイスタグを発声したときに、電話機に登録されているボイスキーを再生しません。
- **音声認識を削除** を選択すると、電話機の主なユーザが変更となった場合に、音声認識をリセットすることができます。

著作権管理

コンテンツの所有者は、著作権などの知的所有権を保護するために、さまざまな種類のデジタル著作権管理 (DRM) テクノロジーを使用する場合があります。本機では、DRM によって保護されたコンテンツにアクセスするために、さまざまな種類の DRM ソフトウェアを使用します。本機では、WMDRM 10、OMA DRM 1.0、OMA DRM 2.0 によって保護されたコンテンツにアクセスできます。特定の DRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツの所有者は、その DRM ソフトウェアの、DRM によって保護されている新たなコンテンツにアクセスする機能を無効にするように要求できます。無効にすると、本機内に既に存在する、DRM によって保護されているコンテンツの更新ができなくなる場合があります。DRM ソフトウェアを無効にしても、他の種類の DRM によって保護されているコンテンツの使用や、DRM によって保護されていないコンテンツの使用には影響がありません。

デジタル著作権管理 (DRM) によって保護されているコンテンツには、そのコンテンツを使用する権利を定義する、関連のアクティベーションキーが付いています。

本機に WMDRM によって保護されたコンテンツが保存されている場合、本機のメモリがフォーマットされると、そのコンテンツとアクティベーションキーの両方が失われます。本機に保存されているファイルが破損したときも、アクティベーションキーとそのコンテンツが失われる場合があります。アクティベーションキーまたはコンテンツを失うと、本機で同じコンテンツを使用できなくなる場合があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

アクティベーションキーが特定の USIM カードと関連付けられている場合、本機にその USIM カードが挿入されている場合にのみ、保護されたコンテンツにアクセスすることができます。

> アプリ > メディア > 著作権

有効なキー - 1 つ以上のメディアファイルに関連付けられた有効なキーのリストが表示されます。

無効なキー - メディアファイルの使用時間を使い果たしたか、ファイルの使用期限が過ぎた場合、または、保護されているメディアファイルが本機に保存されているが、関連付けられたキーがない場合に表示されます。

未使用のキー - 関連付けられたメディアファイルが本機に保存されていないキーのリストが表示されます。

メディアファイルの使用時間を追加購入したり、使用期間を延長したりするには、著作権管理キーを選択して、**オプション** > **新規キー取得** を選択します。サービスメッセージを受信できない場合は、著作権管理キーを更新できません。(「サービスメッセージ」P.93)

表示されるオプションはキーによって異なります。

ファイルの有効状態や送信可否などの詳細情報を表示するには、著作権管理キーを選択して、■ を押します。

GPS

GPS 機能

■ GPS とは

GPS(Global Positioning System: 全地球測位システム) は、ラジオ波を利用した世界規模のナビゲーションシステムであり、24 個の衛星とその運用状況をモニターする基地局で構成されています。本機には、GPS 受信機が内蔵されています。

本機に搭載されている GPS 受信機などの GPS 端末は、衛星から放射される低周波ラジオ信号 (low-power radio signals) を受信して、衛星信号が届くまでの時間を計測します。GPS 受信機は、電波信号の受信にかかった時間をもとに、メートル単位の精度で位置情報を算出することができます。

GPS の座標は度数で表示されます。世界測地系 (WGS-84) を使用した十進法表記の度数で緯度経度を表示します。

GPS（Global Positioning System）は米国政府により運用されているシステムで、その精度とメンテナンスの責任はすべて米国政府にあります。位置データの精度は米国政府による GPS 衛星の調整によって影響を受けることがあり、米国の国防総省の民生 GPS 政策や、米国連邦電波航法プランに基づいて変化する場合があります。精度は、衛星の不適切な配置により影響されることもあります。GPS 信号の可用性や質は、建物や地形的な障害物のほか、気象状態の影響を受けることがあります。GPS 受信機は、GPS 信号を受信できるように屋外でのみ使用します。

いかなる GPS も正確な位置の測定には使用できません。位置特定やナビゲーションにおいて、携帯無線ネットワークおよび GPS 受信機の位置データのみに依存しないようにしてください。

■ A-GPS とは

本機は A-GPS（アシスト型 GPS）をサポートしています。
A-GPS（アシスト型 GPS) は、GPS の性能を向上させるための補助データの検索にパケットデータ接続を使用します。これにより、本機が衛星からの信号を受信してから、現在位置を計測するまでの時間が短縮されます。

A-GPS はネットワークサービスです。

本機は Nokia A-GPS サービスを使用できるようにあらかじめ設定されています。必要な場合にのみ、Nokia A-GPS サービスサーバから、補助データが取得されます。

A-GPS 設定

> **ツール** > **設定** > **一般** > **位置情報機能**

Nokia A-GPS サービスから補助データを取得するためのアクセスポイントは、利用可能なアクセスポイントを選択します。(「位置情報機能」P.223)

A-GPS のアクセスポイントを設定する

1 **位置情報サーバ** > **アクセスポイント** を選択

- 本サービスでは無線 LAN のアクセスポイントを使用することはできません。

GPS 機能を有効 / 無効にする

1 **位置情報取得方式** > **アシスト型 GPS** > **有効** を選択

- Bluetooth GPS など、他の GPS 機能を **有効**、または **無効** に設定することもできます。

■ GPS 受信機

GPS 受信機は、本機上部に搭載されています。受信機を使用する場合は、天空がはっきりと見える場所で、約 45 度の角度で、本機をまっすぐに持ちます。GPS 接続が確立するのに、数秒から数分かかる場合があります。車内での接続には、より長い時間がかかります。

受信機は、電池からの電力を必要とします。GPS を使用すると電池の消耗が早くなる場合があります。

■ 衛星信号について

GPS 受信機が衛星信号を受信できない場合は、次のことを考慮してください。

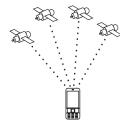
- 屋内にいる場合は、より強度な信号を受信するため屋外に出てください。
- 屋外にいる場合は、より広い場所に移動してください。
- 本機の GPS アンテナを手で覆っていないかどうか確認してください。
- 天候状態が悪い場合は、信号強度に影響が出る場合があります。
- パワーセーバーの起動中は GPS 受信に影響がある場合があります。
- GPS 接続を確立するのに、数秒から数分かかることがあります。

衛星状態を確認する

1 **> ツール > 外部接続 > GPS データ > 位置 > オプション > 衛星状態 を選択**

- 本機が受信可能な衛星の数と衛星からの受信状況を確認することができます。
- **地図** アプリケーションから確認することもできます。(「衛星信号について」P.234)

衛星情報画面では、衛星ごとにバーが表示されます。表示されるバーの長さは、衛星信号の強さを表します。位置を特定するための十分なデータを衛星から受信すると、バーの色は黒に変わります。

現在位置の座標を測定する場合、初回測定時に少なくとも４つの衛星から信号を受信する必要があります。初回の測定が完了した後、３つの衛星で測定することが可能となりますが、通常は衛星の数が多いほど、測定は正確となります。

■ 位置情報提供

サービスプロバイダから位置情報提供の要求を受信する場合があります。サービスプロバイダは、位置情報に基づいて、天気情報や交通状態などの地域情報を配信する場合があります。

位置情報提供の要求を受信した場合、メッセージが画面に表示されます。現在位置の送信を許可する場合は、**承認**、要求を拒否する場合は、**拒否** を選択します。

地図 - Nokia Maps

■ はじめに

このアプリケーションは日本国外での利用を想定しています。

地図 を利用して現在位置の確認、他国・他都市の地図の参照、住所や興味あるポイントの検索、ルート検索、位置のランドマーク保存と互換性のある機器への送信などがおこなえます。

地図 のご利用には次の内容も参照してください。

・「GPS 機能」(P.233)
・「ランドマーク」(P.243)
・「GPS データ」(P.245)

地図 では GPS 機能を利用します。本機では、情報取得方式の設定をすることができます (「位置情報機能」P.223)。正確な位置情報を得る場合は、本機の GPS 機能、または外部 GPS 受信機を使用してください。

ほとんどすべてのデジタル地図には、ある程度不正確で不完全な部分があります。本機でダウンロードした地図のみに依存しないようにしてください。

地図 をはじめて利用する場合、現在位置の地図をダウンロードするためインターネットアクセスポイントの設定が必要となります。アクセスポイントは後で変更することができます。

アクセスポイントを設定する

1 > **地図** > **オプション** > **設定** > **ネットワーク** > **ﾃﾞﾌｫﾙﾄｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ** を選択

補足 : 無線 LAN や Nokia Map Loader などインターネットを利用して地図をダウンロードすることもできます。(「Nokia Map Loader」P.238)

ネットワークご使用の注意

- 地図のダウンロードには、サービスプロバイダのネットワーク上で、大容量データの転送が必要となる場合があります。
- 海外で地図を利用する場合は、Nokia Map Loader であらかじめ渡航先の地図データをメモリカードにダウンロードしておくことをおすすめします。
- 海外で地図をダウンロードする場合は、パケットローミング費用が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。
- 契約ネットワーク圏外で使用する際にローミング通知を受信する場合は、**ネットワーク** > **ローミング通知** > **オン** を選択します。詳細と料金については、携帯電話事業者にお問い合わせください。

地図を利用する

地図の利用可能地域は、国によって異なります。

地図 を開くと、前回の接続時に保存した場所をズームして表示します。前回の接続時に位置情報を保存しなかった場合は、セルラーネットワークから受信する情報に基づいて現在位置する国や地域の主要な都市をズームして表示します。また、表示された場所周辺の地図は自動的にダウンロードされ、電話機メモリや互換性のあるメモリカード (挿入されている場合) に保存されます。

衛星情報

地図 を利用すると、本機の画面に GPS インジケータが表示されます。丸いアイコンは衛星を示しています。

- 黄色い○は、衛星との接続が進行途中であることを示しています。
- 緑色の○は、衛星からの信号を受信中であることを示しています。
- すべての○が緑色の場合、本機は現在位置の座標を測定するのに十分なデータを受信しています。
- **オプション** > **地図オプション** > **衛星情報** を選択して、衛星情報を確認することができます。

地図の操作

地図上を移動する

1 ナビゲーションキー 、 、 、 を押す

- 0 を押して、現在地へ移動できます。

地図上の表示を変更する

1 オプション > 地図オプション を選択

次のオプションで設定を変更することができます。

- **拡大 [* キー]** - ズームインします。
- **縮小 [# キー]** - ズームアウトします。
- **2D/3D** - 地図の表示を 2D/3D に切り替えることができます。
- **地図の色変更** - 地図の色を変更します。
- **カテゴリ** - 地図に表示する目的別カテゴリアイコンを選択します。

画面に地図を表示して他の国や地域へ移動すると、新しい地図が自動的にダウンロードされる場合があります。この地図アプリケーションでダウンロードした地図には料金がかかりませんが、サービスプロバイダのネットワーク上で大容量のデータ転送が必要になる場合があります。海外で地図を利用する場合は、Nokia Map Loader であらかじめ渡航先の地図データをメモリカードにダウンロードしておくことをおすすめします。海外でパケット通信経由で地図をダウンロードする場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

場所検索

オプション > **場所検索** を選択し、GPS 位置、住所、キーワード、周辺情報カテゴリやガイドなどで場所を検索することができます。(「場所を検索をする」P.239)

地図上の位置を周辺検索、ルート検索、詳細表示、ナビゲーションなどに使用する場合は、 を押しオプションを選択します。(「ルート検索」P.240)

位置情報を保存する

位置情報をランドマークとして保存することができます。(「ランドマーク」P.243)

1 保存する位置に移動 > を押す

2 保存 > ランドマーク を選択

3 位置名を入力し、**OK** を選択
4 登録するカテゴリを選択 > **OK** を選択
- 複数のカテゴリを登録することができます。

保存したランドマークを表示する

1 **オプション** > **場所検索** > **ランドマーク** を選択
保存したランドマークの一覧が表示されます。
2 表示するランドマーク > ◉ > **地図に表示** を選択
- **送信** を選択して、互換性のある機器へランドマークを送信することができます。
- SMS でランドマークを送信した場合、情報はテキスト形式に変換されます。

地図を画像として保存する

1 地図を表示し、◉を押す > **保存** > **画像** を選択
地図は画像として **ｷﾞｬﾗﾘｰ** に保存されます。
- 他の機器へ送信することができます。

■ 地図をダウンロードする

画面に地図を表示して他の国や地域へ移動すると、新しい地図が自動的にダウンロードされる場合があります。ダウンロードした地図には料金がかかりませんが、ダウンロードするにはサービスプロバイダのネットワーク上で大容量のデータ転送が必要な場合があります。

契約ネットワーク圏外など、地図を自動的にダウンロードしない設定にする場合は、**オプション** > **設定** > **ネットワーク** > **ネットワークの使用** > **使用しない** を選択します。

海外で地図を利用する場合は、Nokia Map Loader であらかじめ渡航先の地図データをダウンロードし、メモリカードにコピーしておくことをおすすめします。海外でパケット通信経由で地図をダウンロードする場合は、パケット通信料が高額となる可能性があります。通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

転送されたデータ量 (kB 単位) が本機の画面に表示されます。オンラインで地図をブラウズしたり、ルートを設定したり、位置を検索した時のネットワーク使用量を表しています。

地図の更新状態を確認する

本機にダウンロードした地図が、更新されているかどうか確認することができます。

1 **オプション** > **設定** > **ネットワーク** > **オプション** > **地図の更新確認** を選択

Nokia Map Loader

Nokia Map Loader は、インターネットを利用してさまざまな国の地図をダウンロードし、本機や互換性のあるメモリカードにインストールする PC ソフトウェアです。また、音声ガイドによるナビゲーションをダウンロードすることもできます。

Nokia Map Loader を互換性のある PC にインストールします。ソフトウェアは同梱の DVD-ROM からインストールすることができます。画面の指示に従ってインストールしてください。

Nokia Map Loader は、本機の地図アプリケーションの履歴情報を元にして、ダウンロードする地図のバージョンを確認します。Nokia Map Loader を利用する場合は、前もって地図アプリケーションが使用された状態の必要があります。

PC にソフトウェアをインストールした後に、地図をダウンロードするには、次の操作をおこないます。本機にはメモリカードを挿入しておく必要があります。

ダウンロードする

1 USB データケーブルで本機と PC を接続

本機画面に **モード選択 :** が表示されます。

2 データ転送 を選択

3 Nokia Map Loader を開く

ダウンロードする地図のバージョンが自動的に確認されます。

4 地図または音声ガイドファイルを選択

- 選択したファイルをダウンロードし、本機にインストールすることができます。

■ 場所を検索をする

オプション > 場所検索

現在位置を検索する

1 GPS 位置 [0] を選択

地図上に ✣ が表示されます。

- [0] を押して、現在位置を表示することもできます。

住所で検索する

1 住所 を選択

2 検索する住所を入力 > オプション > 検索 を選択

- 検索する住所はアルファベットで入力します。
- 国と都市名を入力する必要があります。
- 電話帳に保存した住所を利用するには、**オプション** > **電話帳から選択** を選択します。

キーワードで検索する

1 キーワード検索 を選択

- 任意のキーを押して、キーワードを入力することができます。

2 検索するキーワードを入力 > 検索 を選択

- 検索するキーワードはアルファベットで入力します。

目的別カテゴリで検索する

1 周辺情報 を選択

- 現在地周辺または地図上の現在地以外の周辺検索がおこなえます。

2 検索するカテゴリを選択 > ◉ を押す

- 検索結果を地図上に表示する場合は、▣ > **地図に表示** を選択します。
- 検索結果のリストを表示する場合は、**戻る** を選択します。

補足：以前検索した場所のリストを表示する場合は、**オプション** > **場所検索** > **検索履歴** を選択します。

ルート検索

ある場所から他の場所(自宅から会社まで、など)へのルートを検索することができます。利用する交通手段を設定することもできます。(「ルート検索方法を変更する」P.243)

ルートを表示する

1 地図上の出発地点へスクロール > ▣ > ここからのルート > OK を選択

出発地を選択します。

- 地図上の任意の地点 > ▣ > **ここからのルート** > **出発地** > **オプション** > **選択** を選択し、登録済みのランドマーク、検索履歴、住所などを入力して出発地を設定することもできます。

2 目的地 > ▣ > 地図から > 地図上の目的地点へスクロール > ▣ を押す

- 地図上の任意の地点 > ▣ > **ここへのルート** > **目的地** > **オプション** > **選択** を選択し、登録済みのランドマーク、検索履歴、住所などを入力して目的地を設定することもできます。

3 オプション > ルート表示 を選択

- ルート表示は、**ルート詳細** と **概要** の２つのタブで構成されています。
- ▢ を押し、**概要** タブを開くと、目的地までの距離、所要時間、移動手段が表示されます。
- **ルート詳細** タブを開くと目的地までのルートの経由地リストが表示されます。
- 各経由地を地図上で確認する場合は、**オプション** > **地図に表示** を選択します。
- 表示されたルートは、ルート設定の内容に基づいて計算されます。

シミュレーション / ナビゲーションを開始する

1 表示されたルート > オプション > シミュレーション開始 を選択

- ナビゲーションを開始する場合は、**ナビゲーション開始** を選択します。
- 音声ガイド付きナビゲーションを使用する場合は、「ナビゲーション」(P.241) を参照してください。

補足：地図 では、Bluetooth 接続が可能な互換性のある GPS 受信機を利用することができます。例えば、車中で外部 GPS 受信機を利用することで、衛星からの信号を適切に受信することができます。外部 GPS 受信機の使用を有効にするには、「位置情報機能」(P.223) を参照してください。

シミュレーション / ナビゲーションの操作

1 **シミュレーション / ナビゲーション画面 > オプション を選択**

次の設定がおこなえます。

- **送信** - 位置情報を送信します。3 を押して送信することもできます。
- **保存** - 表示されている場所を **ランドマーク** として保存したり、**画像** として保存したりすることができます。
- **別のルート** - 別のルートを検索します。5 を押して検索することもできます。
- **音声ガイド** - 音声ガイドがある場合、**コマンド再実行** を選択すると音声ガイドを繰り返します。4 を押して実行することもできます。**ボリューム**を選択すると、音声ガイドの音量を調節することができます。7 を押すと音をミュートします。
- **シミュレーション停止 / ナビゲーション停止**
- **地図オプション** - 地図表示の変更などがおこなえます。また、1 で 2D/3D の切り替え、2 で色の変更、6 で衛星情報を確認することができます。

その他サービス

地図 を利用して、様々な都市のシティガイドやトラベルガイドを購入してダウンロードすることができます。また、音声ガイド付きのナビゲーションサービスを購入して、**地図** で利用することができます。

地図アプリケーションで利用できる地図、音声ガイド、トラベルガイド等は日本語に対応しておりません。英語または各母国語での提供となります。

ダウンロードしたガイドは、自動的に電話機メモリ、あるいは互換性のあるメモリカード (本機に挿入されている場合）に保存されます。

ナビゲーション

音声ガイド付きのナビゲーションサービスを購入することができます。

1 **オプション > その他サービス > ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ追加 を選択**

- 購入したナビゲーションのライセンスは、本機固有となり、他の機器に転送することはできません。
- 購入したナビゲーションガイドのアップグレードをおこなう場合は、**地図** アプリケーションからおこないます

音声ガイドの言語設定

- 本機で初めてナビゲーションを使用するとき、音声ガイドに使用する言語の選択を求められます。選択した言語の音声ガイドファイルは自動的にダウンロードされます。
- 設定した言語は後で変更することができます。
- Nokia Map Loader を使用して、音声ガイダンスファイルをダウンロードすることもできます。(「Nokia Map Loader」P.238)

1 **オプション > 設定 > 一般 > 音声ガイド を選択**

2 **言語を選択 > OK > 戻る**

言語ファイルのダウンロードが開始します。

音声ガイド付きナビゲーションを開始する

1 **オプション > この場所を使用 > ナビゲーション を選択**

- ルートの検索方法は、「ルートを表示する」(P.240) を参照してください。
- 地図上で位置を指定 > ■ > **ナビゲーション**、または、検索結果リスト > ■ > **ナビゲーション** を選択して開始することもできます。
- ナビゲーション中の操作や設定については、「シミュレーション / ナビゲーションの操作」(P.241) を参照してください。

ガイド

オプション > **その他サービス** > **ガイド**

シティガイドやトラベルガイドなど、様々なガイドをダウンロードして購入することができます。

ガイドをダウンロードする

1 **周辺ガイド、または 全ガイド タブを選択**

2 **ガイドを選択し、ダウンロードする**

3 **マイ ガイド タブを選択**

ダウンロードしたガイドとその目次（利用できる場合）が表示されます。

4 **ガイド (目次) を選択し、■ を押す**

- 購入する場合は、画面の指示に従って入力してください。

■ 地図の設定

オプション > **設定**

ネットワーク、ルート検索、一般設定を変更することができます。

メモリカード使用量を変更する

地図や音声ガイドファイルは、互換性のあるメモリカードに保存されます。地図を保存するためのメモリカードの最大使用量を設定することができます。

1 **ネットワーク > ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ最大使用量 を選択**

- 互換性のあるメモリカードが本機に挿入されている場合に使用することができます。
- メモリがいっぱいの場合には、メモリ不足のメッセージが表示されます。**ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ最大使用量**

を変更するか、または保存済みの地図データを削除してください。
• 地図データは、Nokia Map Loader 使用して削除することができます

地図を自動的にダウンロードする

1 **ネットワーク** > **ネットワークの使用** > **必要時** を選択
  • 海外など契約ネットワーク圏外で、地図のダウンロードをおこなう場合、パケット通信料が高額となる可能性があります。自動ダウンロードを無効にする場合は、**使用しない** を選択します。海外でのご利用は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。

ローミング通知を設定する

契約ネットワーク圏外で、他のネットワークを利用する場合、ローミング通知を受信する設定ができます。

1 **ネットワーク** > **ローミング通知** > **オン** を選択

ルート検索方法を変更する

ルート検索で使用する交通手段などを設定することができます。(「ルート検索」P.240)

1 **ルート検索** を選択

一般設定を変更する

測定単位や音声ガイドの言語などを設定することができます。

1 **一般** を選択

ランドマーク

■ はじめに

ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ を利用して、選択した位置情報を本機に保存することができます。保存した位置情報をカテゴリごとに分類したり、住所や電話番号などの情報を追加することもできます。保存した位置情報は、**GPS データ** や **地図** などの互換性のあるアプリケーションで利用することができます。

GPS の座標は度数で表示されます。世界測地系 (WGS-84) を使用した十進法表記の度数で緯度経度を表示します。

ランドマークは、ランドマークとカテゴリの２種類のタブで構成されています。

> **ツール** > **外部接続** > **ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ**

■ ランドマークを登録 / 編集する

ランドマークを登録する

1 **オプション** > **新規ランドマーク** を選択

次のオプションを選択することができます。
- **現在位置** - 現在地の座標を要求し、ランドマーク名などの位置情報を入力します。
- **地図から選択** - 地図上で位置を特定し、**オプション** > **選択** を選択し、ランドマーク名を入力します。
- **手動入力** - 位置情報を手動で入力します。

保存したランドマークを編集する

1 **ランドマークを選択 > オプション > 編集 を選択**

ランドマークの編集画面が表示されます。

2 **ランドマークを編集 > 完了 を選択**

ランドマークをカテゴリに分類する

ランドマークをカテゴリ別に分類して登録することができます。

1 **ランドマークを選択 > オプション > カテゴリに追加 を選択**

カテゴリの一覧が表示されます。

2 **登録するカテゴリを選択し、を押す**

- 複数のカテゴリを選択することができます。

3 **OK を選択**

- を押しカテゴリタブを開くと、ランドマークが登録されているカテゴリの一覧が表示されます。カテゴリを選択すると、そのカテゴリに登録されているランドマークが表示されます。

新しいカテゴリを追加する

位置情報を分類するカテゴリの種類を増やすことができます。

1 **を押し、カテゴリタブを開く**

2 **オプション > カテゴリ編集 を選択**

カテゴリの一覧が表示されます。

3 **オプション > 新規カテゴリ を選択**

入力フィールドが表示されます。

4 **カテゴリ名を入力 > OK を選択**

新しいカテゴリがリストに追加されます。
- **オプション** > **カテゴリアイコン** を選択して、カテゴリのアイコンを変更することもできます。

■ ランドマークを利用する

保存したランドマークを表示する

1 **ランドマークを選択 > オプション > 地図に表示 を選択**

ランドマークを送信する

1 **ランドマークを選択 > オプション > 送信 > 送信方法の順に選択**

受信したランドマークは、**メール** の **受信メール** フォルダに保存されます。

ランドマークまでのルートを設定する

1 ランドマークを選択し、オプション > ルート表示 を選択

出発地と目的地が表示されます。

2 オプション > ルート表示 を選択

- 「ルートを表示する」(P.240) を参照してください。

GPS データ

■ はじめに

> ツール > 外部接続 > GPS データ

GPS データ を利用して、現在位置の周辺情報、目的地までナビゲーションや目的地までの距離や到着時間の情報を表示することができます。

GPS データは、３種類のメニューで構成されています。各メニューを開くと、それぞれのメニューがタブで表示されるので、◀ と ▶ を利用してタブを移動することができます。

GPS の座標は度数で表示されます。世界測地系 (WGS-84) を使用した十進法表記の度数で緯度経度を表示します。

GPS データを利用するには、本機の GPS 受信機が、少なくとも３機の衛星から信号を受信して、現在位置の座標を計算する必要があります。

■ ナビゲーション

・ ナビゲーションは、屋外で利用してください。屋内では衛星から必要な情報を受信することができない場合があります。
・ ナビゲーションを利用すると、本機の画面に羅針盤が表示されます。目的地を設定すると赤いボールが羅針盤上に表示されます。赤いボールは、目的地への方向を示し、目的地への距離は、羅針盤の中に表示されます。
・ ナビゲーションは、目的地まで最短の直線距離で計測して表示します。ルート上にある建物、自然の障害物や高度差などは考慮されません。
・ ナビゲーションは、移動しているときに有効となります。

目的地を設定する

目的地の座標を入力、または登録したランドマークを選択して設定します。

1 ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ > オプション > 目的地設定 を選択

2 ランドマーク または 座標 を選択し、目的地を設定

- **ランドマーク** を選択すると、ランドマークの一覧が表示されます。

- **座標** を選択すると、緯度、経度の入力画面が表示されます。
- ナビゲーションを中止する場合は、**オプション** > **ナビゲーション停止** を選択します。

現在位置情報

現在地の緯度、経度、高度などの位置情報を表示することができます。

現在位置を保存する

1 位置 > オプション > 位置保存 を選択

- 現在位置をランドマークとして保存します。
- ランドマークには、現在位置だけでなく、その周辺情報も含まれており、他の互換性のあるアプリケーションで利用したり、互換性のある機器間で転送したりすることができます。(「ランドマーク」P.243)

移動距離

実際に移動しながら目的地までの距離を計測することができます。精度の高い GPS 信号を受信するために、屋外で使用してください。

目的地までの距離を計測する

1 移動距離 > オプション > 測定開始 を選択

- 距離の測定を停止する場合は、**オプション** > **測定停止** を選択します。測定を停止しても、計算結果は画面に表示された状態となります。
- 測定を再開する場合は **オプション** > **測定再開** を選択します。

目的地までの距離をリセットする

目的地までの距離、時間、平均速度、最高速度をリセットして、再度計測を始めることができます。距離計と全時間はリセットされません。

1 オプション > 最新測定ﾃﾞｰﾀをﾘｾｯﾄ を選択

すべてのデータをリセットする

測定中にすべてのデータをリセットし、再度計測を始めることができます。

1 オプション > 全ﾃﾞｰﾀをﾘｾｯﾄし再測定 を選択

- 測定停止後に、すべての測定データをリセットするには、**オプション** > **すべてのﾃﾞｰﾀをｸﾘｱ** を選択します。

トリップメーターの精度には限界があり、端数計算誤差が生じる場合があります。精度は、GPS 信号の可用性および質により影響されることもあります。

衛星の状態

本機が受信可能な衛星の数と衛星からの受信状況を確認することができます。(「衛星状態を確認する」P.235)

1 **ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ**、**位置**、または **移動距離** を選択
2 **オプション** > **衛星状態** を選択

GPS データ設定

GPS データを設定する

1 **オプション** > **設定** を選択

次のオプションを設定することができます。

- **測定単位** - **メートル**、または **ヤードポンド** から選択することができます。
- **標高補正** - 人工衛星から受信した高度を補正する場合は、補正値を入力します。

位置情報方式を設定する

位置情報方式を選択することができます。

詳細については、「位置情報機能」(P.223) を参照してください。

1 **オプション** > **位置情報設定** を選択

電池について

充電と放電

本機は、充電可能な電池を電源としています。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間 (通話時間と待受時間) が通常より極端に短くなった場合は、電池を取り替えてください。Nokia 認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia 認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。認定されていない電池または充電器を使用すると、発火、爆発、液もれなどの危険が生じる可能性があります。

電池を初めて使用する場合、または電池が長期間使用されていなかった場合は、充電を開始するのに、充電器を取り付けた後、いったん取り外してから再度取り付けなければならない場合があります。電池が完全に放電されている場合は、充電中を示すインジケータが画面に表示されるまで、または通話ができるようになるまで、数分かかる場合があります。

電池を取り外す際には、必ず本機の電源を切り、充電器を外した状態で行ってください。

充電器を使用していないときは、電気プラグからプラグを抜き、本機からも取り外してください。過充電は、電池の寿命を短くする場合がありますので、充電が完了した電池を充電器に接続したまま放置しないでください。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。

電池は常に 15 ℃～ 25 ℃ (59° F ～ 77° F) の温度範囲で保管するようにしてください。この範囲を超えた温度環境では、電池の性能が低下し、電池の消耗が早くなります。高温または低温状態の電池を使用すると、本機が一時的に機能しなくなる場合があります。0 ℃以下では、電池の性能が著しく制限されます。

電池をショートさせないでください。金属物 (コイン、クリップ、またはペン) が電池のプラス端子およびマイナス端子 (電池の金属部分) に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります

爆発する可能性があるため、火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。電池が損傷した場合も、爆発の恐れがあります。電池は、国内の規定に従って廃棄してください。可能な場合はリサイクルしてください。家庭の一般廃棄物として処分しないでください。

携帯電話や電池を、分解、切断、開口、圧壊、屈曲、変形、穿刺、または粉砕しないでください。電池の液

体が漏れた場合、その液体が肌や目に触れないようにしてください。電池の液が肌または目に触れた場合、直ちに水で洗い流すか、医師の診察を受けてください。

電池の改造や再製造はしないでください。また、電池内部に異物を挿入したり、水などの液体にひたしたりしないようにしてください。

電池を不適切に使用すると、発火、爆発などの危険が生じる可能性があります。本機または電池を硬い地面などに落とし、電池が損傷したと思われる場合、使用を続ける前にハローノキアにお問い合わせください。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池は絶対に使用しないでください。電池は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。

Nokia 純正電池の認証ガイドライン

安全のため、必ず Nokia 純正電池をお使いください。Nokia 純正電池を確実に入手できるよう、電池は Nokia の指定販売店から購入してください。次の手順に従って電池のホログラムラベルを確認してください。

次の手順どおりに確認しても、電池の認定が必ず保証されるわけではありません。電池が Nokia Original Enhancements 認定を受けていない疑いがある場合は、直ちに使用を中止し、ハローノキア（0570-0-66542）にご相談ください。

ホログラムの認証

1 ラベルに表示されているホログラムを見ると、ある角度からは Nokia のシンボルである手をつないでいる画像が見え、別の角度からは Nokia Original Enhancements のロゴが見えます。

2 ホログラムを傾けると、ロゴの周囲にドットが 見えます。ドットは、ロゴの左側に 1 つ、右側に 2 つ、下に 3 つ、上に 4 つあります。

電池が認定を受けていない場合

ご使用になられている電池のホログラムラベルで、Nokia 純正電池の認証が確認できなかった場合は、電池の使用を中止してください。ハローノキアにお問い合わせください。Nokia の承認を受けていない電池の使用は危険な場合があり、性能の劣化および機器やアクセサリの破損に及ぶ場合もあります。また、機器に対する認定や保証が無効となる場合もあります。

Nokia 純正電池について詳しくは、http://www.nokia.co.jp/batterycheck を参照してください。

お手入れとメンテナンス

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。保証の対象範囲をお守りいただけるよう、次の記載事項をお読みください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水、湿気、および液体はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が濡れた場合、電池を取り外し、本機を完全に乾かしてから取り付けてください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部と電子部品が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で指示された以外の方法で本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒に取り扱うと、内部の回路基板と精密機械部分に損傷をきたすことがあります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗浄液、または強力洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- レンズ (カメラレンズ、近接センサー、ライトセンサーレンズ等) のお手入れには、柔らかくて清潔な、乾いた布をお使いください。
- 付属の、または Nokia が認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナの使用、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての法規制に違反する場合があります。
- 充電器は屋内で使用してください。
- 電話帳やカレンダーノートなどの保存しておきたいデータは必ずバックアップを取ってください。
- 最適な動作状態を保つために本機をリセットする場合は、本機の電源を切ってから電池を取り外してください。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。正常に動作しない機器がある場合は、製品お買い上げ店にサービスを依頼してください。

安全についての追加情報

小さなお子様

本機やアクセサリには、小さな部品が使用されています。小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

操作環境

本機は、人体から最低 2.2cm 離した位置で使用された場合と、通常の耳元での操作位置で使用された場合に電波防護指針のガイドラインに適合します。本機をキャリーケース、ベルトクリップ、またはホルダーとともに身に付ける場合は、金属製物質と一緒に身に付けず、本機が上記の距離以上身体から離れたところに位置するようにしてください。

本機でデータファイルやメッセージを送信する場合、高品質のネットワーク接続が必要です。場合によっては、高品質のネットワーク接続が利用可能になるまで、データファイルやメッセージの送信が遅れることがあります。送信が完了するまで、本機が上記の距離以上身体から離れていることを確認してください。

本機は磁気部品を使用しており、金属物が本機に引き寄せられる場合があります。本機の近くにクレジットカードや、その他の磁気記憶媒体を置かないでください。記憶された情報が消去されてしまうことがあります。

医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の電波から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の電波に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

植込み型医療機器

医療機器製造業者は、医療機器との干渉を回避するため、携帯電話をペースメーカーや除細動器などの植込み型医療機器から 22cm 以上離すことを勧めています。このような医療機器を使用している方は、以下の点を心がける必要があります。

- 携帯電話の電源が入っている場合、その携帯電話を医療機器から常に 22cm 以上離してください。
- 携帯電話を胸ポケットに入れて持ち運ばないでください。

- 医療機器との干渉を最小限にするため、医療機器を装着している側の反対の耳で携帯電話をご使用ください。
- 医療機器との干渉が疑われる場合は、直ちに本機の電源を切ってください。
- 植込み型医療機器製造業者が提示する指示を読み、その指示に従ってください。

植込み型医療機器とともに本機を使用することに関して不明な点がある場合、医療機関にお問い合わせください。

補聴器
デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

乗り物

電波は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置（電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など）に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機が適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内で保管したり、持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

爆発の起きる可能性のある環境

爆発の起きる可能性のある環境では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の起きる可能性のある環境とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような環境での火花は、怪我または死亡に至る爆発または火災を引き起こす可能性があります。ガ

ソリンスタンドのガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売所、化学工場、または爆破作業がおこなわれている場所では無線機の使用に関する規則に従ってください。爆発の起きる可能性のある環境は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所の例としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保管施設、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。液化石油ガス（プロパンまたはブタン等）を使用する自動車の近くでの本機使用の安全性については自動車製造メーカーにお問い合わせください。

緊急通報

重要：本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワークおよびお客様によってプログラムされた機能を使用して動作します。お使いの機器がインターネット経由の音声通話 (インターネット通話) をサポートしている場合、インターネット通話と携帯電話を共に使用できる状態にしてください。どちらも使用できる状態であれば、本機は携帯ネットワークとお客様が契約されているインターネット通話プロバイダの両方を介して緊急通報を試みます。ただし、すべての条件において接続を保証するものではありません。したがって、救急車を呼ぶ場合などの非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1. **本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。機種に応じて、以下の操作が必要になることがあります。**
   - SIM カードを挿入する (SIM カードを使用する機種の場合)
   - 特定の通話制限を設定している場合は解除する
   - オフラインまたはフライトモードになっている場合はアクティブモードに切り替える

2. **必要な数だけ終了キーを押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。**
3. **現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。**
4. **開始キーを押して電話をかけます。**

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

証明情報 - 携帯電話機の比吸収率

このモデルの携帯電話は、電波防護指針に適合しています。

本機は無線送受信機です。本機は、国際ガイドライン推奨の電波暴露限度を超えないよう設計されています。これらのガイドラインは、独立科学機関 ICNIRP によって策定されており、年齢や健康状態に関係なく、すべての人の安全を確保するのに十分は安全率を含んでいます。

携帯電話の電波防護指針には、SAR(比吸収率) という測定単位を採用しています。ICNIRP ガイドラインで指定される SAR 限度は、生体組織 10g あたり 2.0W/kg(ワット / キログラム) です。SAR 試験は、すべての試験周波数帯において通常の電話機の操作位置で、認証を受けた最大送信電力で行われます。操作中の電話機の実際の SAR レベルは、その最大値を下回る値となります。これは、ネットワークとの通信に必要最小限の送信電力となるように、電話機が設計されているためです。実際の値は、基地局にどのくらい近い位置にいるか等といった様々な要因によって異なります。本機を耳元で使用した試験の場合、ICNIRP ガイドラインに基づいた SAR の最大値は、1.35W/kg です。

デバイスアクセサリの使用により、異なる SAR 値になる場合があります。SAR 値は、各国の報告用件、試験要求事項、およびネットワークの帯域によって異なる場合があります。SAR の追加情報については、www.nokia-asia.com にある製品情報でご覧ください。

Nokia 純正アクセサリ

警告：本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

対応するアクセサリについては、http://www.nokia.co.jp を参照してください。

アクセサリ

アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

- お子様の手の届く所に置かないでください。
- アクセサリの電源コードを外す際は、コードではなくてプラグを持って抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は、適切に取り付けられ、正常に動作しているか定期的に確認してください。
- 複雑な車内用アクセサリの取り付けは、資格のある担当者だけが行うことができます。

Nokia が認定した電池、充電器、およびアクセサリのみを使用してください。それ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、危険が及ぶ場合があります。

電池

タイプ	仕様	連続通話時間 #	連続待受時間 #
BP-6MT	Li-Ion	最大約 180 分 (WCDMA) 最大約 250 分 (GSM)	最大約 230 時間 (WCDMA) 最大約 250 時間 (GSM)

Li-ion00
使用後は
リサイクルへ

重要：電池の通信待機可能時間はあくまでも推定値であり、信号強度、ネットワークの状態、使用する機能、電池の寿命と状態、電池がさらされている温度、デジタルモードでの使用、およびその他の多くの要因によって変化します。本機を通話で使用する合計時間が、スタンバイ時間に影響します。同様に、本機の電源が入った状態で、待受画面になっている合計時間が、本機で通話できる時間に影響します。

索引

あ

か

は

ま

ら

W

Z

Nokia Care オンライン

Nokia Care Web サポートでは、携帯電話の操作に関する詳細な情報をオンラインで提供しています。

チュートリアル

携帯電話を初めて使用する際の設定方法や、詳細な機能についてご覧いただけます。携帯 電話の使用方法を、チュートリアルで順を追って説明します。

取扱説明書

オンラインの取扱説明書で、お使いの携帯電話の詳細情報をご覧いただけます。製品に関 する更新情報をここで定期的に確認してください。

ソフトウェア

電話機および PC 用ソフトウェアを使用して、お使いの携帯電話をさらに有効に活用できま す。Nokia PC Suite では、携帯電話と PC を接続して、カレンダー、電話帳、音楽や画像を 管理することができます。また、他のアプリケーションと併用して、機能を強化すること もできます。

設定

マルチメディア メッセージ、モバイル ブラウジング、および E メールなど、携帯電話の特 定の機能は、使用する前に設定が必要になる場合があります。ご契約された携帯電話事業 者、サービスプロバイダのサービスや設定内容をご確認ください。

携帯電話を利用するには

www.nokia.co.jp/support でご利用の携帯電話の機種を選択して、携帯電話のさまざまな機能について参照してください。

携帯電話と PC を同期するには

適切なバージョンの Nokia PC Suite を使用して携帯電話を互換性のある PC に接続すれば、カレンダーや電話帳を同期できます。Nokia PC Suite は www.nokia.co.jp/pcsuite から入手できます。

携帯電話用のソフトウェアを入手するには

www.nokia.co.jp/software のソフトウェアセクションからダウンロードしてください。

一般的な質問への回答を参照するには

お使いの携帯電話およびその他の Nokia 製品やサービスに関する質問の回答については、www.nokia.co.jp/faq の FAQ セク ションを参照してください。

Nokia の最新情報を参照するには

www.nokia.co.jp/top/newsmail.shtml でニュースレターの購読を申し込むと、製品やプロモーション企画の最新情報を入手できます。新しい製品情報を確認するには、www.nokia.co.jp を参照してください。

その他にご不明な点がある場合は、www.nokia.co.jp/contactus を参照してください。

修理が必要だと思われる場合は www.nokia.co.jp/repair を参照してください。

詳細については、www.nokia.co.jp/support を参照してください。

NOKIA Care